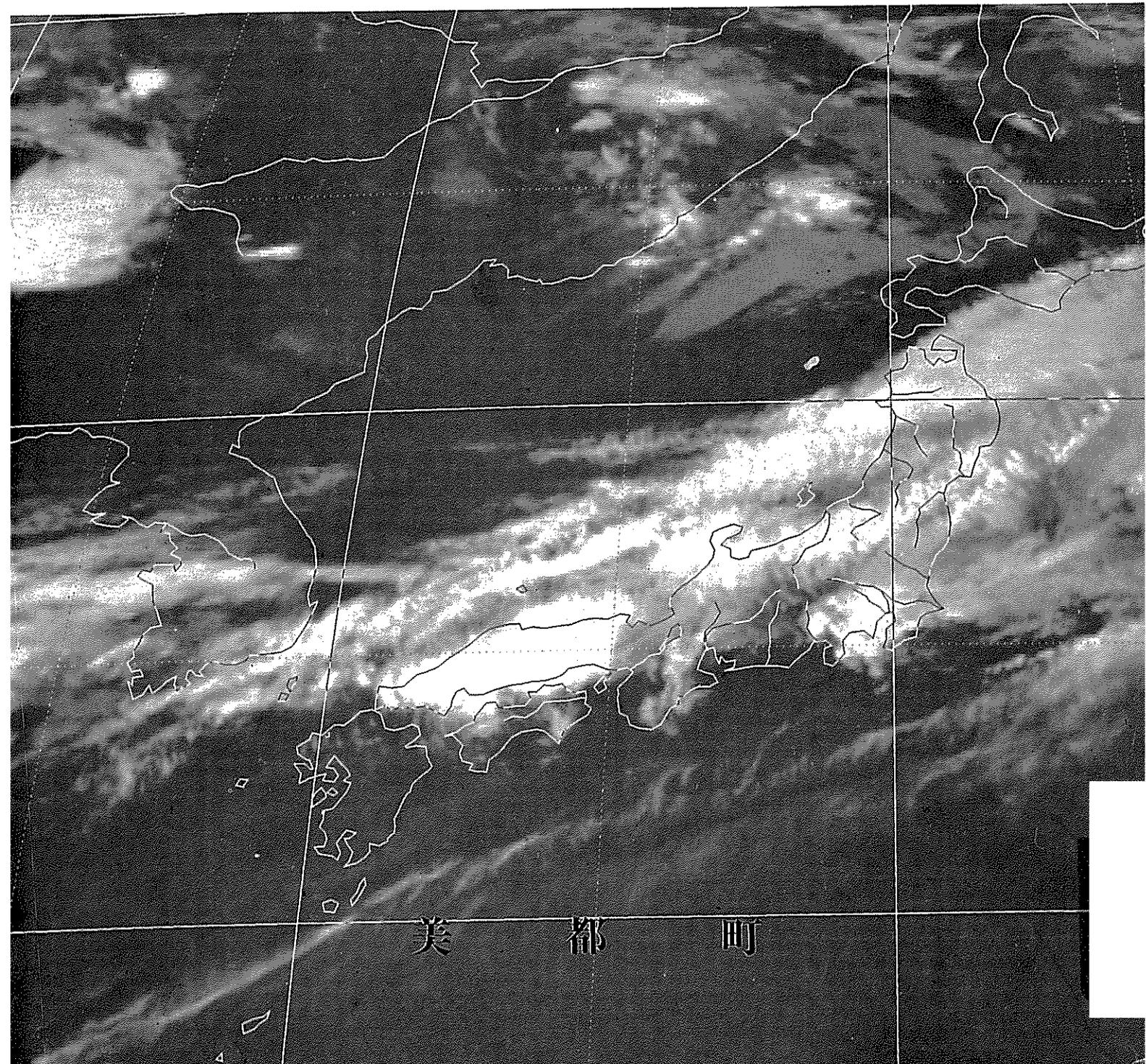


昭和58年7月発生

災害記録集



表紙写真（気象庁提供）

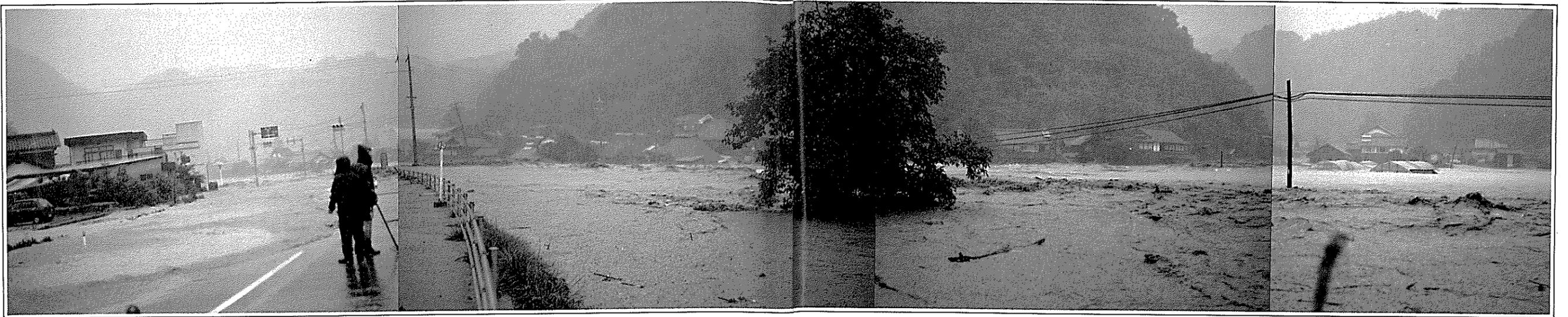
昭和58年7月23日午前3時日本上空（気象衛星ひまわり）

表紙題字

美都町長 若杉茂樹

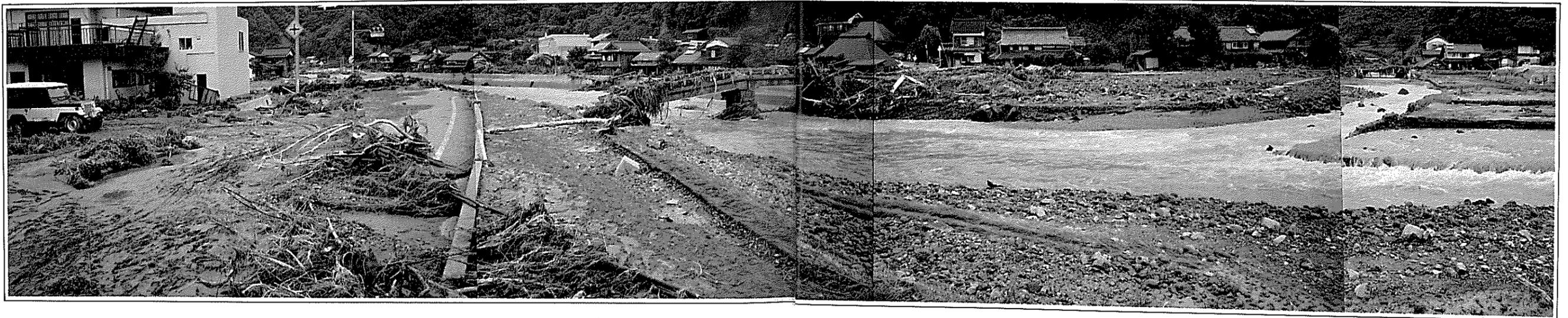
58
・
7

災害記録集

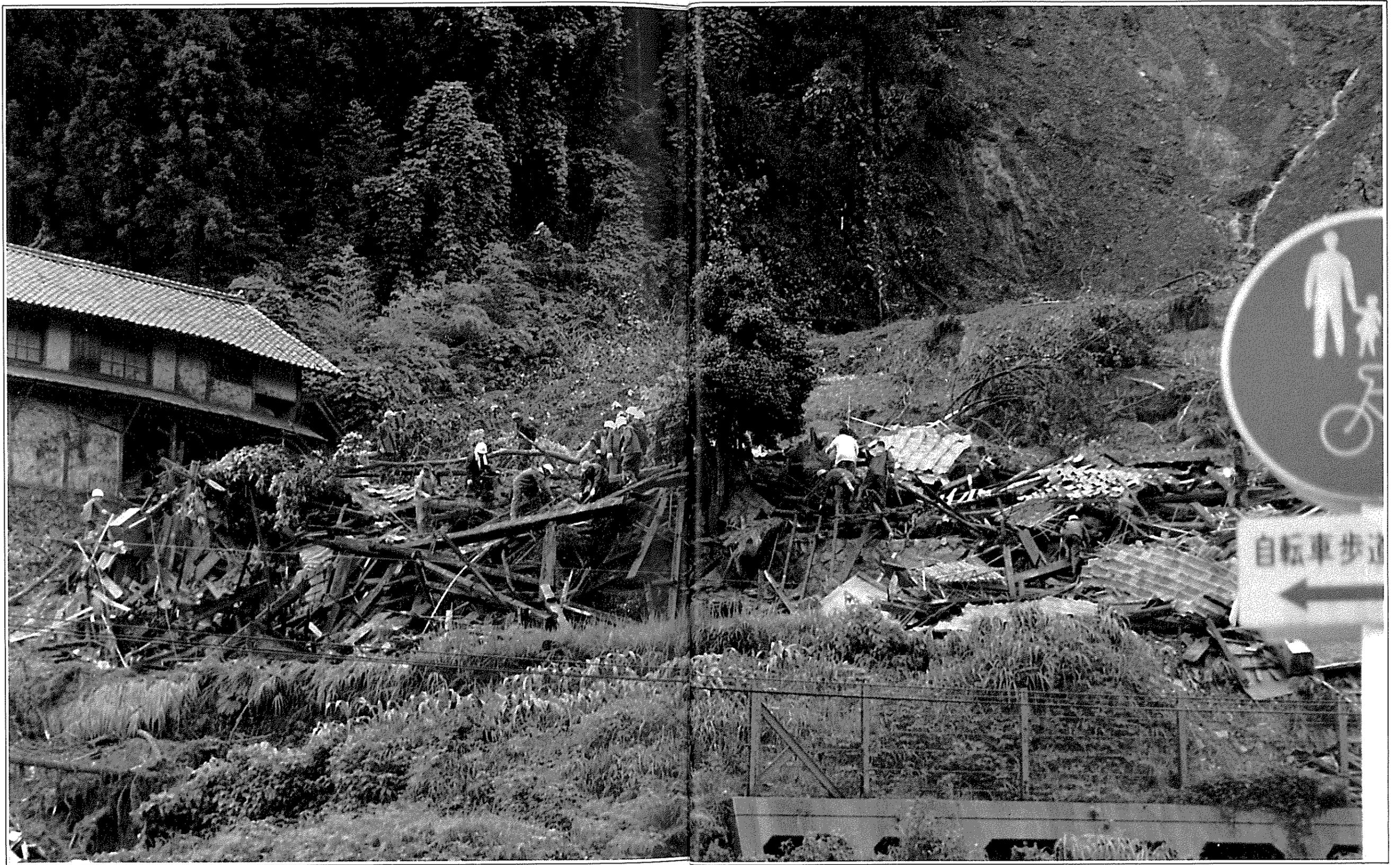


河川の氾濫により水につかる仙道郷

町が水没！

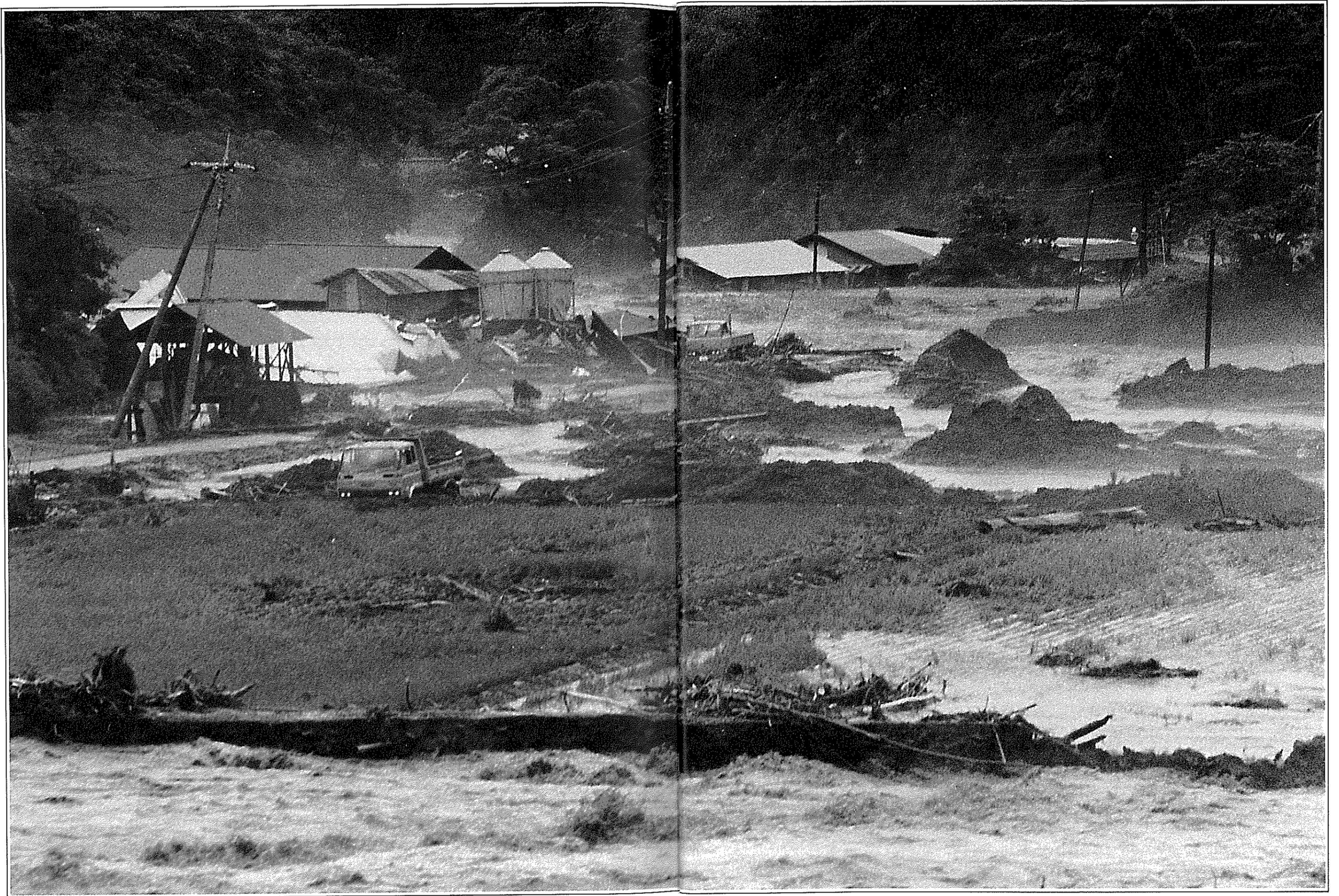


水害の爪跡を大きく残す仙道郷

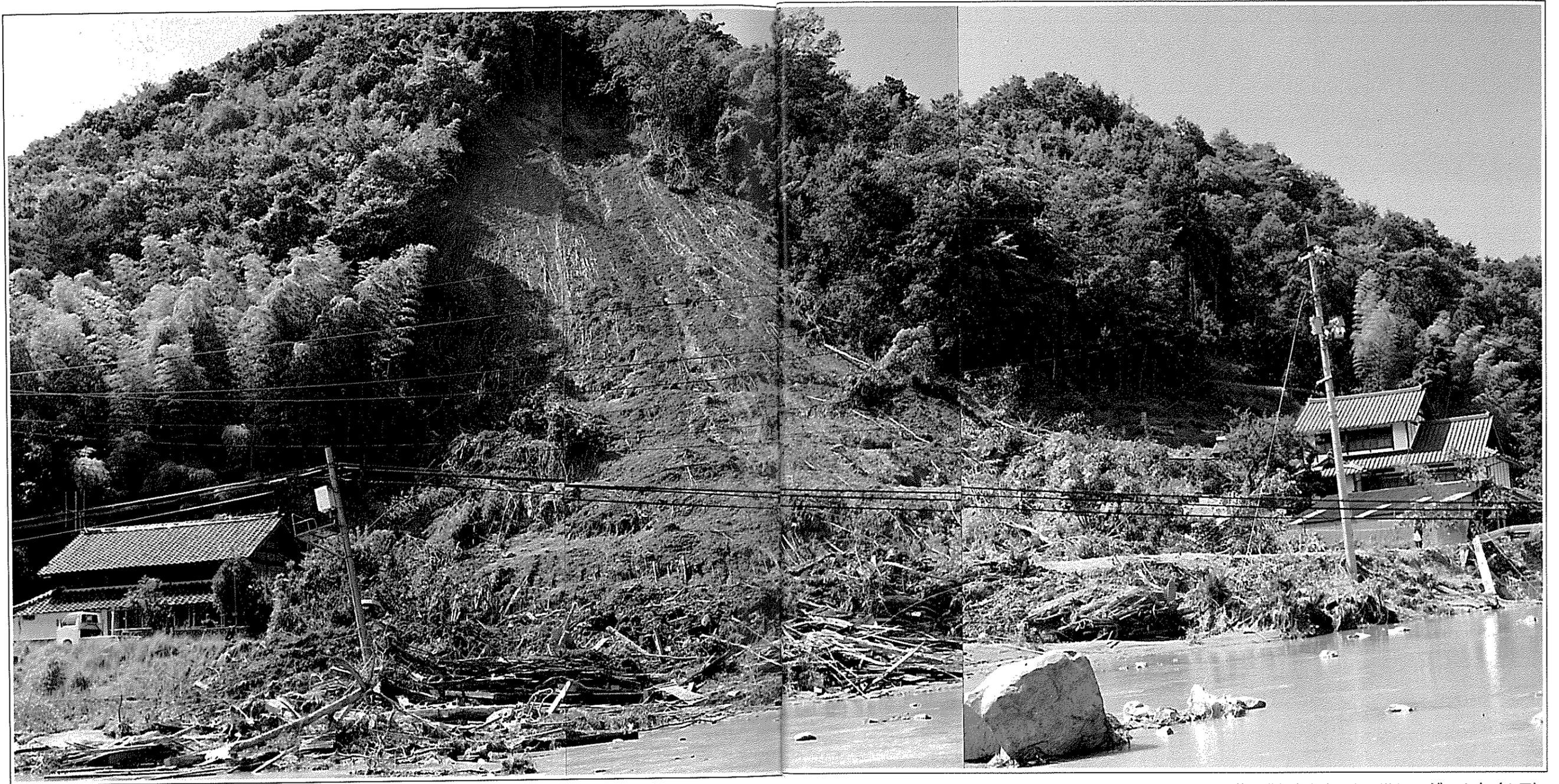


3名の尊い犠牲者を出した山崩れ 山根唯助宅(山料)

無 惨 ！



宇津川地区（岡養鶏場）



2名の尊い犠牲者を出した山崩れ 三浦正人宅（小原）

余録

私の

お父さんお母さん お元気で
しょうか／お父
さんお母さん
お二人が山陰集
中豪雨で土砂の
下に眠られもう
一年になります▲お父さん
お母さん 今宵もいっばい
の星です お二人はどのへ
んでしょうか／お父さんお
母さん 雨が降ります し
としとと しとしとと お
二人の涙でしょうか／お父
さんお母さん いつもいつ
も私の中はお二人のことで
いっばいです▲お父さんお
母さん そちらは花が咲き
鳥がうたい蝶が舞っている
のでしょうか／お父さん
七月十六日ごろ電話をした
のがお別れでした 今でも
声が聞こえます／お母さん

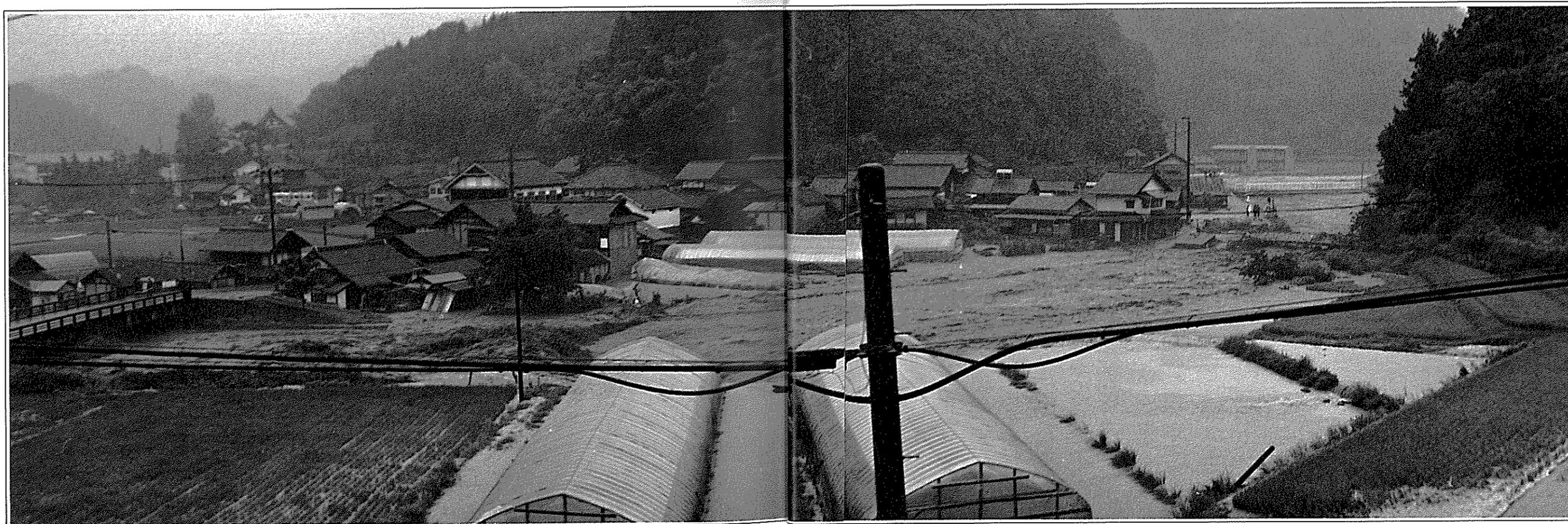
東京見物から帰っての手紙
に「今回は殊の外別れがつ
らくてつらくて」とありま
した わかっていたのでし
ょうか▲お父さんお母さん
雨が降ります じゃじゃ
ぶりに じゃじゃぶりに
お二人のお怒りでしょう
か／お父さんお母さん お二
人の愛を思う時 とてもや
るせないのです／お父さん
お母さん ごきげんよう
ごきげんよう 合掌

茨城県鹿島郡

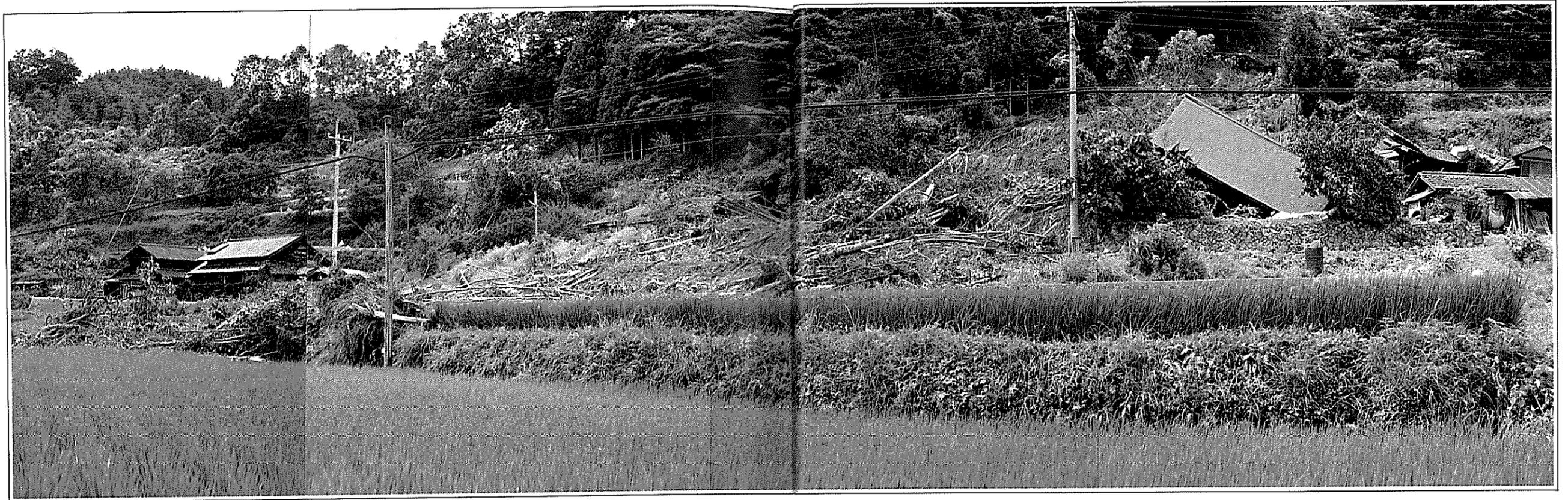
主婦・中谷 玲子 37



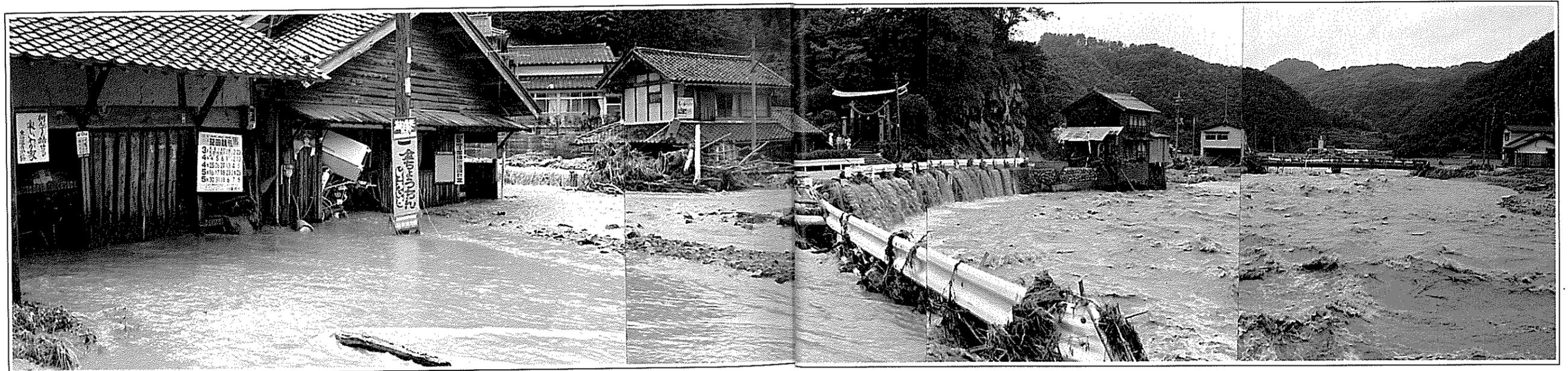
海老谷経介宅（山料）付近



宇津川郷



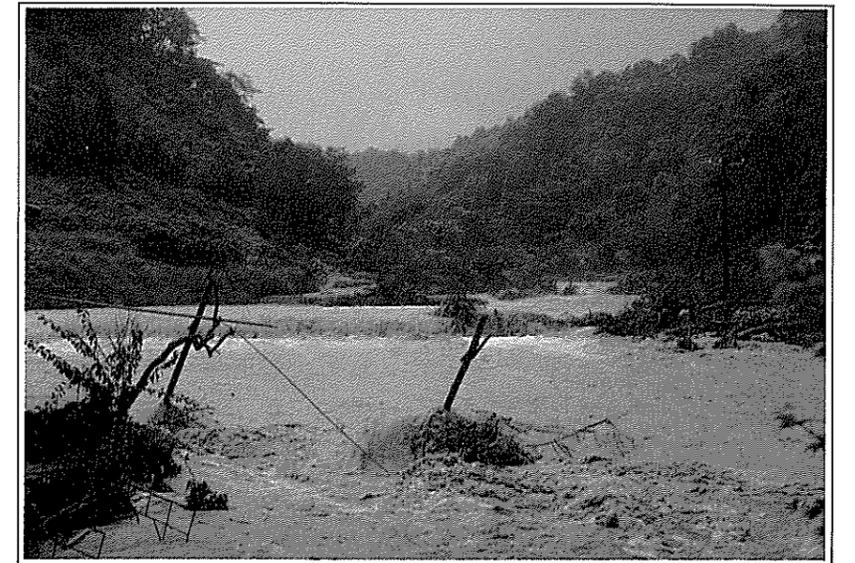
篠原忠雄宅（三谷）



朝倉バス停付近



渡辺好雄宅長屋（観月）



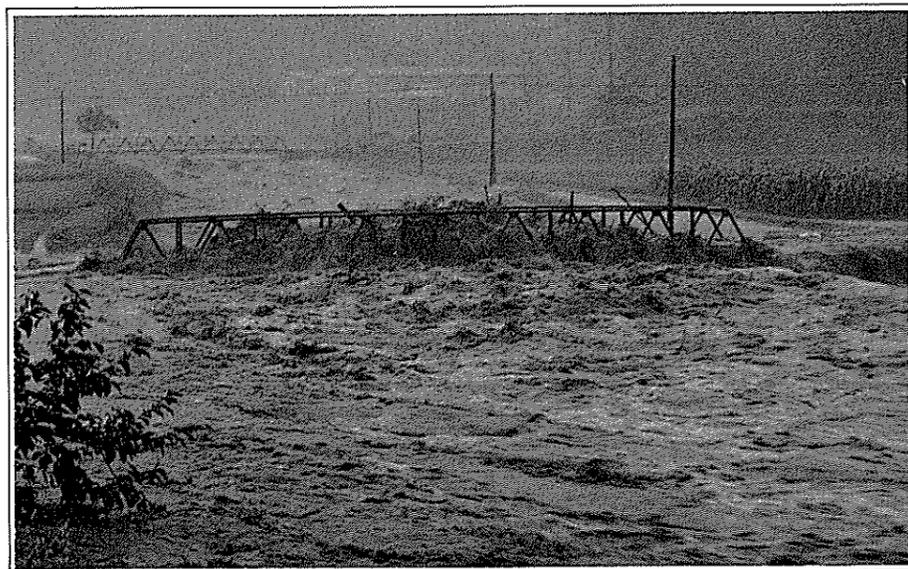
（久原地内）



倒壊した
海老谷経介宅
大谷辰男宅
（共に山料）



氾濫する天神川（山料）



落橋寸前の矢原川宇津川地内



板井川中の谷（潮弥文宅）

発刊にあたって

美都町長 若杉茂樹



昭和五十八年七月二十三日、その日はわが美都町にとっては、全く予想だにできなかった永却忘れることのできない魔の日となりました。その二三日前から断続的には降っていた雨も、小康状態になり、二十二日の晩は星が煌めき町営運動場ではおそくまでナイターの照明があかあかと輝く程のお天気でありました。それが一転二十三日の午前三時、余りにも激しい雨音に目覚めた私は、「これは大変なことになる」不吉不安な予感に追い立てられ支度もそぞろに役場に出かけましたが、もうそのときは、道路も役場の広場もまるで川のように水浸しになっておりました。平常なら自宅から役場まで五、六分の処をなんと三十分余りかけて、ようよう濡れ凜然として辿りつきました。もう躊躇の遑もありません。

午前五時には災害対策本部を設置第一次体制に入りました。涸々と本部後ろの都茂川を流れるものは土石混りの濁流であり根付の立木でありました。そこかしこの山腹が轟々と不気味な音をたてて崩壊します。次々に入ってくる情報はまるで戦場であり自然の怒りをこれ程呪わしく感じたことはありません。家が農地が道路が営々と築きあげたものを容赦なし一瞬にして浚ってゆきます。多くの人の救出努力も空し八人の犠牲者を出したことは、かえすがえすも慚愧の極みでございます。

次々に入る情報、報告その対応を迫られ指示命令を求められるとき、「おお私は町長であった。三千五百人の生命財産を預かる町長だ」職責の重大さきびしさをひしひしと覚え、しっかりしなくちゃあ、土性骨をすえてかからねばと必死の思い一杯でした。戦いすんでの復旧復興はこれ又多くの人の創意と工夫、連繋と協力加えて新進技術の参加によって百年に一度の大災害にも耐えうる復旧に目途がつかましたことはよろこばしいことでございます。然し私達が忘れてならないこと、それは災害は繰り返しかえし繰り返しかえし発生するということであります。その災害がいつ来るか。一年先。五十年先。将又百年先。誰がそれを予見できるでしょうか。「災害は忘れた頃にくる」再び平和なふるさとを今この手で取戻そうとしている私達は、五八・七災害の貴重な体験を史実として後世に残すことも忘れてはならないことであります。この度発刊します「水害記録集」はその願いをこめて漸く復旧の槌音高く響くとき志を同じゅうする編集委員諸兄が自ら企画し写真資料を収集し多くの方々からその体験記を寄せていただき纏めあげたものであります。いつ又くるか不測の災害に備えた警告として提言として後世へこのよなき贈りものとなることを願ってやみません。改めてふるさとを守りとおした誇り、生きていることこのよなきを味わうために、惜しくも水魔の犠牲となられた今はなき八人の痛恨思い出のかてとするために、この記録集のご清覧をお願いいたします。

最後になりましたが編集にあたり膨大且綿密入念な資料記録の集取提示にご協力いただいた多くの方々と編集委員諸兄の労を多とし衷心よりお礼申し上げます。

昭和六十年三月

第一部

奇襲豪雨その記録

18

第二部

水害体験記

48

次

第三部

資料

..... 53

(1) 降雨量の推移

..... 53

(2) 人身・住家等被害

..... 56

(3) 商工・公共施設等被害

..... 56

(4) 農林関係被害

..... 57

(5) 公共土木被害

..... 58

(6) 美都町消防団出動状況

..... 58

(7) ヘリコプター着陸回数

..... 59

(8) 災害対策動員表

..... 59

(9) 美都広報

..... 60

(10) 新聞の切り抜き

..... 85

(11) 島根県西部被害状況

..... 87

第一部

奇襲豪雨その記録

7月20日、低気圧が日本海中部を東へ進み、梅雨前線は山陰沿岸まで南下し、活動が活発になった。この前線は更に東へ進み、瀬戸内側へ南下したが、22日になって再び北上し、山陰沿岸に停滞した。このため島根県西部地方に大雨が降り特に22日夜から23日午前中にかけて山陰沖を低気圧が通過したため、南からの湿った空気が前線に強く流入し、バケツをひっくり返したような集中豪雨となり、20日からの雨で十分に水分を吸収して緩んでいた地盤は、ひとたまりもなく崩れ道路、鉄道、電話、電気はズタズタに寸断され、マヒ状態になった。

中でも犠牲者のほとんどが、山や、がけ崩れ、家屋の倒壊によるもので、県西部地域で、107人の死者をだす大惨事となり、美都町では7月20日午前一時頃から断続的に降りはじめた雨が次第に強くなり、夕方まで続き、その後小康状態となったが、同21日午前0時頃から再び強い雨が降りはじめ、同5時に松江地方気象台は、島根県に「大雨洪水警報」を発令した。

その後も雨は断続的に降り、降りをはじめから21日24時までの雨量は、美都町で177・5mmに達した。

22日になって雨は止み、天候が回復しはじめたかに思われたが深夜になって降りはじめ、23日午前3時頃から次第に強くなり、同午前6時から1時間の雨量が63mmを記録し、降りをはじめから23日午前10時までの間の総雨量が、美都町で実に478mmに達し、死者8名、負傷者5名、住居の全壊47戸、住居の流失8戸、住居の半壊36戸、住居の破損47戸、住居の床上浸水84戸、住居の床下浸水158戸の外、農地、農作物、農業施設、山林、公共施設等、被害は全町に及び、被害総額は実に162億円に達し、昭和58年度的美都町当初予算のおよそ10倍に相当する大災害となった。

以下、災害の爪あとを美都分遣所七月豪雨顛末書及び美都町災害対策本部記録から追ってみる。

文中敬称省略



石見美都町農協前

7月23日

▼ 4・42 時分

分遣所9号車 宇津川方面へパトロール出動。
分遣所団消防車 仙道方面へパトロール出動。

▼ 5・00 美都町災害対策本部設置。(第1次体制)

▼ 5・02 小郷幸雄(朝倉) 山崩れ。

▼ 5・04 志田尾輝雄(堀河) 床下浸水。

▼ 5・06 西田進(熊子) 裏山々崩れ。

▼ 5・10 桧谷昇(山科) 田殿川氾濫、床下浸水。

▼ 5・20 第1回避難命令発令。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。夕べからの大雨により河川は氾濫、山は崩壊の恐れがあり、各地に被害が出ております。避難が必要な家はただちに避難して下さい。くり返します……………。

▼ 5・25 山田屋商店(仙道) 三谷川氾濫により床下浸水。

▼ 5・27 弥重昌忠(都茂) 側溝氾濫により床下浸水。

▼ 5・30 美都町災害対策本部、第3次体制。



桧谷昇宅付近(山科)

▼ 5 時
30 分

△防災無線▽

臨時放送をいたします。大雨による被害が各地に出ております。役場職員は、都茂地区は役場へ、二川地区は二川公民館へ、東仙道地区は東仙道公民館へただちに集合して下さい。各自治会長さんは、地区で避難の必要な世帯を、役場に連絡して避難させて下さい。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。大雨による被害が各地に出ております。床下浸水、床上浸水、家屋、裏山の崩壊の世帯については、人命の被害がおこる恐れがあります。ただちに役場または、自治会長さんに連絡して、安全な場所へ避難して下さい。

▼ 5 時 37

分遣所9号車 丸茂方面へハトロール出動。

▼ 5 時 40

福田二三江(丸茂) 裏山々崩れ。黒谷留市(丸茂) 裏山崩壊中

▼ 5 時 44

寺井清(都茂上)宅 笹利川氾濫、床下浸水。

▼ 5 時 45

町公用車、山本、東仙道方面へハトロール出動。

▼ 5 時 47

大谷己巳(仙道)宅 床下浸水中、床上に上がりそう。

▼ 5 時 53

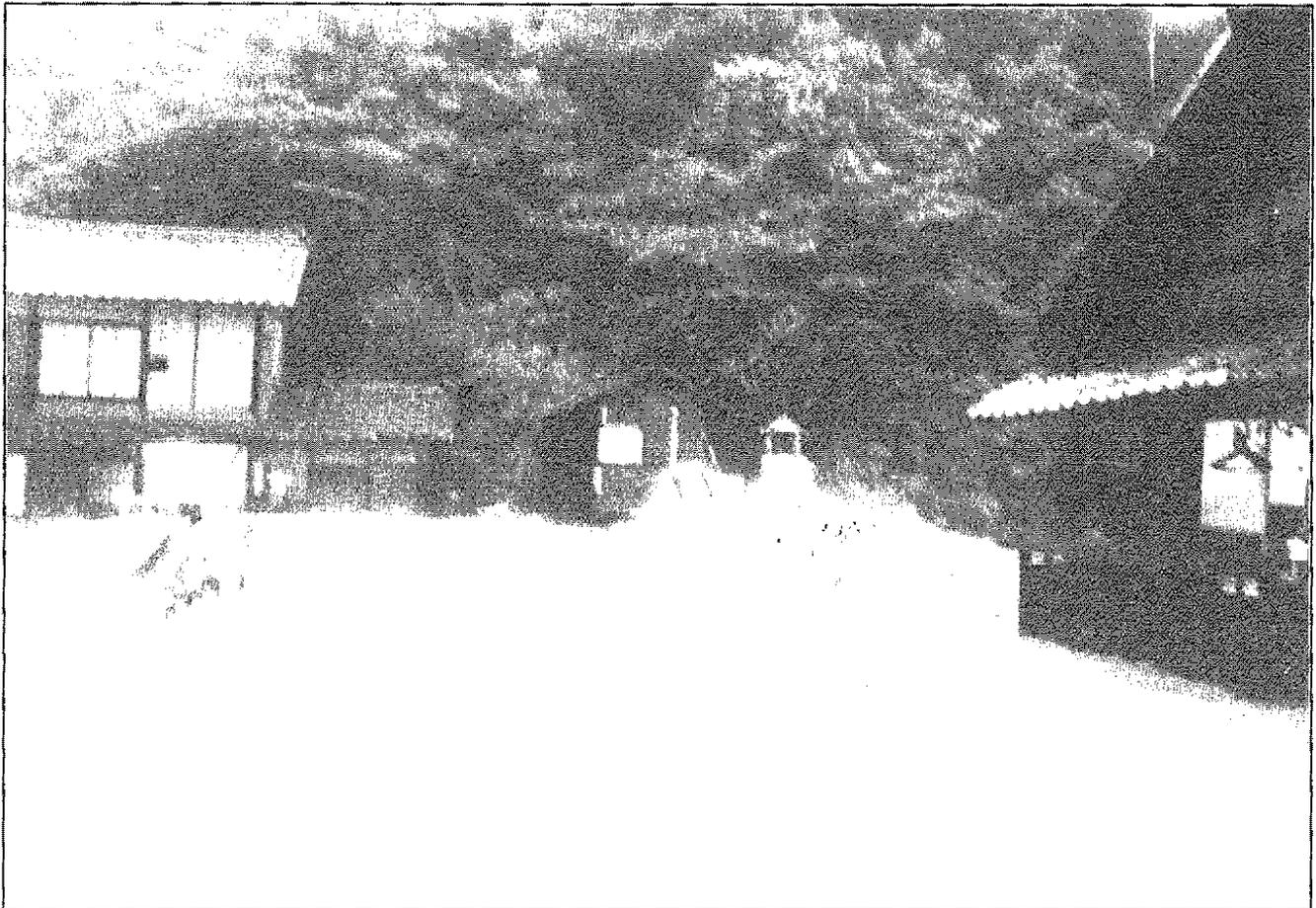
上田栄(都茂上) 裏山々崩れ。永岡安峰、豊田貞(共に仙道)宅 浸水の恐れ大、堂橋も危険。

▼ 5 時 55

齊藤清(大田又) 家前の溜池があふれそう。

▼ 6 時 03

分遣所 本署への電話連絡不能。



永岡安峰宅付近(仙道)

▼ 6・15 河野一斗(宇津川) 家の前の倉庫倒壊。

▼ 6・20 分遣所9号車 都茂方面へパトロール出動。
坂本和美(都茂) 宅 浸水の恐れ。

▼ 6・22 久保寅市(久木) 納家に崩土、傾きつつある。

▼ 6・23 永岡安峰(仙道) 宅 ねたきり老人孤立。

▼ 6・25 大谷正季(人元木) 宅 床下浸水中。
全消防団員召集。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。消防団員の方の出動を、お願いします。
二川地区は二川公民館に、都茂地区は分遣所前、東仙道地区は自治会館にそれぞれ集合して下さい。

▼ 6・27 山料天満宮に崩土。

▼ 6・30 村上利幸(都茂上) 宅 床下浸水。永岡安峰(仙道) 田原シズエ宅
へ避難完了。

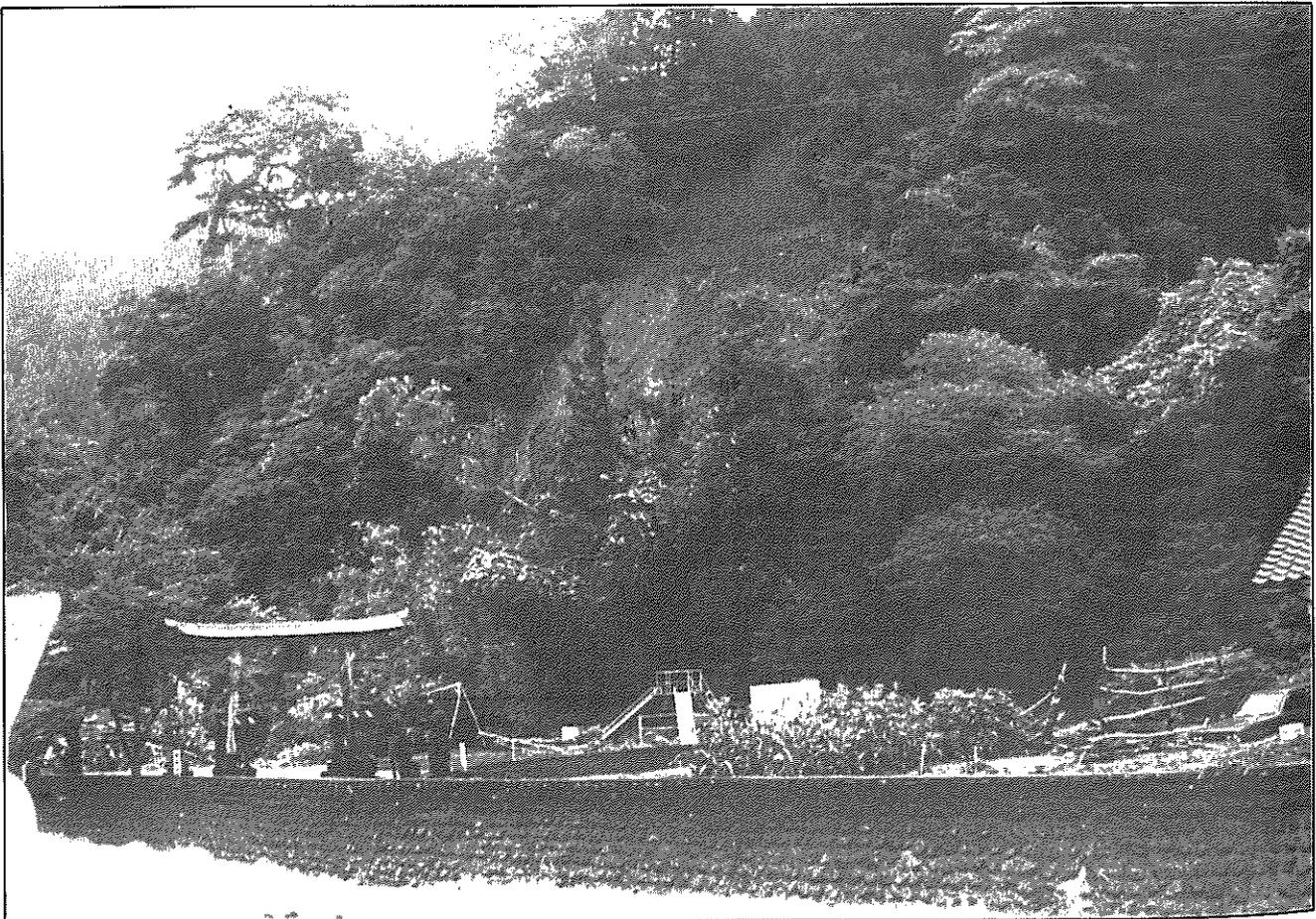
▼ 6・31 榎木京介(都茂上) 裏山々崩れ。

▼ 6・32 木原義夫(都茂) 宅 床下浸水。

▼ 6・34 村上重太郎(下都茂) 宅 床下浸水。

▼ 6・35 美都車輛(都茂) 床下浸水。

▼ 6・36 分遣所9号車 都茂方面へパトロール出動。



山料天満宮に崩土、舞殿全壊

▼ 6時 37分 国道191号線 都茂上地内で山崩れのため通行不能。

▼ 6・43 大谷時計店前（都茂）、町道路肩が崩れ、片側通行。

▼ 6・46 斉藤都義、土佐愛、潮勝美（共に中ノ谷） 避難中。

▼ 6・50 津田停車場線（仙道）は通行不能。

▼ 6・53 斉藤健治、海老谷経介（共に山料）宅 床下浸水。

▼ 7・00 今井広徳（都茂）宅 床下浸水。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。保育所の臨時休業についてお知らせします。大雨により危険ですので、今日は各保育所は、臨時休業をいたします。

▼ 7・14 永岡安峰（仙道）宅が流失。永岡マチの安否不明。

▼ 7・17 寺戸春勝（都茂）宅 全壊

▼ 7・24 国道191号線 朝日団地付近で山崩れのため片側通行。

▼ 7・27 国道191号線 忠魂碑裏（都茂） 山崩れで通行不能。

▼ 7・30 山根唯助（山料） 裏山崩壊中。県道、美都匹見線、葛籠と山料間 通行不能。

“藤井貞男（宇津川）報告”

- ① 蛇の久保出合向うの水田は全面浸水。
- ② 田丸屋橋（下都茂）付近は、あと50cmで浸水。
- ③ 仙道郷の旧道沿は、全戸浸水状態。



大谷時計店前（都茂）

▼7・38 山根唯助（山料）宅 裏山が崩れ家が倒壊。家族5人が中に居るもよう。

▼7・41 坂本和美（都茂）宅 浸水倒壊（住宅か車庫か？）

▼7・45 山根唯助（山料）宅へ、確認のため、分遣所員2名徒歩で出動。

▼8・00 島根県災害対策本部、第二体制設置。

△防災無線▽

二川地区の皆様にお知らせします。町内、町外への電話は不通になりましたのでお知らせします。二川地区は通話できますので、被害状況は、二川公民館へ連絡下さい。

▼8・11 山根唯助（山料）宅、倒壊家屋内に、要救助者5名が居ることを確認。しかし流水が多く、救助作業は不可能。

▼8・15 消防団、山料方面へ警戒および、パトロール出動。その後、山根唯助宅監視。

▼8・23 山料、川西地区民は、美都中学校へ避難。

▼8・54 消防団、都茂方面へパトロール出動。

▼9・00 城市克己（山料） 山崩れ。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。リーダー研修会に参加しています小学生6年生の子供達は、無事に避難しております。今日帰る予定ですが、道路が寸断されており、まだ未定です。次に連絡が入り次第に放送します。



全壊した河野二美宅（宇津川）

- ▼ 9・00分 歩行困難者の避難誘導のため分遣所、消防団、都茂上方面へ出動。
- ▼ 9・10 河野二美（宇津川）宅 全壊。
- ▼ 9・26 分遣所 都茂方面へパトロール出動。
- ▼ 9・30 山根哲（人元木）報告。
山根フジ、三浦一人（共に人元木）宅 全壊、人命には異常なし。
渡辺巖、村上静文、花本義雄、斉藤尚徳（共に丸茂）宅、全壊。
- ▼ 9・35 栗本商店（丸茂）へ電話、前記4世帯の全壊を確認。人命に異常なし。
- ▼ 9・57 山根唯助（山料）宅、救助開始可能の連絡あり。
- ▼ 10・00 分遣所9号車、団消防車、山根唯助宅へ救助出動。
- ▼ 10・05 仲山梅市（三谷）宅、全壊。仲山登重傷。吉野邦雄（三谷）宅で看護中。
- ▼ 10・07 救急車、医師搬送のため出動。山料へ。
- ▼ 10・17 山根利昭（山料） 救出。救急車で病院へ搬送。
- ▼ 10・45 山根都（山料） 救出。救急車で病院へ搬送。（同48分死亡確認）
- ▼ 10・55 山根唯助（山料） 救出。救急車で病院へ搬送。
- ▼ 11・00 災害対策本部長、重傷者輸送のため、ヘリコプターの出動を、島根県災害対策本部へ要請。



全壊した渡辺巖宅（丸茂）

▼11・20

山根和子、山根有加里（共に山料） 発見。

▼11・30

△防災無線▽

臨時放送をいたします。東仙道地区の災害対策本部が、老人福祉センターに移りましたので、連絡等は、老人福祉センターの方へして下さい。尚、消防団員の方で、出動できる方は、災害対策本部の方へ出て下さい。

▼11・45

山根和子、山根有加里（共に山料） 救出。救急車で病院へ搬送。

（同48分死亡確認）

△防災無線▽（午前中随時放送）

臨時放送をいたします。大雨による被害が多発しています。雨はまだ降り続く模様です。人命の被害がおこる恐れがあります。小学校、公民館、集会所等、決められた場所へ避難して下さい。

▼12・25

救急出動（徒歩）、重傷者 仲山登（三谷）、三谷地区の人、仙道方面への道路は寸断のため、久原、人元木経由で徒歩搬送。

▼12・35

寺戸岩市（丸茂）宅、全壊。

▼13・00

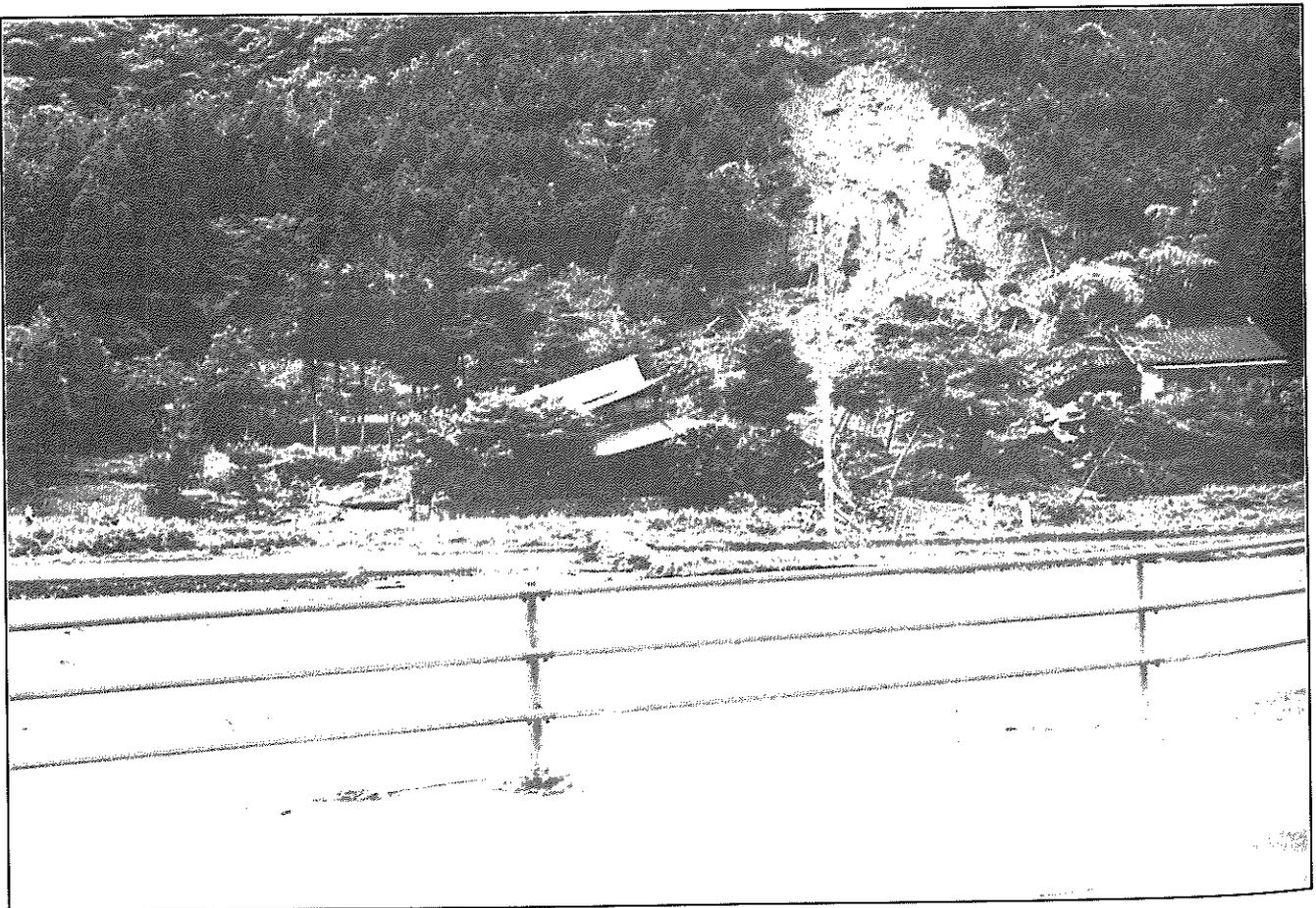
災害対策本部会議開催。避難体制の統行。現況調査等を決定。
篠原忠雄（三谷）、中島喜平治（朝倉）、堀野静義（朝倉）、加藤富市（仙道）、三浦正人（小原）、小合君子（仙道）、西田忠文（熊子）、永岡安峰（仙道）、豊田貞（仙道）、藤岡義雄（仙道）
内藤末市（朝倉）宅、全壊。
三浦正人、清子（小原） 夫妻、行方不明。

▼13・40

大石不二男（大神楽）宅、全壊。

▼13・45

澄川真（大神楽）宅、全壊。倒壊した家の中に家族2人いるもよう。



全壊した大賀初太・村上逸人宅（朝倉）

▼14時・00分

消防団、救急出動。澄川真宅へ。(澄川真、松代夫妻死亡)

▼15・00

△防災無線▽

臨時放送をいたします。現在雨は小康状態を保っています。大雨洪水警報も、注意報になりました。午後3時現在の被害状況についてお知らせします。
死者5人、負傷者3人、行方不明2人、家屋の倒壊25棟、流失3棟、損壊12棟、崖崩れ、道路の崩壊等については、現在調査中です。

▼15・35

災害対策本部長、再度ヘリコプター出動の要請。

▼15・44

島根県益田総務事務所からの連絡で、夕方までにヘリコプターが到着することを確認。

▼16・12

仲山登(三谷)、酸素吸入の必要があるため、救急車で酸素吸入を開始。

▼16・20

△防災無線▽

松江地方気象台より気象状況を報告します。松江気象台14時30分発表。大雨情報16号を、お知らせします。気象衛星によると、朝鮮南岸から南西に伸びる強い雨雲が、東から東北東に進んでおります。このままゆくと、今夜、山陰にかかる可能性があるので、嚴重警戒が必要。

松江気象台15時40分発表。梅雨前線の活動が活発となっている。島根県の東西部沿岸の海上では大雨がまだ続き、雷が発生し、落雷の恐れがある。時間雨量は40〜60ミリで、強い雨が断続し、これから明朝までの総雨量は、400〜600ミリで、所により、700ミリとなるう。

▼16・50

塩満繁寿(丸茂)宅、落橋のため孤立。



全壊した澄川真宅(大神楽)

▼17・00

町内の電話全線不通。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。都茂鉱山の従業員の皆様にお知らせします。今回の水害で、送電線、道路、配電線破損のため、明日24日曜日、復旧工事をいたしますので出勤できる方は、出勤して下さいますようお願いいたします。

▼18・00

松江地方気象台、大雨洪水注意報発令。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。降りはじめから午後3時までの降水量は315ミリです。午後3時現在の被害状況についてお知らせします。死者5人、負傷者3人、家屋の倒壊25棟、流失3棟、破損12棟です。各地で道路が寸断され、国道191号線は全面通行止、各町道もほとんど車輛通行不可能です。水道、電気についても現在のところ復旧の見通しがたっておりませんのでお知らせします。尚、現在のところ雨は小康状態を保っておりますが、今夜にかけてもまだ雨が降る模様です。裏山等危険な状態の世帯は、必ず決められた場所に避難して下さい。水道管も、いたる所で分断して、しばらくは使用不可能ですので、山水また井戸水などは必ずよく沸かして使って下さい。また家屋が水につかった家は、クレゾールによる消毒が必要です。暮々も赤痢に充分気をつけましょう。

▼18・35

重傷者輸送のためヘリコプター飛来。美都中学校グラウンドに着陸。

▼18・43

重傷者、山根利昭、山根唯助、仲山登の3名を乗せて離陸。益田赤十字病院へ。



患者輸送に活躍したヘリコプター

▼19時
00分

△防災無線▽

臨時放送をいたします。レーダー観測によりますと、大田沖から山口県沖にかけて強い雨雲が南下しています。このため今晚も雨が降る見込ですので山崩れ、崖崩れ等に充分注意して下さい。尚危険と思われる世帯は避難して下さい。

▼19・40

人工透析の必要な患者輸送のためヘリコプターを要請。

▼20・35

河野浅市、三浦末年（共に久原）宅、三浦一人（人元木）宅、全壊、山本正之（久原）宅、山根フジ（人元木）宅、半壊を確認。

▼21・50

都茂地区の一部、二川地区の一部電話復旧。

▼22・10

松江地方気象台、大雨洪水注意報更新。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。松江気象台より気象状況を報告します。大雨洪水注意報が更新されました。梅雨前線が停滞しています。島根県の東部西部では大雨がまだ続き、時間雨量10〜20ミリの強い雨が断続するでしょう。これから明日の朝までの総雨量は、300〜600ミリまでになり、かなりの雨が降り、河川は増水し地盤は軟弱になります。河川は氾濫、洪水により低い土地の浸水大きな山崩れ、崖崩れがおこり大きな災害をひきおこす恐れがありますので充分警戒が必要です。雨は明日には弱くなる見込です。

7月24日

▼6・35

人工透析患者の確認および搬送（患者2名、仙道から）



仙道郷付近

▼7・10

三浦正人（小原）宅、2人行方不明？
消防団出動要請（仙道地区重点）
△防災無線▽

東仙道消防団員の方は、老人福祉センターに至急出動して下さい。
都茂消防団員が応援に出動しました。

▼7・20

分遣所9号車警戒出動（道路状況調査）。山本、都茂方面
△防災無線▽

臨時放送をいたします。人工透析の患者さんにお知らせいたします。益田の岩本病院が被害のため診療ができません。そのため、浜田の国立病院または、山口の共済病院に行く必要があります。そのためヘリコプターの出動を要請し、その確認のため都茂から歩いて連絡員が出発しております。ヘリコプターは美都中の校庭へ発着いたしますので、患者さんならびにご家族の方は用意をされ、出発して下さい。

▼7・30

若杉茂樹（都茂）宅、損壊（崩土）

▼7・55

寺戸正（久原）、久原地区の被害状況報告。

▼8・15

梶山潔（久原）より弥重美代子（久原）の行方確認要請。（分遣所へ）

▼9・00

都茂へ益田間、国道191号線の状況確認等に出発。
沢江久介、河上信男、花本国雄、13時、益田土木事務所着。21時10分、美都町役場帰庁。

▼9・07

美都農協（都茂）から、米100Kg買受け。70Kgを東仙道地区炊出しへ、30Kgを都茂地区炊出しへ



救助活動を行なう消防団

- ▼ 9・10分 分遣所9号車、警戒出動（道路状況調査）。仙道方面。救助出動。三浦正人（小原）宅。徒歩出動。分遣所、野沢、桧谷、村上、寺井、青木、石田、団員8名、役場3名。
- ▼ 9・20 孤立地区。板井川全地区、朝倉ほぼ全地区、笹倉全地区、その他小集落数カ所。
- ▼ 9・25 田中晃（仙道） 東仙道地区の被害状況報告。
- ▼ 9・48 弥重美代子（久原）の件、警察無線にて調査依頼。
- ▼ 10・02 ヘリコプター到着。
- ▼ 10・10 ヘリコプター、人工透析患者2名を乗せ、岩本病院（益田市）へ。
- ▼ 10・30 弥重美代子（久原）の件、連絡つかない。（警察無線）
- ▼ 11・00 美都町議会全員協議会開催。
- ▼ 11・20 桜井蕃（三谷） 野菜の出荷申出。
- ▼ 11・30 松江地方気象台11時発表 洪水注意報解除。
清源寺の山に亀裂あり、役場、小川元昭から分遣所へ通報。
- ▼ 11・31 清源寺の山の亀裂箇所確認出動。分遣所2名、消防団員1名。役場2名。
- ▼ 11・35 県医療課、医療救護班の派遣用意ある旨連絡あり。
寺戸和憲（三谷）より豊田頼信（三谷）の確認依頼。消防団地元分団には依頼済。
- ▼ 11・55 豊田頼信（三谷）宅、全壊。本人行方不明。



寸断された若杉地区への道路（町道板井川八幡線魚切付近）

▼11・56 清源寺亀裂箇所、シート張り作業。分遣所2名、消防団員1名、役場2名。

▼12・03 ヘリコプター到着。電々公社、資材及び人員搬送。

▼12・10 宇津川下山区4戸20人、米不足、あと2、3日分あり。

▼13・30 緊急生活物資の空輸を福祉事務所へ要請 ①乾電池 単一4本入500個。単二4本入500個。(防災無線機用) ②ローソク。③トイレットペーパー ④下着類

▼14・53 豊田頼信(三谷) 遺体で発見。

▼16・00 〆防災無線〆

午後4時現在6名の死亡者が確認されました。ご冥福をお祈りすると共に、謹んでお名前をお知らせします。
山本地区、山根和子さん(35才)、山根有加里さん(4才)、山根郁さん(1才)、澄川真さん(70才)、澄川松代さん(64才)、三谷地区、豊田頼信さん(58才)。以上6名の方です。
尚、現在までの捜索にもかかわらず行方不明の方がおられます。お名前は、三浦正人さん、妻清子さんです。

▼16・25 三浦正人(小原)宅。救助作業難航。17時で打ち切り予定。

▼16・50 三浦清子(小原) 遺体で発見。

〆防災無線〆

午後4時45分、行方不明だった三浦清子さん(64才)が遺体で見られました。謹んでお悔み申し上げます。

▼17・00 弥重美代子(久原)の生存確認。警察無線より。



豊田頼信 捜索

▼17時・05分

河野敏弘（葛籠） 金谷方面の被害状況報告。

▼17時・45分

分遣所9号車、道路状況調査、国道191号線。

▼18時・15分

三浦正人（小原） 遺体で発見。

▼18時・30分

小笠原昭（丸茂上） 丸茂上地区の被害状況報告。

▼18時・55分

ヘリコプター到着。緊急生活物資搬送。乾電池単一2000個、単二2000個、ロソク1000本、トイレトペーパー（3本人）1000個、下着300枚。

▼20時・00分

△防災無線▽

電話が不通のため防災無線しかお知らせの方法がありません。しかし各家庭の防災無線放送が、電池が古くなったため、入らない家庭が多いようです。物資として今日ヘリコプターで電池がきまりましたので、ただちに入れ替えて下さいますようお願いいたします。

▼20時・15分

沢江久介 都茂と益田間の状況報告。

①益田市の状況、七尾町、幸町付近は特にひどく、1階は全部水につかっている。駅前は1.5メートル位の水。②国道191号線は復旧の見込なし。長者淵から益田方面は道形全くなし。町外へは別ルートを考えること。③津田停車場線経由での開通が有望。この線の復旧に重点をおくべき。（復旧に4～5日必要）。④笹倉との歩行連絡路を至急確保すべき。

▼20時・30分

△防災無線▽

役場の行事の中止についてお知らせします。役場からいろいろな会議の開催通知をしておりますが、この内、7月末までの会議について、すべて中止といたします。



救援物資の仕分け（役場）

役場職員の皆様にお知らせします。

明日は午前8時に、二川地区の方は二川公民館へ、都茂地区の方は役場本庁へ、東仙道地区の方は老人福祉センターにそれぞれ集合し、責任者の指示に従って下さい。

緊急物資の配布についてお知らせします。

先程の臨時放送でもお知らせいたしましたように、電話が全面通信不能となり、連絡は防災無線のみとなりました。しかし、各家庭の電池が古くなって受信しなくなっております。本日ヘリコプターにより電池を緊急確保いたしましたので、明日配布できるよう両出張所および役場に送ります。尚、その他緊急物資として、ロソク、トイレットペーパー、下着を用意いたしました。各自治会でご相談のうえ、午前10時以降お受け取りにおいで下さい。緊急事態のため各自治会長さん宅までお送りできませんが、ご了承下さいようお願い致します。

午後7時現在8名の死亡者が確認されました。ご冥福をお祈りすると共に、謹んでお名前をお知らせいたします。

山本地区、山根和子さん(35才)、山根有加里さん(4才)、山根都さん(1才)、澄川真さん(70才)、澄川松代さん(64才)、三谷地区、豊田頼信さん(58才)、小原地区、三浦清子さん(64才)、三浦正人さん(65才)、以上8名の方です。

復旧作業についてご協力をお願いします。

次の路線については明日、崩土取除きのため機械が入ります。関係自治会長は、倒木、邪魔木伐りのため、多数の繰出しをお願いします。午前8時、おおむね次の場所にてお待ち下さい。大田又線は春日荘、都茂と真砂線、および岡組線は、土佐甚市さん宅付近、山崎養鶏場線は、養鶏場、右田牧場線は大峠付近、津田停車場線は、西田豊さん宅付近。久原と三谷線は、草野梅市さん宅付近。蛇の久保線は、大石光市さん宅下。以上よろしくお願いします。



全国から届けられた救援物資

▼ 20時
50分

国道191号線、都茂と東仙道間開通。

▼ 21
30

総務事務所へ被害報告。

19時現在、死者8、負傷者3、家屋倒壊50、流失12、破損39、浸水無数。

▼ 21
50

△防災無線▽

臨時放送をいたします。道路情報についてお知らせします。本日まで建設業者の懸命な作業で、小型自動車の通行可能に復旧した路線についてお知らせします。役場から板井川ロータリーの間、丸茂二反田から明正寺まで、役場から東仙道出張所まで、田原口から石川正さん宅入口まで、および堀越まで、役場から人元木経由東仙道公民館までの中倉線。以上の路線は開通とはいいながら、道路状況は極めて悪いので、運転は慎重に、交通事故等おこさないよう注意して下さい。

電話の復旧状況について。
電々公社職員の懸命な徹夜作業により、町内の電話は一部通話可能になりました。都茂地区から二川地区へは通話できます。しかし、電話器が破損している所へは通話できません。また都茂地区から東仙道地区へは通話は不可能です。尚、一度に使用しますとまた通話不能になる恐れがありますので、緊急以外の通話はなるべくしないようお願いします。町内全域および町外通話ができるようになるには、まだ相当の時間がかかります。

初摺精米についてお知らせします。
東仙道の寺井精米所で、初摺や精米ができるようになりました。



仮復旧した浜田美都線（板井川中ノ谷地内）

7月25日

▼ 8・10
△ 防災無線▼

臨時放送をいたします。電話が全面通信不能となり、連絡は防災無線のみとなりました。しかし各家庭の電池が古くなり受信しなくなっております。ヘリコプターにより電池を確保いたしましたので今日配布出来るよう両出張所、および役場に送ります。尚、その他緊急物資として、ローソク、トイレットペーパー、下着を用意いたしました。各自治会でご相談の上、午前10時以降お受け取りにおいで下さい。緊急事態のため各自治会長さん宅までお送りできませんが、ご了承をお願いいたします。

東仙道地区の役場職員の方は、本庁から指示があるまで老人福祉センターに待機して下さい。

△ 防災無線▼

臨時放送をいたします。ヘリコプターの離着陸についてお知らせします。空輸のため美都中学校にヘリコプターが離着陸しますがその際に大変危険ですので、子供さん達を絶対に、まわりに近づけないようにして下さい。ケガをされても、今は医療機関も充分ありませんので、大人の方も気をつけて下さい。

山のわき水、井戸水を飲用される時は絶対に生水では飲まないようにして下さい。

▼ 10・30
ヘリコプター、5回離着陸。物資、燃料、水防資材、電々公社関係資材等を空輸。

▼ 11・20
妊産婦をヘリコプターで空輸依頼を行う。



搬送されたパノラマアンテナ

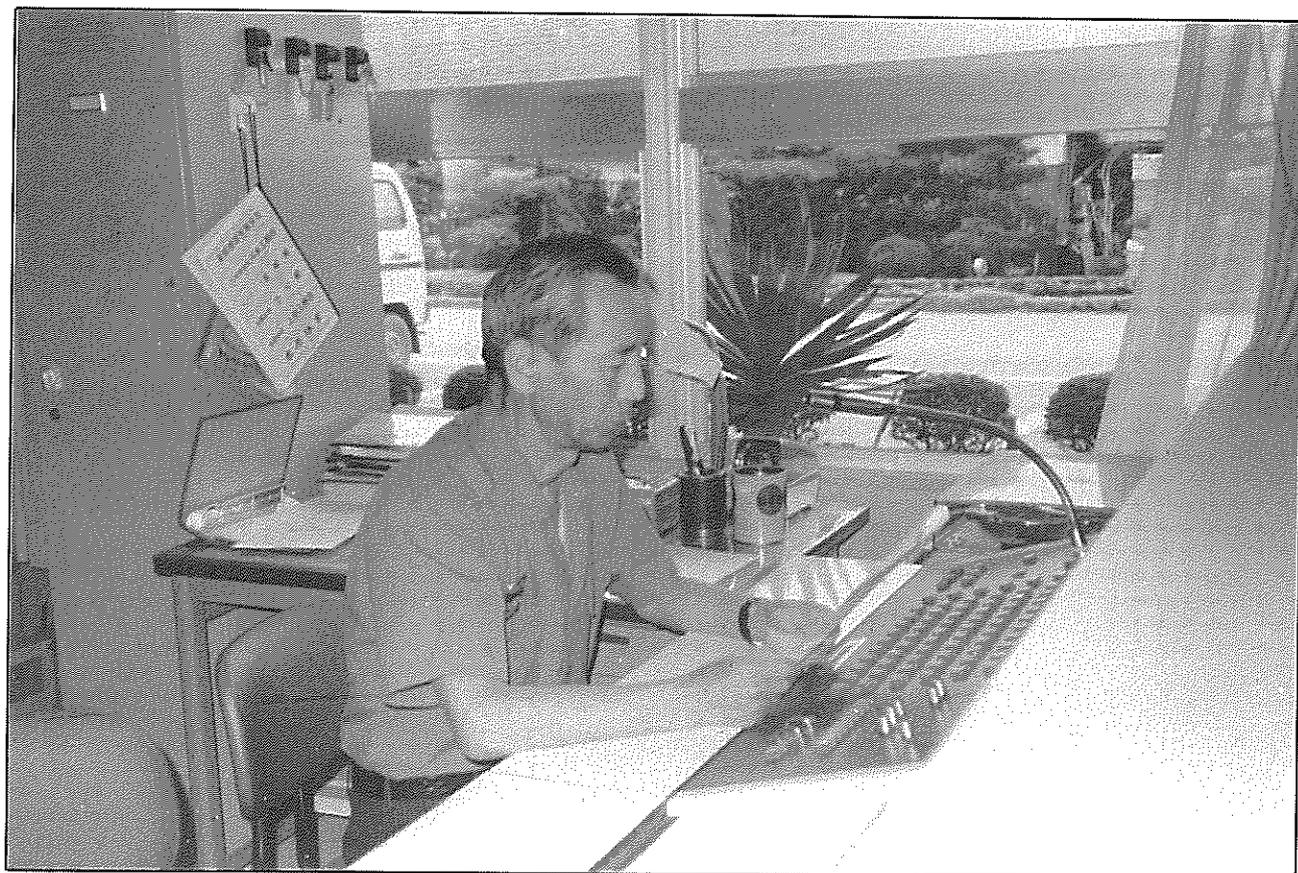
△防災無線▽

臨時放送をいたします。災害対策本部長よりお願いを申し上げます。

町長の若杉でございます。本町災害史上、未曾有の8人という尊い生命を一瞬に奪い、徹底的直撃を受けましたこの度の大災害は大きな爪あとを残して今日、3日目を迎えました。亡くなられた8人のお方に、町民みなさまと共に謹んで哀悼の意を表し、冥福をお祈りします。

さて、町民の皆様、電気の無い、ガスの無い、水の無い、何もかも無い不自由な生活が当分続くことを自覚し、ご辛抱して頂かなければなりません。あらゆる手配は懸命にしておりますものの、生活物資の補給は、当分見込みのないことを前提に節約し、引きしめ、おたがいに譲りあい工夫して、当座をしのいで下さい。ただ今、益田に向け、また、町内の道路開通に全力をあげております。一日でも、一時間でも早く電話、電気、水道が届きますよう対策に懸命です。

皆さん、私達は過去において、昭和18年災害その他、幾度かの災害を体験しておりますが、その都度あらゆる難局をきりぬけて復興しました。皆さん、元気を出しましょう。手に手をとって、必らず、必らず立派に復興しようではありませんか。



町民に呼びかける若杉町長

▼13・13 佐々木マスヨ（板井川） 行方不明の連絡（警察無線）

▼13・24 ヘリコプター到着。急患妊産婦搬送のため。

▼13・26 ヘリコプター、妊産婦を乗せて離陸。益田赤十字病院へ。

▼13・48 佐々木マスヨ（板井川） 大橋義人（益田）宅に来ていないとの連絡（警察無線）

▼14・00 佐々木マスヨ（板井川） 確認に出勤。

▼14・09 ヘリコプター、3回離着陸、燃料、電々公社資材搬送。

▼14・33 ～ 佐々木マスヨ（板井川） 児高覚間（板井川）宅へ避難していることを確認。

▼14・55 ヘリコプター、11回離着陸。米、燃料、飲料水、薬、警察無線機械
美都車輛への荷物、電々公社資材搬送。

▼20・00 ▲防災無線▼

臨時放送として、7月24日、20時30分放送の復旧作業についての協力要請の放送。

簡易水道の使用についてお知らせします。都茂簡水につきましては、一部給水を開始しましたが、滅菌消毒がしてありませんので飲用には使用しないで下さい。また、送水できる水量は、わずかです。節水の協力をお願いします。

美都町農協宮農販売課から。仙道地区、27日、29日のナタネ油交換日は水害のため延期します。自家保管の上、今一度乾燥してお



泥に埋もれる笹倉地区簡水浄水場

いて下さい。農協野菜無人販売の世話人会について27日の開催は水害のため延期します。初秋蚕の蚕の配蚕は、益田からの道路通行不能等、連絡ができませんので、配蚕は不能と思われれます。

家庭用ガスの節約について。本日町長のお願い放送にもありましたが、特に家庭用のガスが不足しております。各自治会内で共同使用など、節約にご協力をお願いします。

米の確保状況についてお知らせします。主食の米を、ヘリコプターで送ってもらいました。農協の本所、および各支所へ保管しております。放送が故障したため皆さんへお知らせすることが遅れましたことを、おわびいたします。

瑞穂町において開催されております、子供会リーダー研修会参加者の帰町についてお知らせします。大変ご心配をおかけしましたが、明日26日夕方までには帰町いたします。追ってその時間はお知らせしますので、各地域公民館まで迎えに出て下さい。

火災予防についてお知らせします。停電のため、ローソク、および薪を使用する機会が多いので、火の元には充分注意して下さい。

総務事務所へ被害報告。23時現在、死者8、負傷者3、家屋倒壊51、流失12、破損40、浸水無数。(調査中)

▼ 23時 分

7月26日

▼ 6・15 電話の試験通話、断線地区を除く町内復旧。

▼ 7・51 ヘリコプター到着。米1トン



全国から寄せられた救援物資

▼8・13

ヘリコプター到着、ローソク2400本。ミルク200缶。電池800個。

▼9・00

△防災無線▽

臨時放送をいたします。クレゾール石ケン液での消毒についてお知らせします。クレゾール石ケン液を、役場、および出張所に準備しております。浸水した家庭、および地区では容器を持って最寄の役場、および出張所に取りに来て下さい。消毒法は次の通りです。床板、壁、柱、便所について、クレゾール石ケン液を30倍に薄めて、噴霧、または拭いて下さい。

無線機の点検についてお知らせします。無線機の電池を換えても放送が受信できない家庭があるようですが、この放送を聞かれた方は、隣、近所の方へ次の点を確認してあげて下さい。①電源スイッチが入っているかどうか。無線機に向かって左のボタンを押してみして下さい。電源が入ると赤ランプが灯きます。②室内アンテナが長く出ているか。③無線機に向かって、右側の再放送ボタンが長く出していないと放送は受信できませんので以上3点を確認して下さい。

▼10・40

郵便局が、ハガキ、手紙の徒歩輸送（益田間）を決定。7月27日から実施。

▼10・45

△防災無線▽

臨時放送をいたします。郵便局では、明日の朝7時までに都茂郵便局、および二川郵便局、仙道郵便局前のポストに投函された郵便物と、各郵便局窓口にて、今日午後5時までに出されたものに限って、二川と益田間の郵便物の運送を開始されます。しかし、この間徒歩で運送されますので、手紙とハガキが優先されますので、ご了承下さい。



仙道西田商店前付近

▼10時・50分

〈防災無線〉

臨時放送をいたします。町内の小中学校長からお知らせします。町内の小中学校の生徒の皆さんは、来る8月6日土曜日までの間、学校の行事、プールの練習、部活動等総べて中止いたします。道路の決壊、崖崩れ、山崩れ等危険な箇所が沢山ありますので、父兄の方は充分注意監督をして下さい。8月6日以降のことはまた連絡いたします。

農協営農販売課より、養蚕農家の方へ繭の出荷についてお知らせします。つゆ蚕の繭を20日までに収繭、毛羽取りをして、うすくひろげておいて下さい。

復旧工事のご協力についてお知らせします。明日、小原と乙子線、深田溢線、小原と琵琶石線、観月線、三谷と観月線、農道観月線、横見線、京良谷線が復旧作業に入りますので、地元自治会の方は今日から木を切って頂きたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

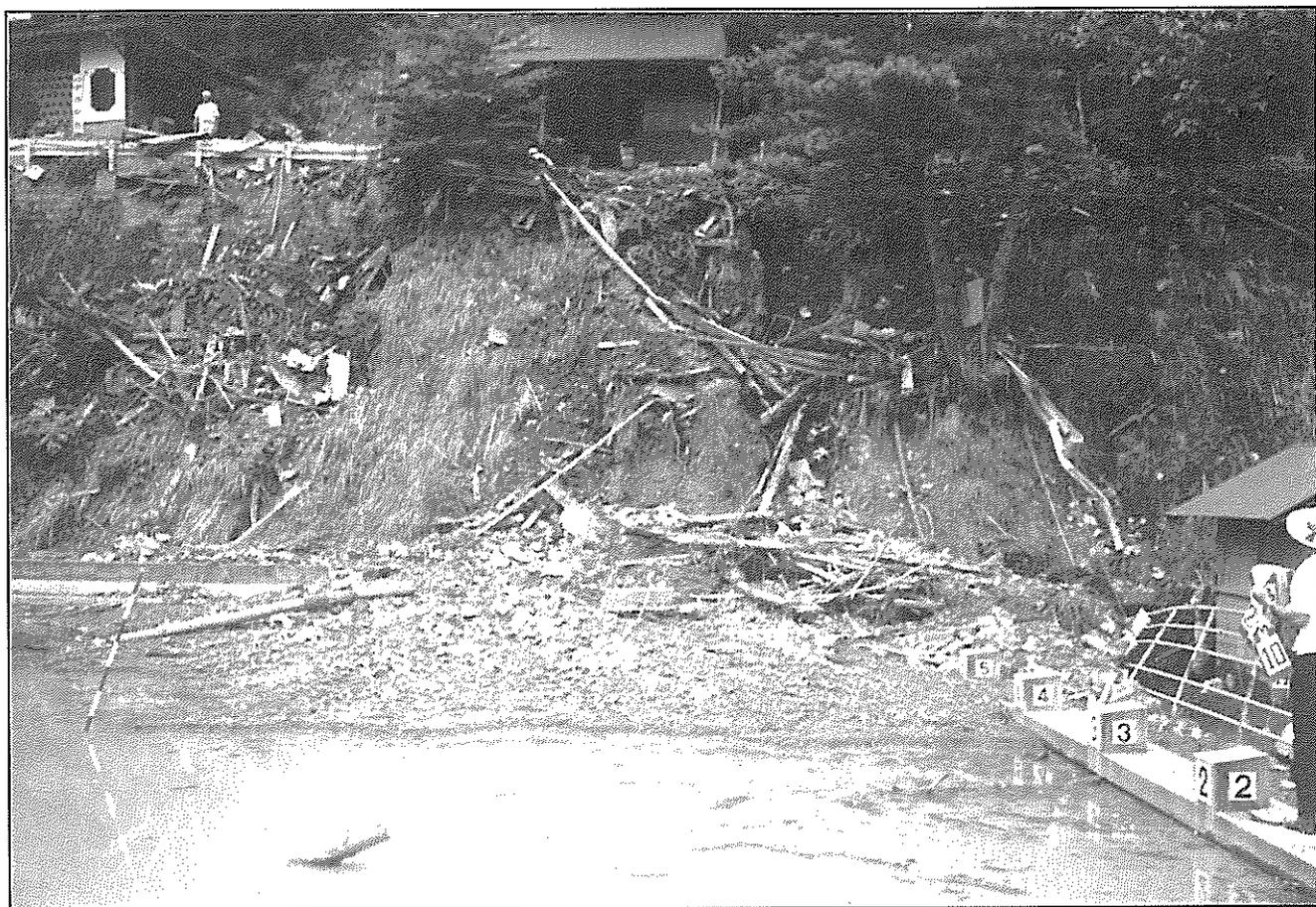
▼11・00 都茂上自治会より、青木一美（都茂上）宅を、7月27日に解体するとの連絡あり。

▼11・36 島根県人事部から、県職員の派遣要望があれば、職種、人員数、派遣の期間、業務内容、宿舍確保の状況等を連絡して欲しいとの連絡あり。

▼12・14 ヘリコプター、5回到着、電々公社、人員、資材等を搬送。

▼13・00 第2ヘリポート設置作業、分遣所3名、消防団員1名。

▼13・30 課長会議、今後の対応を協議。庶務班、民生班、災害班を設置。



泥に埋まった東仙道小学校プール

更に、仙道班に吉永教育長、二川班に土佐企画財政課長をあてて、住民に対処する。今後宿直を3名にする。

西尾信四郎（宇津川）の健在を確認。

▼14・10

ヘリコプター、10回到着、給水タンク、電々公社資材、中国電力人員、資材、NHK取材班、中国電気工事 人員、資材、クレゾール搬送。

▼15・55

斉藤龍太郎（観月）より、観月地区の状況報告あり。

▼16・30

益田総務事務所から、吉永教育長の伝言として連絡あり。瑞穂町のリーダー研修会の一行が、16時、東陽中学校に到着した。

▼17・03

大型ヘリコプター、着陸地調査のため到着。

▼17・07

大型ヘリコプター到着。電々公社、通信機械搬送。

▼17・10

瑞穂町のリーダー研修会の一行は、18時30分頃に、東仙道小学校へ到着予定の連絡あり。

▼17・20

△防災無線▽

臨時放送をいたします。子ども会リーダー研修会の一行の帰町についてお知らせします。子ども会リーダー研修会参加者の帰町については、大変ご心配をおかけいたしました。18時30分頃には各公民館に到着の予定です。ご父兄の方は公民館まで迎えに出て下さい。

▼17・27

ヘリコプター到着。NHK取材班搬送。

▼17・30

大型ヘリコプター、3回到着、電々公社通信機械搬送。



リーダー研修会より帰町した子供達（小原集会所）

▼17時・57分

ヘリコプター到着。NHK取材班搬送。

▼18時・12分

大型ヘリコプター、5回到着、電々公社通信機材、人員、資材、燃料を搬送。

▼19時・35分

▼22時・00分

簡易水道都茂地区が一部給水開始。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。簡易水道復旧工事に伴う使用注意についてお知らせします。都茂地区簡水につきましては、一部給水を開始しましたが、滅菌消毒ができませんので、飲用水には絶対に使用しないで下さい。未だ送水できる水量は、わずかでありますので、節水のご協力をお願いします。また、食中毒警報が出ておりますので、生水は絶対に飲まないで下さい。食べものは煮たり焼いたりしたものを食べるようにしましょう。

▼22時・30分

宇宙衛星「さくら2号」による、電話開通試験。町長、島根県知事に電話。

西部福祉事務所、石川福祉課長より、27日12時頃最終便で米が届く、義援物資もその時、三隅町を出発する。

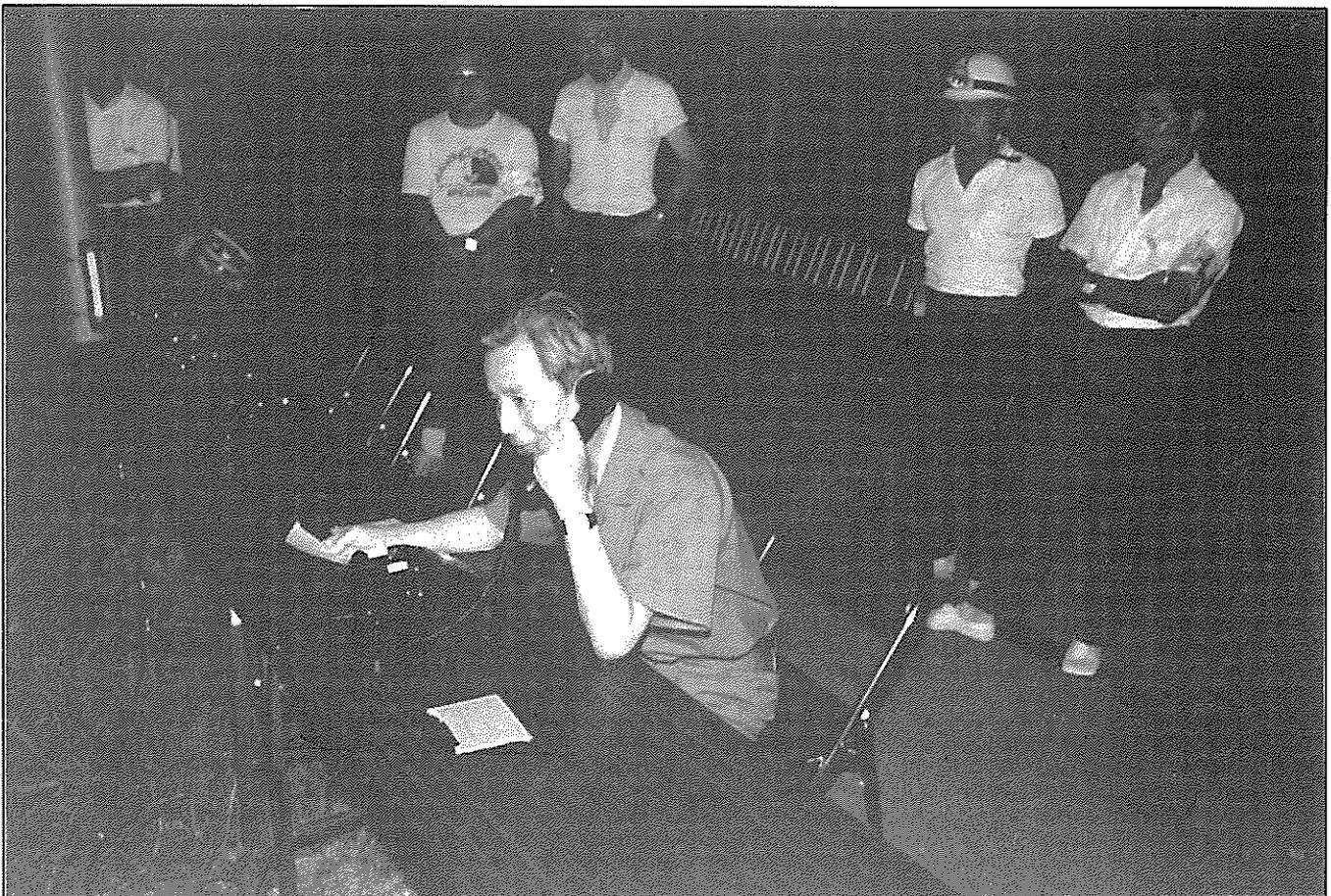
島根県知事より、明日、缶詰め48個人25ケースが合同庁舎に届く旨の連絡あり。

7月27日

▼8時・00分

市外電話6回線が、都茂交換所に開通。

△防災無線▽



県知事へ状況報告する若杉町長

臨時放送をいたします。電話の開通についてお知らせいたします。電話の復旧については全力をあげて作業を行っております。現在6回線ほど町外に通話できるようになりました。この電話機は、都茂保育所前の、交換機の所に備え付けております。町外の親類や知人に連絡がとれなくて不安な毎日でしたが、これで電話連絡ができますので、利用される方は都茂保育所前へお出かけ下さい。尚、大変混雑しますので用件は手短かにお願いします。

▼ 8・10

自衛隊員、現地調査のため2名来町。

▼ 9・50

雨が降りそうなので、物資受け取りのためテント設営。

▼ 10・00

仙道へ給水タンク車を送る。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。飲料水の給水についてお知らせします。仙道地区の飲料水の給水タンク車が10時15分頃に、仙道西田商店付近に参ります。これは飲料水として使えます。ただし、生水では飲まないようにして下さい。

▼ 12・15

災害詳報第一回目、2号様式報告。

▼ 12・29

救援物資、最後の米到着（ヘリコプター）

▼ 14・00

美都へ匹見線開通。

▼ 15・40

日原町より、軽油を積んでヘリコプター出発したとの連絡あり。

▼ 15・44

日原町からの燃料、一回目到着。

▼ 15・45

△防災無線▽



町外の知人へ無事の連絡

▼ 16時
00分

仙道地区への給水について、午前10時放送と同じ。

△防災無線▽

臨時放送をいたします。都茂地区簡易水道の使用についてお知らせします。現在能力一杯に送水を続けていますが、皆さんの使用量がまかなえません。当分この簡水の使用を中止して頂かないと夕方は断水となります。節水にご協力下さい。

▼ 16時
26分

△防災無線▽

臨時放送をいたします。伝染病予防についてお知らせします。水害後の連日の炎天下で、伝染病の発生しやすい状態が続いています。赤痢、食中毒にかからないために、次の注意を守って下さい。生水、生物は絶対に飲んだり、食べたりしないで下さい。石ケンを使い、手洗いを励行して下さい。腹痛、下痢など、体に異常を感じたら早目に医師に相談して下さい。尚、子供さんの水遊び、泥遊びは絶対にさせないように注意して下さい。現在、食中毒警報が発令されております。食べ物の取扱いに充分注意して下さい。（16時55分、18時05分、7月28日、12時30分、7月29日、12時30分にも放送）

▼ 16時
58分

島根県社会教育課より、社会教育施設、学校についての被害の問い合わせあり。

▼ 17時
00分

津田停車場線開通。

大河末子（多胎妊婦）、米子医大へ、ヘリコプター要請。

▼ 17時
30分

島根県災害対策本部より、ヘリコプター準備完了、救急車手配完了との連絡あり。

▼ 17時
43分

県庁秘書課、岩田秘書課長補佐より、28日17時頃、副知事が来町の予定。随行、県土木、県農林、益田総務、益田土木、益田農林から



町内の被害調査をする町議会議員

各1名の予定。

▼18・32 ヘリコプター到着、大河末子（多胎妊婦）を乗せて米子医大へ。

▼20・00 道路情報

国道191号線、笹倉長者橋下から宇津川堀河間から益田への連絡線は、仙道蛸橋から、熊子、山折、大草を通り、遠田町へ、また、山料から葛籠、能登を通り横田への2路線のみ。この他は昨日と変わりなし。

▼22・00

△防災無線▽

道路復旧作業の協力について。
農機具の手入れ、修理、発電機、ポンプ等の相談所開設。
主な道路の開通状況について。
明日の道路復旧の予定路線について。（以上4件放送）

7月28日

ヘリコプター 35回到着。中国電力資材、人員、電々公社資材、人員、美都車輛物資搬送。

▼12・30 △防災無線▽

伝染病予防について。
給水について。
強風波浪注意報発令について。
タバコ耕作者の方へ。（以上4件放送）

▼13・05

食中毒警報について。



復旧作業中の国道191号線（宇津川 志田尾輝雄宅上）

▼ 6・45 〈防災無線〉

明日の道路復旧の予定路線について。
道路の開通状況について。(以上2件放送)

7月29日

ヘリコプター、9回到着。電々公社資材、人員搬送。

▼ 9・27

7月23日、7時前、益田川(蛇の久保)を人が流れていたの見た、との報告あり。

▼ 10・23

行方不明者調査。

▼ 11・10

分遣所、役場、警察で協議の結果、見誤りとする。

9月24日

豪雨災害物故者追悼式(老人福祉センター)

12月30日

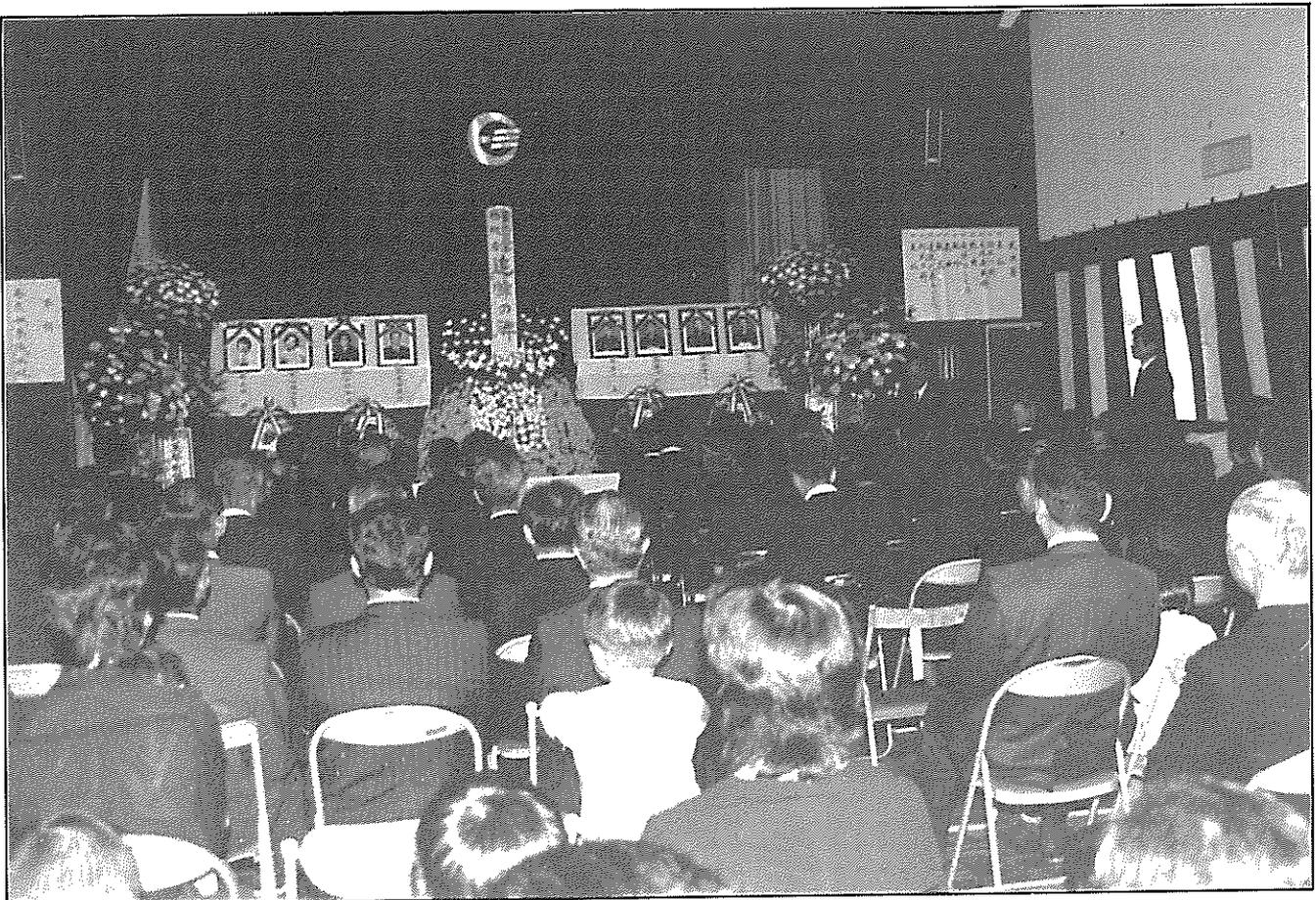
美都町災害対策本部解散

7月23日

災害救助法の適用を受ける。

9月9日

激甚災害の指定閣議決定。



災害物故者の追悼式(老人福祉センター)

体験記・災害資料

第二部

水害体験記

災害から一年

三谷 澄川 正 枝

あの悪夢の様な一瞬、偉大な自然のくずれる音、今なお私達の脳裏から忘れる事の出来ない集中豪雨の恐怖から一年が過ぎました。

そして私達に教えられた数多くの知恵は、これからの世代に大きな力となる事でしょう。

私の家でも川の無気味な流れに気づいた主人が出た時には、もう家の中に水が入っていたり、まわりの水田は一面の川になっていた。急いで子供達を起して、家の中の物を動かし、外へ出て見ると裏山からの土砂で母屋と倉の間は小川になっていました。

私達も子供達も必死になって家の中、外を動きました。「お母ちゃん大丈夫かねえ」と三男がしきりと聞きました。

「うん、とにかくみんな一緒にいるのよ」と言っただけの中に入る水を出したりして、大自然のいたずらに、せめてもの小さな抵抗でした。

夜明けが近づいて、外の様子がわかる様になっても雨は上る気配もありません。その内三谷川も見ると水位が上って、

一瞬に土手が切れて、道が寸断して、家の前の橋も落ちた。その瞬間私は「しまった」と思ったのです。足の悪い母だけは避難させれば良かったと後悔したのですが母は「皆さんと一緒にの方がいい」と言われた言葉はせめてもの救いでした。雨の止んだ瞬間、体から力が抜ける思いで「家族も家も助かった」と皆んなその場に、座り込んでしまったのでした。

それから一年、以前は手伝う事の少ない子供も大活躍でよく手伝ってくれました。

災害復旧の進む中で今一番気になるのは裏山のくずれです。災害の対象にならないとの事で、今なお雨の降る毎に「大丈夫かな」と水の状態を見ては何度も避難をして眠れない夜を過ごす事もあります。

こんな思いで過しておられる家も数多いと思います。一日も早く、安心して暮らせる様対策を立てて頂けたらと願っています。

災害後日記

山科 海老谷 経 介

五八・七・二三、この数字は私達にとて忘れようにも忘れられない悪夢の数字である。

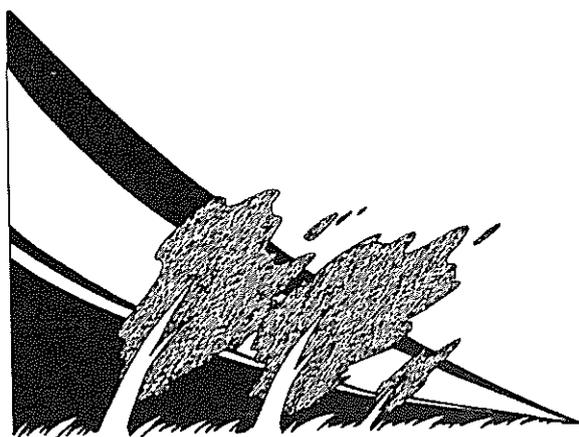
古来「災い転じて福となす」と言う言葉があるが私はこれを身を以って体験した。

今日、人情紙の如しと言われているが、そうではない、あの困難を自治会全員で一週間余に亘る協同作業により初期復旧が出来た事に深く感謝している。困難な時程人の和の大切さを痛感した。当初は避難人員の把握救出対策状況の把握報告、被災者に対する給食と対面する問題を誰れ言うとなく次々と対処され、連夜の班長会では作業の推進、状況報告、明日の手順が順序よくなされていく様子を見て、これでこそ本当の自治会である

と意を強くしたものです。中でも被害者の中で高齢者、独居者に対すること等、初期復旧のみならず自治会の人心の安定にも自治会の皆様が寝食を忘れ積極的に対処されたことに人の温かさをしみじみと感じた。しかし現在の文化はどうしてこうも災害に弱いのであろうか、停電、断水、通信、交通の遮断等による生活の変貌による困惑ぶりは想像以上である。その反面、科学、機械力の偉大さにも驚いた。さくら二号による通信の確保が出来親近者と通信しておられるあの姿はたとえようのない安らぎの一時であった。

機械力による復旧作業、交通の確保と明るい報せを耳にした時のなんとも言えない安堵な笑顔は今も忘れる事が出来ない。それにしてもあの暑さの中でよくも伝染病が発生しなかったものだと感心している。水害の後に来るものは腸関係伝染病と言っただけであるが、いち早く防疫処置がなされた事も眼に見えない効果があったものと思う。もしも伝染病が発生していたらと思うと背中に冷水を浴びる思いである。自治会のような人の集合体は協力して人心の安定を計り事態に対処することの大切さを痛感した。

最後に尊い命を亡くされた方々の御冥福を祈って止みません。



失って得たもの

都茂 寺 井 泰

打つつけるような物音に目覚めた。目に写ったものは空から地に一直線に連なる雨の屏風である。一瞬、昭和十八年九月十八日、浜田の学校に居た私の処に、兄の戦死の報らせで先生に送られて駅に急いだときの雨が脳裏をかすめた。これは大変なことになる。顔も洗わず、カッパを着て道路に出た。危険な近くの家へ走った。しかし家に帰ったときは店に水が浸って来た。米、畳と年老いた母と荷上げしたが既に店には腰まで濁水が；そして炊事場を通して床へ流れる。道路ではドラム缶が七つ八つと大渦の中にぶつかり合い異様な音と共に家に迫ってくる。ひと抱もある流水と木の葉がガードレールに壁を創り水嵩がいやが上にも増し、自然の怒れる事象を唯々見守るのみ、私は亡き父に「助けて、もうだめ、助けてください。」涙がポロポロ流れる唯一念の祈り、おそろおそろ目を開くと引き水となっていた。泥に埋もれた商品を唯呆然と……時が経つと共に町内の悲しくも異常な災害に身が震える報らせが次々に入ってくる。

此の災害は数時間の出来ごとでありながら永久に災害史上に太く残される事実である。人命、家、山林、田畑と祖先から大切な遺産として継承されたものを一瞬に失い、それにまつわる祖先の心のもった財産を数多く失った多くの人々の

なげき。

しかし私は災害により偉大なものを身をもって得た。人の心の美しさ、金で買えない人の心の暖かさを……電気が点かないので日明りいっぱい泥落ししていると夕食の差し入れ、あの炎熱にもいとわず援助くださったあの人の人、自家の災害も顧みず、不眠不休の役場の人々や地区の役員さんの方々、少ない野菜の中から持参してくださったトマトのおいしさ。外部からの物資の援助、母と共に「有難度いですね」を繰り返す。忘れてならないのが、明治、大正、昭和と生き抜いた母の強さである。こしこしと唯黙々とした人々の心を生涯忘れることのない大切な宝として保持し、これからの私の人生いっぱいの中で恩に報いて行かねばと強く心に誓った。



初めての水害

五年 安 達 紀 子

七月二十三日の朝、起きてみると、道路が川のようになっていました。そして、流れている物は、周りの道路では、ぞうり、ゴミ、草、木のえだ、葉、その他、あまり大きくない物が、流れていました。でも、向こうの道路は、はっきり見えませんでした。田があったところが川になっていました。そのところでは、冷ぞうり庫や、車までも流れていました。でも、それだけではありませんでした。たたみ、家具、家の柱。小さい物では、スリッパ、ゴミ、木のえだ、草などが流れていました。その様子を見て、わたしは、おそろしくなり、少し、荷物をつくりました。それは、家のゆか下に、もうすぐきそうだし、雨は、だんだん強くなってきていたからです。そして、どろが、あるいろいろな場所へたまってきました。田のどろでしょうか。そしたら、田が一斉にぐずれてくるのではないのでしょうか。今年、わたしの家では、田は作りませんでした。だから、他の田がダメになっていたのを見ると、気の毒になりました。そうして、長崎みたいになるのかなあと、不安でたまりませんでした。長崎は、死者が二百人以上出ました。島根は、死者何か出ないようと願っていました。生まれて初めての水害です。水害で死ぬなんて、ひどすぎます。わたしは何回も、死ぬのではないかとびくびくしました。でも、死んだらどうにもならないので、心を強くしようとがんばりました。わた

しはその時、一番おそろしく思えました。昼ごろ、ようやく、水が少なくなってきました。わたしは、いっしゅん、「助かった」と言いそうになるほど、強く、喜びを感じました。そして、雨がやんだので、上の住たくを見に行きました。そうしてとつてもびくびくしました。それは、今千葉にいる三年生の西川ともゆき君の家のうらが、川になっていたし、水のいきおいが強く、ともゆき君の家の水が、かかっている感じがしました。そういうことは、下の住たくの方が安全というか、ひ害が少なかったということになります。けれどもふしぎでたまりません。それは、上の住たくの水が下の住たくに行くのに、上の住たくが、ゆか下やゆか上に水がきたのです。なぜなんだろうと今でも思います。

水害で、こまったのは、電気のことと水のことでした。他にも、いろいろとこまりましたが、それほど、こまりませんでした。夜、電気が付かなかった時は、あちこちするの暗かったりして、こわくはないけれど、歩きにくかったり、することがなかったりで、本当にこまりました。そして、水が出ないで、お風呂に入ろうと思う時、バケツに何回も水を入れて、あせを流しながらするのは、たいへんなことでした。夏休みの歯みがきもできそうにないし、こまりました。もうぜったいに、何の災害も起こってほしくないし、聞くのもいやです。

美都町立東仙道小学校

豪雨災害文集

「おおあめだ」より

七月二十三日水害

板井川 斉 藤 ヒサヨ

十八年の水害も確かに大きな災害だったと思います。

私の家では田圃にはあまり被害がなかったように思いますが、野菜畑は土砂にうもり、何年もかかって主人がやっとつくりあげ、十年余りになると思います。

「のどもとすぐれば熱さ忘れる」災害は忘れた頃にやって来る」の言葉通りその当時は色々苦勞もあったと思います。それもいつしか……。

七月二十三日、降りつづく雨、みるみるうちに大洪水となり、黒にこりをたてて流れる水の音、畑はどんどん水におし流されてゆく。稲田は土砂でうもつていく。ああどうしよう、どうしよう。

雨は相変わらず降り続く、戸を締めている気になれず雨の降る外ばかりみていました。こわいなあ、どうしたらいいだろう、もしや裏山がぬけたらどうしよう、どこへも行か所もない、行くこともできない。

いざという時の用意に、自分の下着、子供の必要のもの、少しばかりの食物等を袋に入れて朝ごはんも食べず、食べる気になれず、ただうろろするばかり。何とか雨が止んでくれないかと神に祈る思いでした。

ふとみると、どんどん水が流れている。

ああ、水が来た、水が来た。一瞬だめかと思いましたが。何をどうしていいやらわからず、ただうろろするばかり。床下は水がどんどん流れている。私の家は、前が切れているので、ぜったい家が流れる様なことはないだろう。少し私も落ち着き、用意したものを自動車にもって行く。ブーツの中に水が入る。子供は、こわい、こわいと泣き出す。早く雨が止んで欲しい、うろろとあわてているうち雨もふしぎに小雨となった。

ああ、よかった、もう三十分も降り続いたらどんな大事になるだろう。

雨も小雨になってきたので、気になっていた斉藤アヤさんの家を見に行く。途中、水、土砂で歩けない。やっとの思いでたどりついてみると、思いがけなく裏山の土砂で、あわれ無残にもアヤさんの家はおし倒されている。言葉も出ません。気の毒でした。私たち家族は何んの変りもなくぶじでしたが、アヤさんの家をおい途方にくれた思いでした。電気もつかない、電話も不通、無線放送にたよるのみ、まったく孤立してしまい、一時情けなく思いました。

三日目、音信不通だった近くの皆さんにあうことができ、御様子を聞いたり、お見舞、応援をいただき心強くなりました。家族を亡くされた皆さん、ほんとうに気の毒です。アヤさんも家をなくされたよる人もなく、永く住みなれた若杉を

しかたなく去ってゆかれる姿、災害とはいえ私の心に残るさみしくかなしい被害の後遺症と 생각합니다。

あのおそろしい水害の朝のさまさまの様子、私の心の中に後遺症として残っています。早くもとの生活にと祈る私です。



再 建 後 記

宇津川 岡 政 夫

一生の中で、いつ何が幸いし、何が不幸を招くか、過ぎてみなければわからないが、厳しい現実の中から気持だけのがれようとすれば、みじめさが現実へ重なり、自分で哀れになる、現実の中から明日への光を求め、一つの転機としてとらえれば苦しみの中にも明るさが得られるのではなからうか。

とどまる事のない社会の中で、社会の一員としての役割を果たすため、たゆまぬ努力と。時として思い切った発想の転換もしなければならぬ。災害はとんでもない結果をもたらしたが、いくら悔んでみたところでどうにもならない。

生きてゆくためには復旧か、転換か、何んとかしななければならぬ。どちらにしても、大変な人生が待っている事には変りはない、なれば生活の中に、仕事の中に、貧に勝る労苦に、勝る豊かさをとめて何かを得られるならば、おだやかな人生が過せるのではなからうか。多くの人の温かい再建のための努力に報いるためにも、少しでも、たしかかな明かしか残るよう努力してみたい。

二川の発展を考えて

二川 佐々木 浩 和

くらないようにしたいです。このような町づくりになると二川はもっと発てんすと思いません。

七月二十三日、とつぜん起った集中豪雨のため、二川はボロボロとなりました。でも二川の人々は車を流されたり、家をこわされたりしても、しんぼうづよくがんばって、復旧作業をしてきました。そのおかげで、二川は前より、きれいになりました。これからの二川に望むことは、川のていぼうを強力につくりなおすことです。それに、道路がけずられた所は、すぐアスファルトの道になおすことです。そうしないと、まえより川の高さが高い所はすこし雨がふればすぐ川の水がはんらんするからです。川のていぼうを強力にしたなら、そのつぎにするのは、山の森林を切りたおし、農作物をつくる土地をひろげることです。それは、災害のため田畑が川原になったためです。農作物を作る土地が広くなると、とうぜん農作物がたくさんうれるので、たっぷりお金がはいります。

そのお金でこんどは、工場をたくさん作るのです。そうすれば若い人が出かせぎに行くことはなくなり、ほかの所から人がくれば人口はふえ産業の町となり、美都はものすごく発てんします。そうすれば美都町はもっととさかえるでしょう。ですが工場ばかりつくと、よごれてきたなくなるからあるていど以上つ



リーダー研修会で

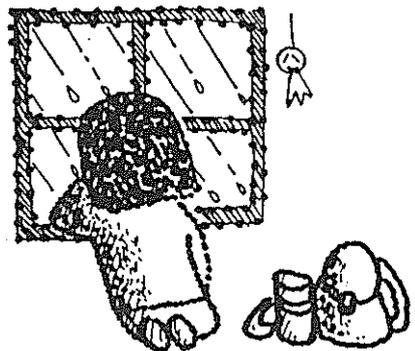
心に残ったこと

都茂 斎 藤 章 子

リーダー研修会で心に残ったことは、予定よりも長いキャンプだったことです。研修は21日から23日の予定でした。でも、だんだん雨がひどくなって島根の益田の方や山口の方では、水かさが増えて川がはんらんしたりしました。私達が来た瑞穂町もいるんなひがいが出たそうです。それで23日はまた研修練へとまることになりました。先生方にとまるという話をさくともかなしくなりました。でも美都や益田にいたら自分がひがいにあっていたかもしれない、と思うと私達は運がよかったんだなあと思いました。それで、その晩は、心配でねむれませんでした。次の朝、(24日)「今日は家に帰れるカナア。」と少しうれしくなりました。でも、またとまるという話になつてガックリでした。ほんとうのことをいうと大声で泣きたい気持ちでした。でも泣くとはずかしいので泣きませんでした。そしてだんだん家のことが心配になってきました。私はとても元気だけれど、お父さんやお母さんはいじょうぶなのかどうかわからないのでかなしくなりました。早く家へ帰って家族の顔がみたいと思いました。でもその日バスはむかえにきてくれませんでした。

次の日25日、私はもう決心しました。バスはなかなかこないけれど家に帰れる日まで、弱音をはかずにがんばろうと思

いました。和田原子ども会の人たちもわたし達を心配してくれて野菜をもって来てくれたり、ある家のおばさんも本当においしそうな野菜をくれたりしてくれて、元気づけられました。本当のやさしさや思いやりをわからせてもらった気がしました。予定とちがう研修会は、内容豊富でいろんなしゅうかくがあつてよかつたと思いません。



「家も、二頭の牛も」

三谷 伸 山 梅 市

昭和五十八年七月二十三日の朝は、いつものように起きた。雨が物凄く降っている。裏山から、石ころ混じりの泥水が、滝のように釣屋の間を流れ、牛小屋には水が一杯たまっていた。

これは大変と、すぐブロックを壊して水を出し、仔連れの牛を別の牛舎へ躲している所へ、甥の孝雄がやって来た。

「この分なら、郷の方はどうなっているだろう」と、二人で水を見に出た。

吉野様下まで出て見れば、川は濁流が溢れ、山は崩れ、道も欠壊していた。急に家が気になり、自分はずぐ帰った。

家の下の角を曲った時、裏山の木が動くように見えたと感じた途端、家は押し潰され、道路を越えて沖の田へ飛んで行った。

家には息子の「登」が居た筈、「登」、「登」と呼んだが返答がない。何回も呼ぶ内に声が出た。「敷かれてはいないか」と尋ねたら「いない」、「体が痛い」という。どこに居るのかと思えば、道路の沖の鼻だった。倒れた木の間をくぐって傍に行き、引き起して見れば、顔は内出血で真黒くはれ上がって居た。

こんな自分達に雨はあかないように土砂ぶりに降り注ぐ。自分の着ている合羽を抜いで息子に着せて居る所へ、孝雄が帰って来た。

孝雄に息子を背負ってもらい、吉野様宅へ行った。奥さんの美須江さんは、すぐ着替を出して着せ替え、寝かせて下さった。

それから、自治会長さんの心配をいただき、地元の皆さんの手で登は戸板に乗せられ、田の畦道を通るなど難儀の末、都茂川瀬医院へ運ばれ診てもらった。川瀬には入院出来ない為、町長様の御配慮と、「武」食堂様の御厚意により、「武」の客間に入れてもらった。

その中に苦しみ出したので、丁度、養蚕の渡辺先生の娘さん（日赤看護婦）が居られ、酸素吸入するなど丁寧に看護して下さいました。

夕方、中学校校庭にヘリコプターが来た。渡辺様は、「私が連れて行くから安心せよ」と言ってお機内に乗りました。飛び去って行くヘリコプターを眺めながら、家も、牛も、そして息子も、今総てを失ったと感じ、茫然と立ち尽した時の心境は、言葉や筆に表すことは出来ない。保健婦さんに連れられて「武」に帰り、泊めてもらった。

翌朝、吉野様でもらった着替えの入ったビニール袋を担ぎ、才峠の坂をとぼとぼと越える時、牛は家の下敷きになって死んで居るし、どうしよう、等色々思いつつ帰った。

帰って見れば、死んだ二頭の牛は、地元の皆さんの手で片付けられつつあった。

こんな様子を、朝倉の娘へ知らせることも、又朝倉の様子を聞くことも出来ず、孝雄の宅で不安の一夜を寝た。

その後、山口に運ばれたと聞いた登は、益田日赤に無事居るとの事で安心したが、着替えのビニール袋一つを肩に、朝倉や三谷の親戚を、屋根裏雀のように泊り歩く浅ましき、その中に、あせりや無理が重って急に腹が痛くなり、救急車で入院した。診察の結果は、急性膵臓炎とのことであった。

結果は、余り大したことなく無事退院し、これ又無事退院した息子と二人で仙道の仮設住宅に入れてもらった時の嬉しさは、唯々感謝の涙しかなかった。

現在、家の向うの山を掘り、大工などで殆んど自力で家を建て、未完成ながら移り住んでいる。

仮設住宅中は、仙道五班の方々で大変お世話になった。八十才にも近いこの歳になって、思いもかけない災難を一身に受け、その時の事を思うと今でも涙が出る。しかし、こんな私に、県、町、地元その他随分多くの方々にお世話になった御恩は、終生忘れることが出来ません。有難うございました。

立ち往生の子供と友情

瑞穂 小笠原 義 宣

瑞穂町を襲った集中豪雨は、被害総額約八十二億円という、かつてない被害をもたらしました。町のいたる所に残る豪雨のツメ跡は生々しく、自然の脅威を感じさせます。二人の尊い命を奪った角谷川も今は濁流がうそのように静かです。

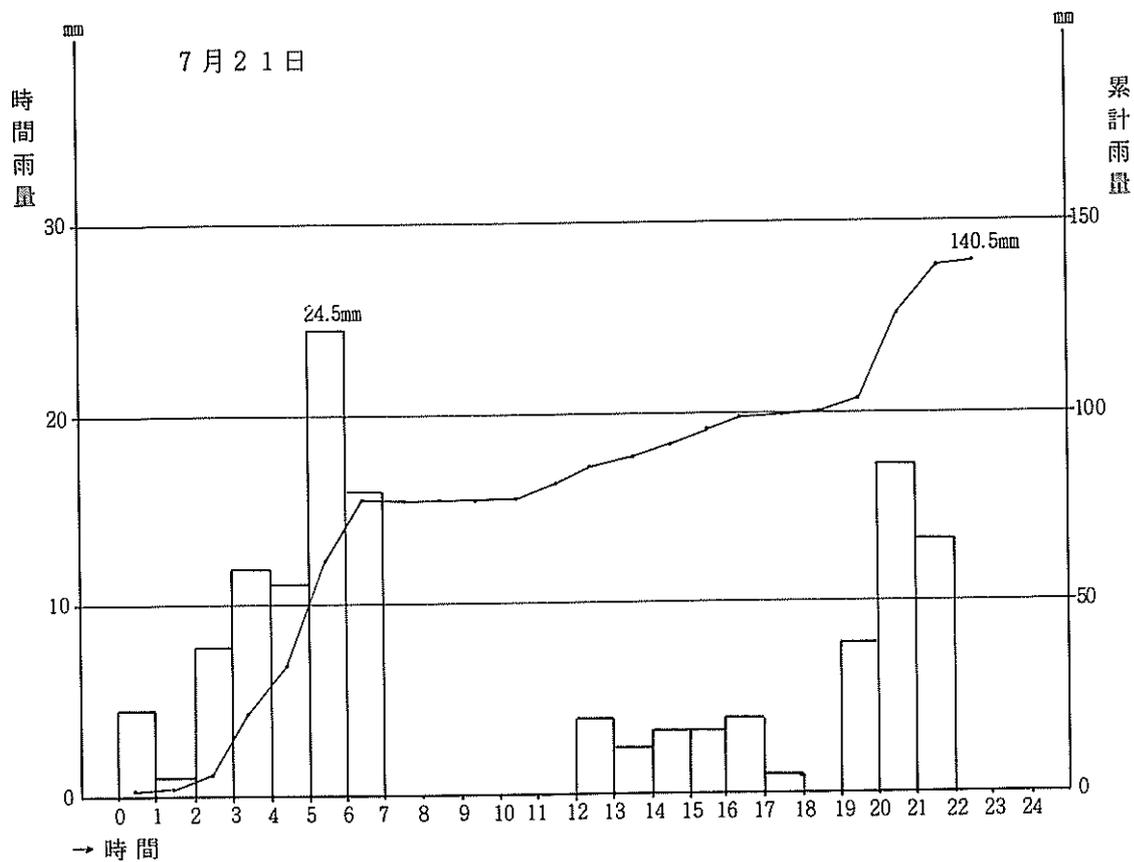
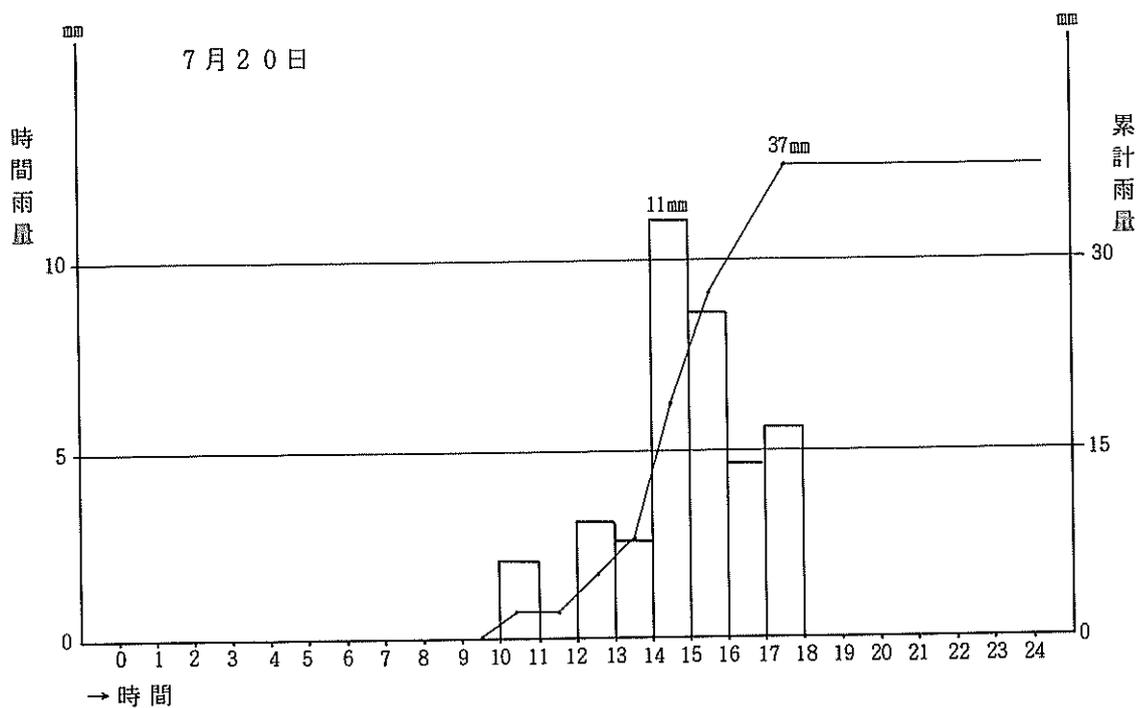
物心両面で大きな打撃を与えた水魔。だが、そんな中で心温まるニュースが一つ。青少年旅行村で、二十一日から二十三日の予定でキャンプに来ていた美濃郡美都町の子供会約七十人が折からの豪雨で、帰れなくなりました。この窮状を知った町内の和田原子供会のメンバーは、さっそく、野菜、米を持ち寄り、差し入れました。また、交歓会を開くなどの救援活動を行いました。この活動に対して美都町からお礼の手紙が。和田原子供会も、励ましの手紙を送るなど、これを機に友情の輪が広がりそうです。

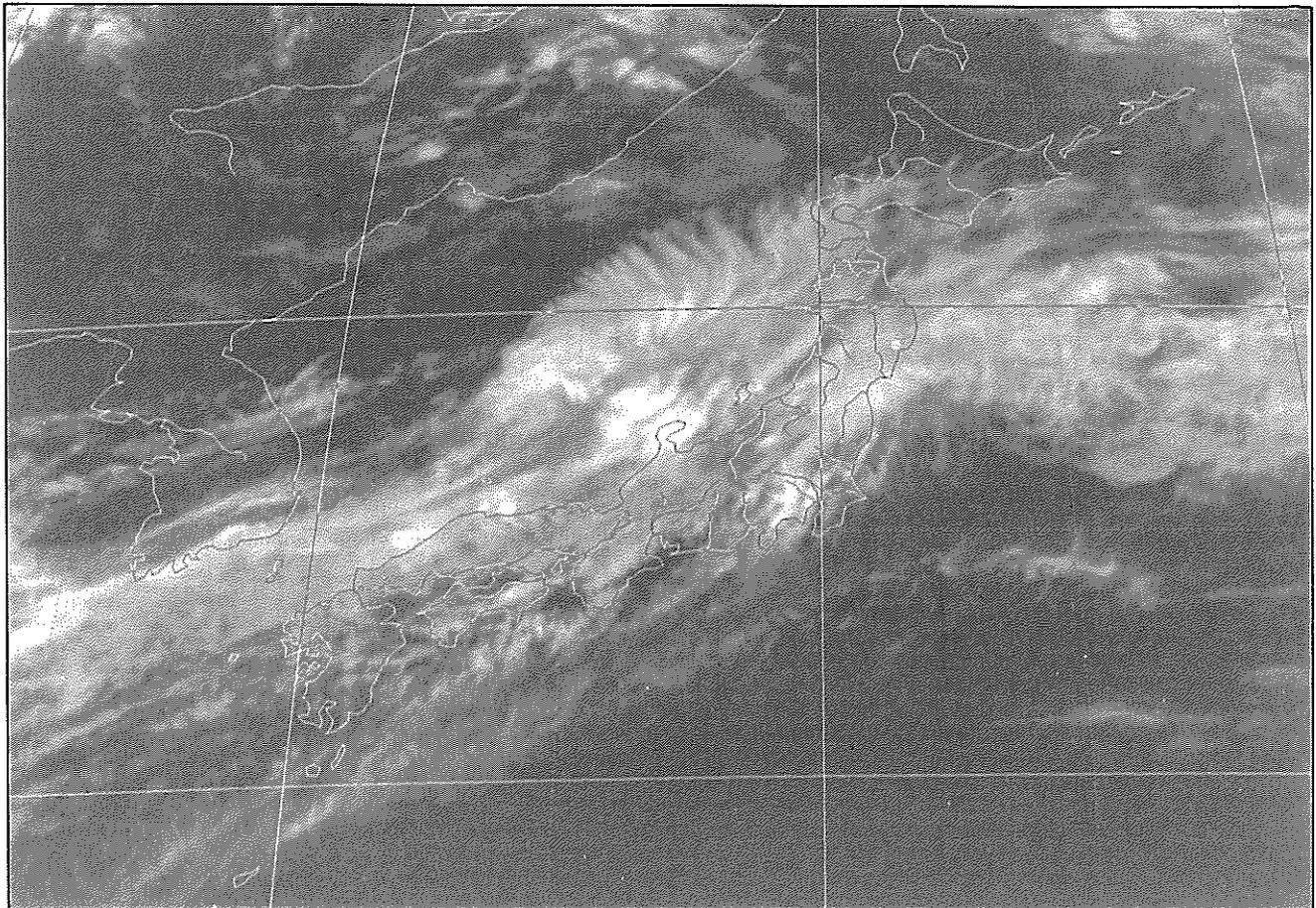
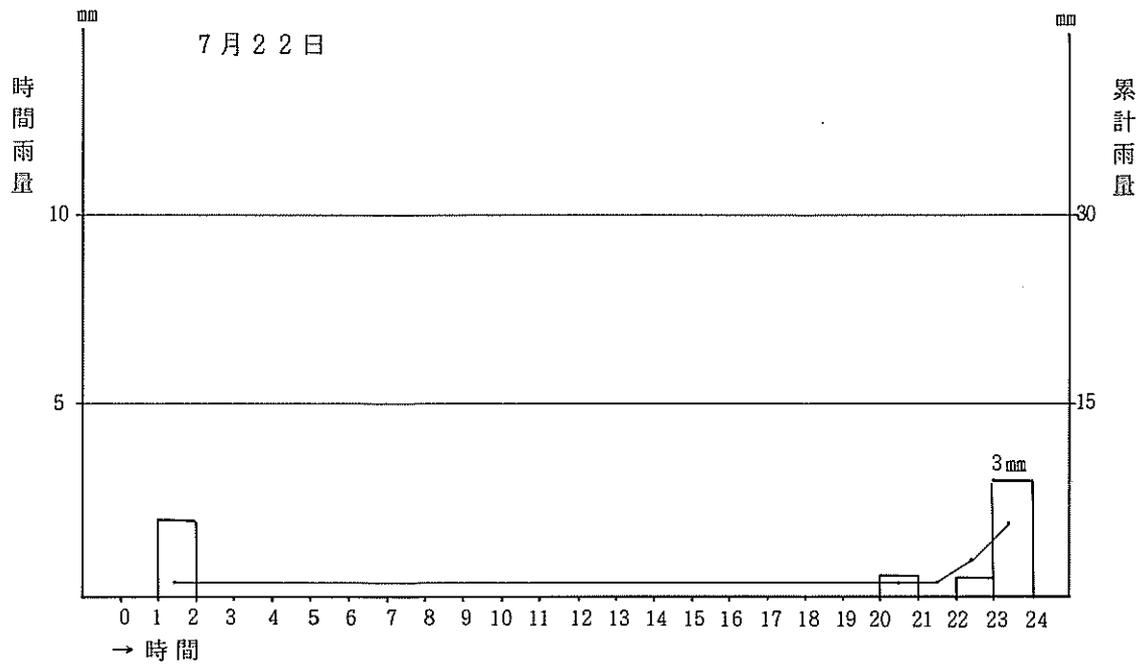
（山陰中央新報 58・8・14より抜粋）



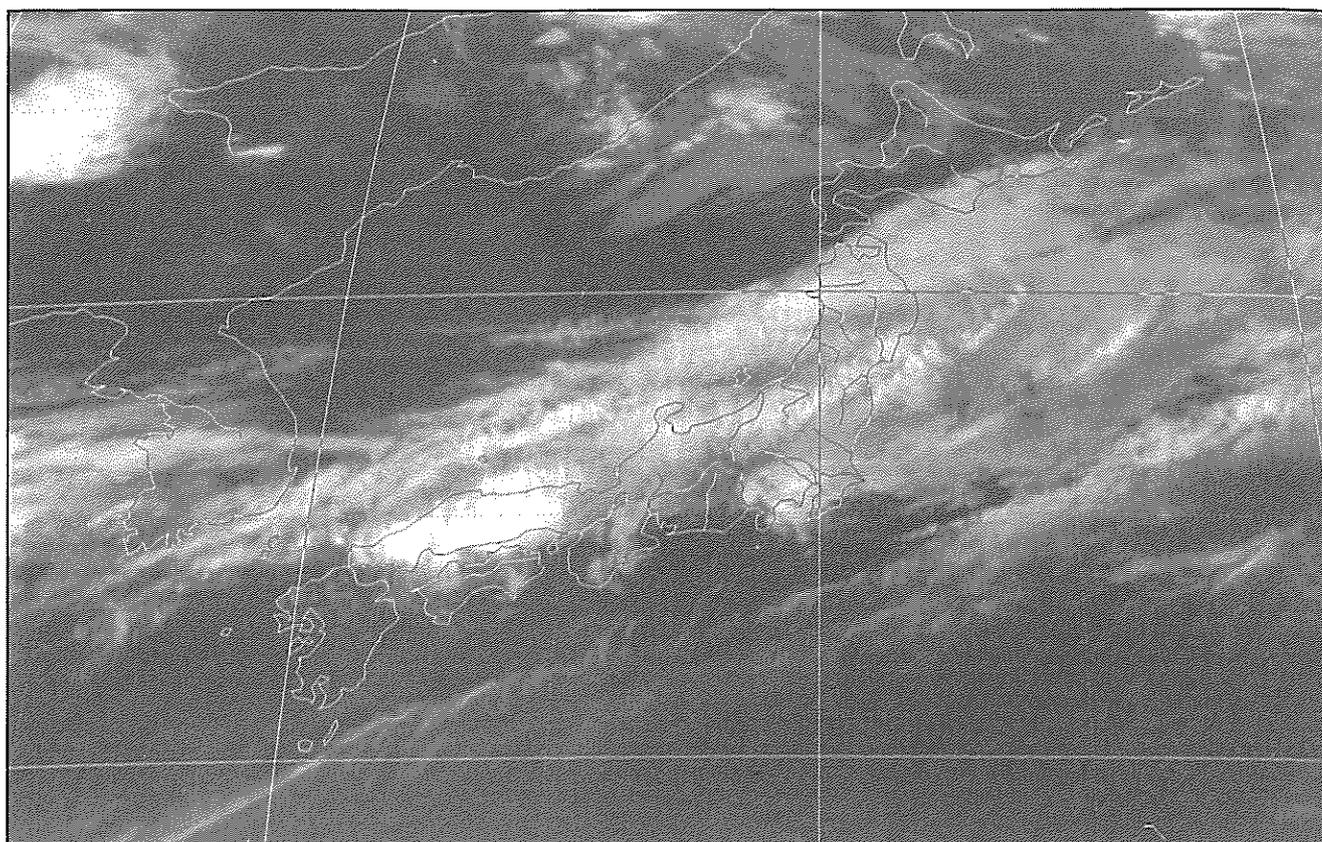
第三部 水害資料

< 1 > 降雨量の推移

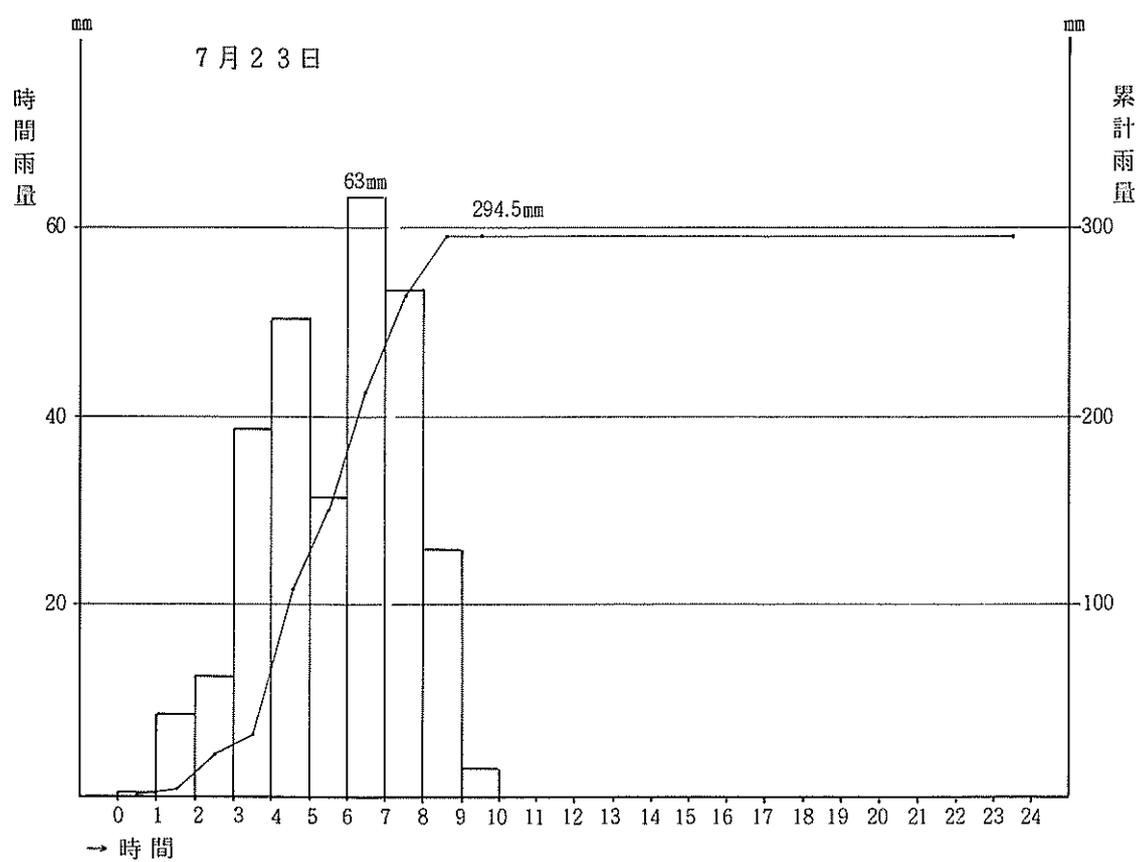




7月22日午後9時 写真提供 気象庁



7月23日午前3時 写真提供 気象庁



< 2 > 人身・住家等被害

被害種目	被害状況				被害前の状況	備考
	区分	数量	単位	被害金額		
人身被害	死者	8	人	千円		都茂地区 5人 仙道地区 3人
	重傷者	3	人			都茂地区 2人 仙道地区 1人
	軽傷者	2	人			都茂地区 1人 二川地区 1人
	計	13	人			
住家被害	全壊	47	棟	167,800		罹災者 146人
	流失	8	棟	28,600		16人
	半壊	36	棟	57,800		124人
	破損	47	棟	10,800		165人
	床上浸水	84	棟	30,000		267人
	床下浸水	158	棟	19,800		504人
	計	380	棟	314,800		1,222人
非住家被害	全壊	37	棟	50,300		
	流失	11	棟	15,000		
	半壊	23	棟	14,100		
	破損	22	棟	1,900		
	床上浸水	17	棟	2,300		
	床下浸水	17	棟	800		
	計	127	棟	84,400		

< 3 > 商工・公共施設等被害

被害種目	被害状況				被害前の状況	備考
	区分	数量	単位	被害金額		
公共建物被害	町営住宅	6	戸	千円 5,052		
	農協・社寺等	2	棟	20,500		社寺
	計			25,552		
公営企業被害	簡易水道			103,000		二川,都茂,仙道,笹倉
	計			103,000		
商工・鉱業関係被害	建物	73	棟	217,400		
	施設	34	所	116,450		
	商品・製品等	32		30,800		
	仕掛品・原材料	19		29,900		
	その他	22		55,640		
	計			450,190		
福祉施設被害	床上浸水	2	戸	4,800		
	敷地崩壊			17,000		
	計			21,800		
教育施設被害	工作物	2	棟	50,700		
	土地	2	校	68,600		
	計			16,201,112		

< 4 > 農林関係被害

被害種目	被害状況				被害前の状況	備考
	区分	数量	単位	被害金額		
農地被害	田	80,9	ha	1,186,000 ^{千円}	216 ha	箇所数 514
	畑	7,0	ha	102,000	85 ha	54
	畦 畔	131,4	ha	642,000		430
	桑 園	1,0	ha	750	13 ha	15
	樹 園 地	3,0	ha	2,050	43 ha	41
	わ さ び 田 畑	4,0	ha	201,600	(谷) 4.29 ha (畑) 3.03 ha	
	計			2,134,400		
果樹等樹体被害	桑 樹	3,0	ha	5,020		
	ゆ ず	1,0	ha	1,000	6.5 ha	
	み つ ま た	10,0	ha	750	17.5 ha	
	く り	1,0	ha	100	5.0 ha	
	計			6,870		
農業用施設被害	ビニールハウス	26	棟	12,300		5,925 m ²
	計	26	棟	12,300		5,925 m ²
畜産関係被害	畜 舎	57	棟	40,200		
	牧 草 地	8,0	ha	470		73 ケ所
	牧野施設(牧道)	150	m	1,500		5
	家畜死亡(肉用牛)	7	頭			
	“ (ニワトリ)	12,060	羽	13,578		
	畜産物(生乳)	1,750	kg			
	“ (鶏卵)	5,600	kg	1,491		
	計			57,239		
養蚕関係被害	ま ゆ	0.45	t	900		
	計	0.45	t	900		
山林関係被害	林 道	3,247	m	221,530		26 ケ所
	林地崩壊	377	所	7,685,000		
	苗 畑	2	所	907		
	計			7,907,437		
林産物等被害	立 木			77,339		
	素 材			4,000		
	しいたけ育成施設			6,000		
	しいたけ槽木	22,000	本	66,000		
	特殊林産物加工施設	20	棟	21,300		
	計			174,639		
農業用施設被害	溜 池	9	所	16,000	14 ケ所	
	頭 首 工	45		256,000		
	水 路	14,654	m	669,000		303 ケ所
	農地保全施設	80		15,000		
	農 道	5,811	m	462,000		
	橋 梁	29	橋	226,000		
	計			1,644,000		
農作物被害	水 稲	336,4	t	100,920	201 ha 533 t	152 ha
	大 豆	6,1	t	1,830	14 ha 18 t	7 ha
	わ さ び	6,4	t	25,600		4 ha
	た ば こ	23,9	t	38,240		20 ha
	野 菜	39,5	t	6,745		
	桑 葉	0,5	t	1,060		
	飼 料 作 物	22	t	5,900		
	計			180,295		

< 5 > 公共土木被害

被害種目	被害状況				被害前の状況	備考
	区分	数量	単位	被害金額		
公共土木被害	町道	472	所	千円 2,012,190		14,083 m
	橋梁	6	橋	87,780		51 m
	町河川	25		913,770		17,762 m
	計			3,013,740		

< 6 > 美都町消防団出動状況

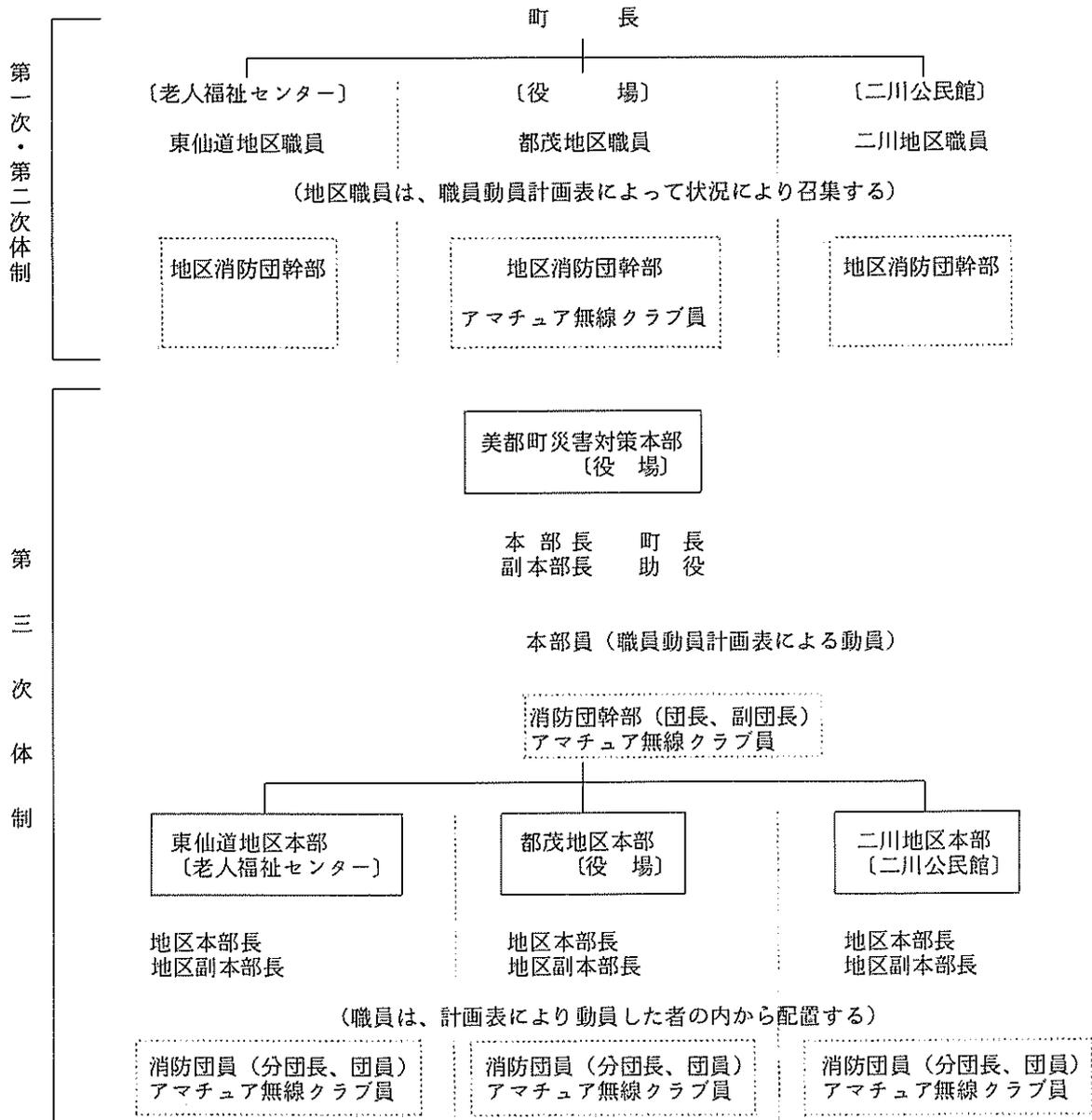
昭和58年7月豪雨災害における
美都町消防団 出動状況表

活動状況	出動回数(延)	出動団員数(延)
人命救助活動 山本地区 死者 3人 救助 2人 " 死者 2人 小原地区 死者 2人 遺体収容 三谷地区 死者 1人	4 回	60 人
負傷者搬送 家屋倒壊による負傷者 1名 三谷地区～都茂(役場)～ヘリコプター～病院	1 回	10 人
避難、誘導(独居老人、歩行困難者) 都茂地区～3回 仙道地区～4回 二川地区～3回	10 回	20 人
住民の避難誘導 都茂地区～美都中学校、都茂小学校 山料公民館、都茂上自治会館 美都町役場 仙道地区～老人福祉センター、東仙道小学校 仙道会館、三谷集会所 笹倉集会所 二川地区～二川公民館、板井川公民館 二川小学校	15 回	30 人
水防作業 都茂地区～2回 仙道地区～2回 二川地区～1回	5 回	22 人
警戒出動 都茂地区～8回 仙道地区～10回 二川地区～6回	24 回	48 人
合 計	59 回	190 人

<7> ヘリコプター着陸回数

月 日	着 陸 回 数	用 務
7 月 2 3 日	1 回	急患（負傷者）搬送 3 名
7 / 24	3	急患搬送 2 名、電々公社資材搬送、救援物資
7 / 25	20	救援物資、急患（妊婦）、燃料
7 / 26	31	救援物資、NHK取材班
7 / 27	22	救援物資、急患搬送（妊婦）1 名
7 / 28	34	救援物資、中電資材等
7 / 29	9	救援物資、各通信施設資材
7 / 30	3	電々公社資材
7 / 31	4	電々公社資材
8 月 1 日	2	救援物資、資材搬送
8 / 2	0	
8 / 3	2	資材搬送
計	1 3 1	

<8> 災害対策動員表



町の人口 (58.8.31 現在)

世帯 1,147

人口 3,599

6月～8月中のうごき

出生 8 死亡 15

転入 24 転出 29

第231号 (昭和58年9月発行)

編集・島根県美都町企画財政課

戦後最大の水害

58年7月豪雨災害



83 7 23

堤防を破壊して流れる益田川の濁流に洗われる下都茂地区

七月二十日午後から断続して降り続いた雨は、二十二日には一旦あがるかの気配を見せたものの二十三日未明から最大時間雨量六十四ミリ(六時から七時)という猛烈な集中豪雨となり、二十日からの総雨量は四百七十八ミリを記録し、美都町全域に大災害を引き起こしました。

降り続いた雨で地盤に大量の雨水を含んだ山腹は、急激な降雨に耐えきれず、町内全域で山崩れをおこし、尊い人命や貴重な家財を瞬間の内に奪い去ってしまいました。

町内を流れる大小の河川はことごとく濁流となって氾濫し、膨大な土砂と流水とともに堤防を崩し、道路を破壊し、農地を無残な河原へと変えてしまいました。

この日を境に電気も、水も、通信手段もない陸の孤島となった美都町は、夕闇の訪れとともに家族が疲れ切った体を寄せあって夜を過すという誰しも予想だになかった生活へと一変してしまいました。

目を覆うばかりの惨状の中で、ヘリコプターによる物資輸送の爆音と、通信衛星「さくら2号」を使った電話通信の成功は、町民を勇気づけ、また、全国各地から寄せられた義援金と救援物資は被災者への大きな励みとなりました。

かってなかつた深刻な被害と困難をかかえながらも、災害に立ちむかい、わたしたちのまち美都を再建するための懸命な歩みが今始められたばかりのところ です。

大水害から立ち直るために ふるさとを取り戻すために



町長

若杉茂樹

町予算の十年分の被害額

七月二十三日未明に襲った大水害、それはまことに恐怖の濁流であり、その被害は日を追って増大し当初百億円と推計されたものが確定百六十二億円（国県分は含まず）とふくれあがり、現在の町一般会計予算十六億二千万円の実に十年分に匹敵する大きな爪痕を残しております。

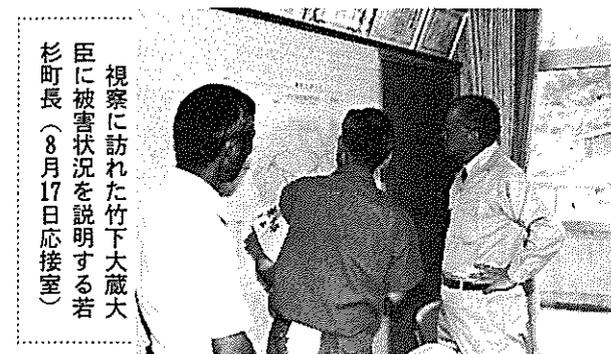
全国各地から 寄せられた 御厚意に感謝

さて、町民のみなさん、このたびの災害につきましても、激甚災

被災後一ヶ月が過ぎさのうちにすぎましたが、その間町民のみなさんの立ち上る強い意欲に相俟って、電気、通信、水、道路等が関係機関の連日連夜のお働きにより予想外に早く復旧しましたこと、また、町内外からの労力提供、義捐金援助物資等の温かいお見舞、さらに一日も早く立ち直れとの願いをこめて復興資金へとお寄せいただいたいたたくさんの激励あふれるご寄付は、なんとしてもここで復興し立ち直らなければ申し訳ないことだと心に誓いながら感謝いたしているところであります。

復旧への道は 険しいが克服しなければならぬ

ければならぬ



視察に訪れた竹下大蔵大臣に被害状況を説明する若杉町長（8月17日応接室）

害の指定を受けるべく町議会共々強力に働きかけてまいりましたが政府においては九月九日の閣議で近隣市町村とともに正式に指定が決定となりました。

しかしながら、ともすると激甚災害に指定されたらなんでもかでもみんな国がやってくれる、県が手助けしてくれる。みんな只でやれるというまことに安易で手前勝

手な期待がもたれがちですが、実際はそうはいかないことが余りにも多くあることを、この際知って貰いたいと思います。

まず災害については各府庁の査定を受けなければならないが、これがまた大変なことで、余す三ヶ月、十一月の終りまでに道路、河川、農地及び農業用施設、林道、林地、学校と二千ヶ所以上に及ぼうとする復旧計画を作らなければなりません。そのため町外から沢山の応援を得て作業を強行しております。

自治会長さんを通じてお願いいたしておりますように、それぞれ関係者の理解と協力によって得られる成果を災害復旧の決め手にしたいと思っております。

行政と個人の分野を わきまえ必ず復興 を達成しよう

住宅復旧、生産施設その他当然個人で、或いは受益者で復旧しなくてはならない分野がございます。「なにか補助はないのか」「いくら低利といっても元金を返すのが大変」とこの段になってなにかを期待しておられる方を見受けま

いろいろ制度運用の取り扱いはよく相談して、町も町民も全力投球をしなければならぬこの災害はそうたやすく復旧できることではありません。

私は先頭に立って必ず必ずこの復旧復興を一日も早くなすとけることに懸命の努力をいたします。この際町民のみなさんにも緊密一番の奮起をお願いいたします。

このふるさととは 子孫から預かっているもの

私は今までのこのふるさと、この山河は先祖から引き継ぎ、子孫に引き渡すものだ、だから大切にしなければと絶えず申し、町づくりの基本的な考え方としておりましたが、最近得た知識で考え方を多少変えざるを得なくなりました。このふるさと、この町は子や子孫から預かっているもの、その子供や子孫がよるこんで受けとってくれるもの、よるこんで住んでくれるものにまず復旧復興することが、ただ今の私達に課せられた大使命だと思っております。

この災害にめげず、ひるまず、禍を転じて福となす心意気で必ず必ず立ち直りましょう。

最後になりましたが、町民のみなさんくれぐれも健康に注意し、元気でがんばりましょう。

災害の爪あと



濁流うずまく一面の大河となった
益田川と三谷川の合流点

河川のはんらんと土石流と



東仙道保育所に
流れ込む中倉川の水



益田川の溢水につかった
仙道郷の街並



国道一九一号線仙道
バイパスを越えはじめ
た益田川

とみ報広



水かさが増し都茂農協前の道路にあふれ出た笹利川



益田川の運んだ土砂に軒まで埋った家屋 一葛籠一



土石流でめちゃくちゃになった家屋と農地 一大神楽一

益田川の濁流に洗われる
山科地区の民家

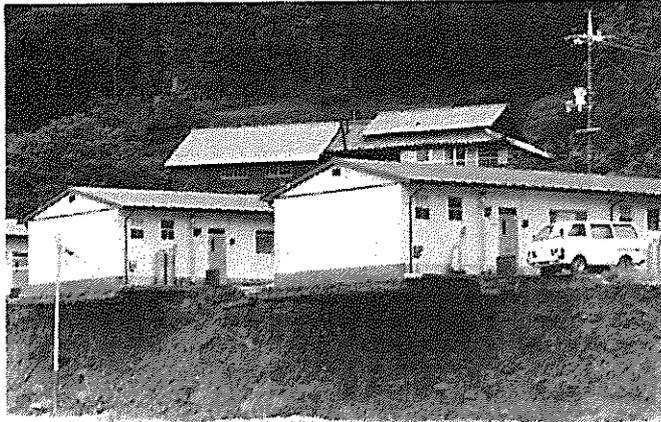


広 報 み と

(写真提供は河野春志さん「宇津川」)



矢原川の濁流に飲みこまれた鶏舎 一宇津川宮ノ原一



基礎を洗い流された町営住宅宇津川団地



寸断された国道 191 号線 一宇津川掘河一

矢原川の氾濫でスタスタになつた主要地方道三隅美都線



広 報 み と



道路の跡かたもなくなった町道久原三
谷線敷田屋橋付近

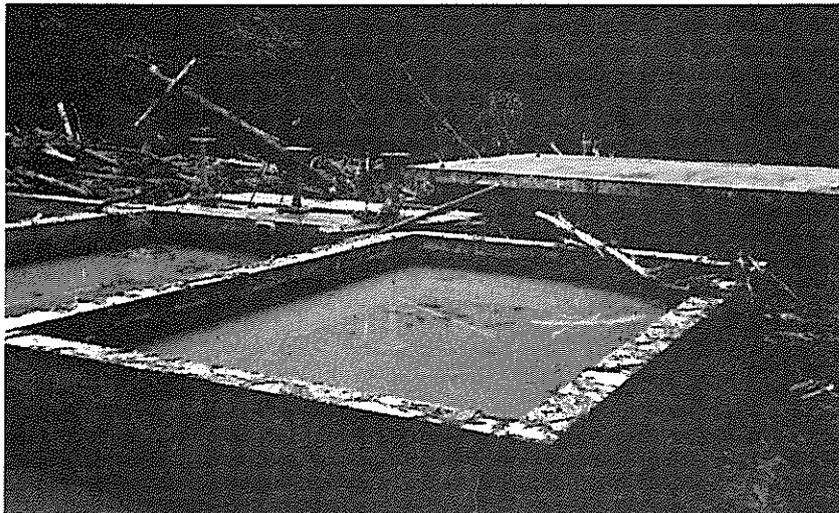


益田川にえぐりとられた国道191号線 一朝倉一

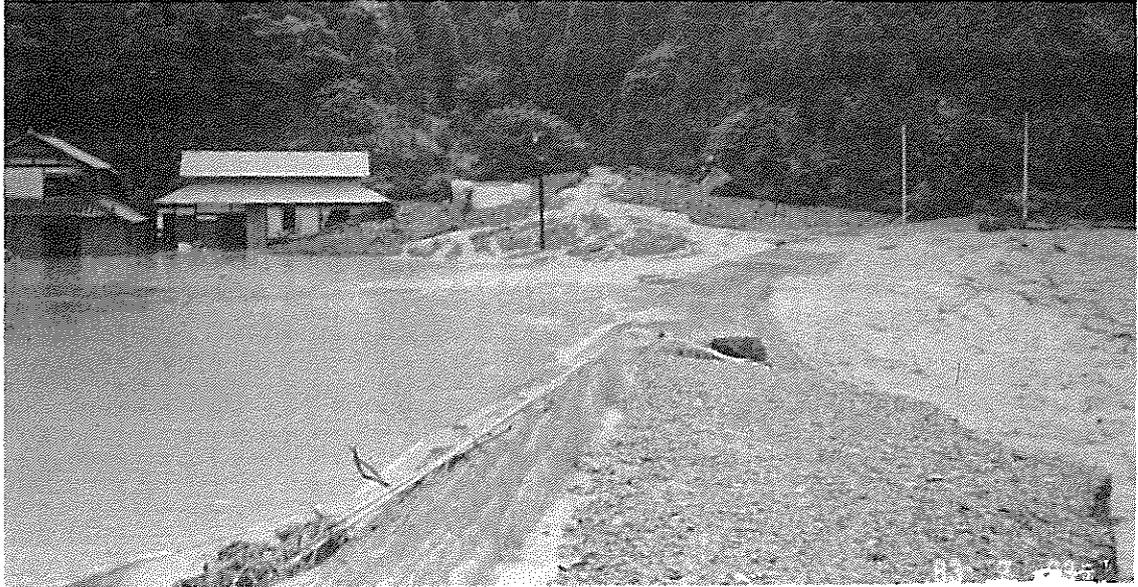


被災直後の公営住宅仙道下団地

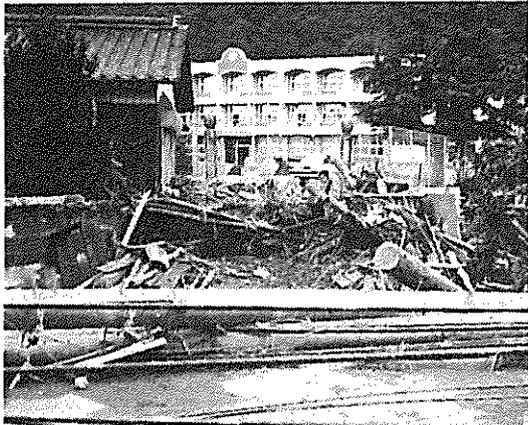
清水川の運んだ土砂と流木に完全に埋った仙道簡易水道施設



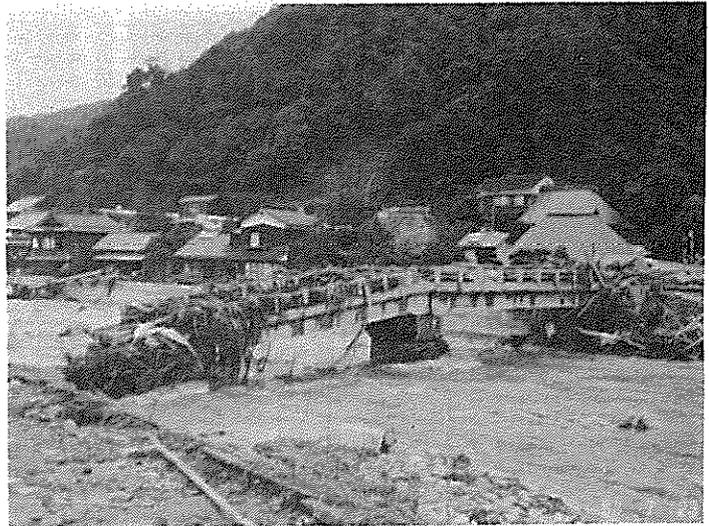
とみ報広



益田川の洪水と谷川からの土砂とに埋った家屋 一下都茂一



電柱や流木がうず高く積った
東仙道小学校校門

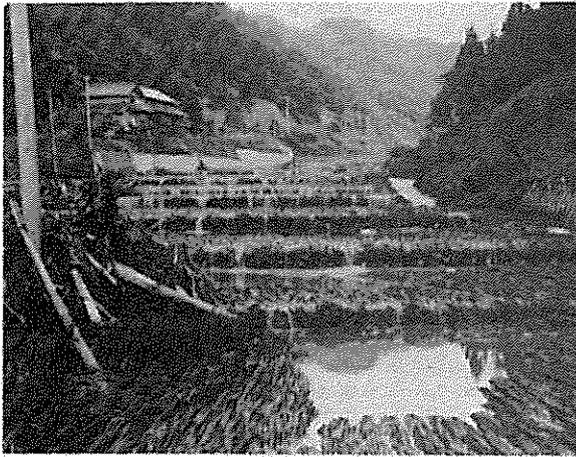


無惨な姿をさらす蜷橋

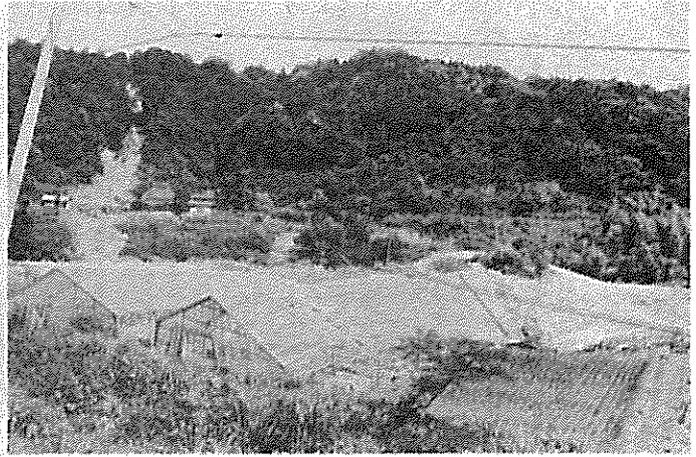


土石流に直撃され全壊した家屋
—小原—

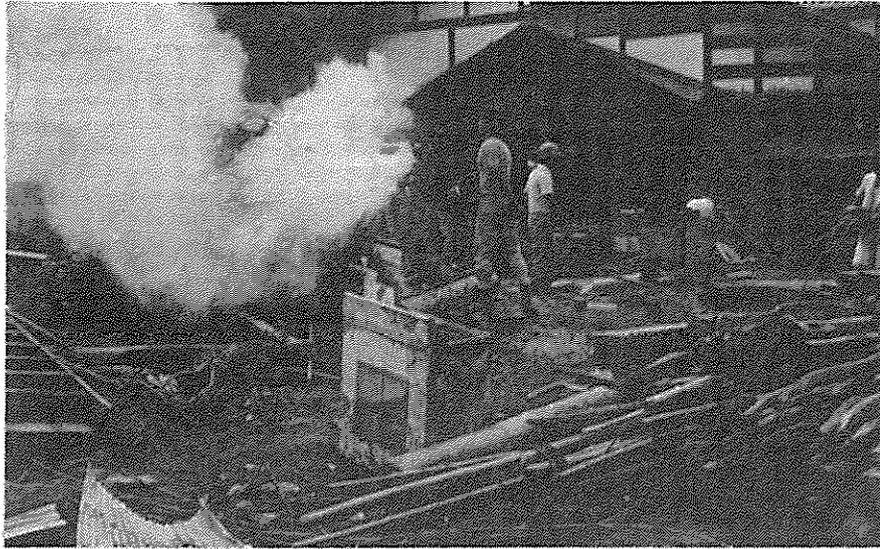
とみ報広



川となって流れた谷ぞいの水田
—朝倉中郷—

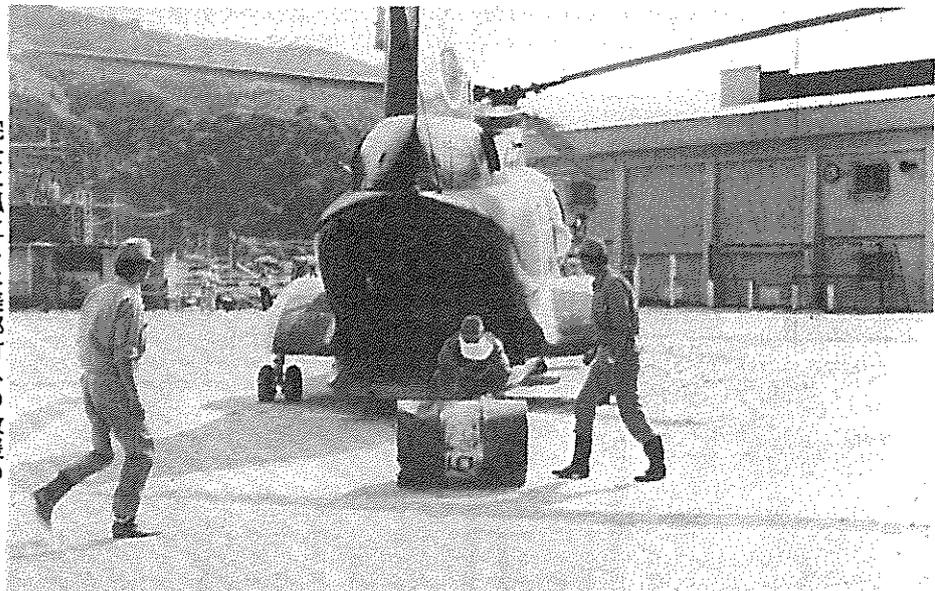


三谷川の氾濫で破壊された
鉄骨ハウス —小原—



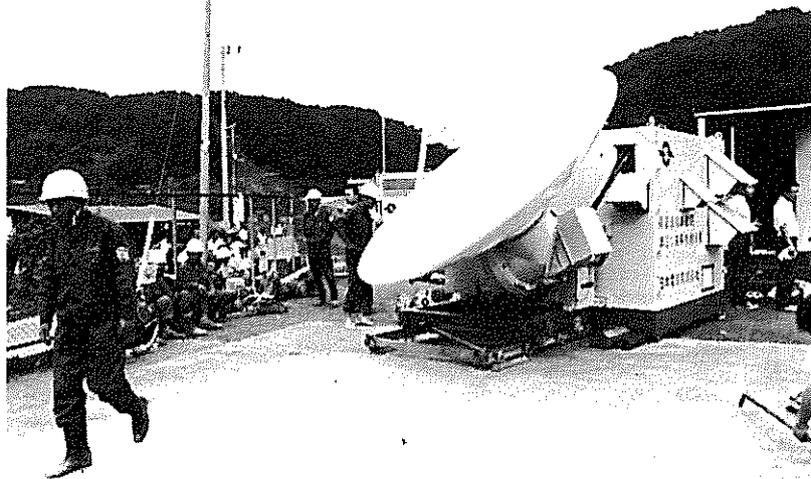
各地からの応援の人達による復旧作業 —仙道下—

救援活動

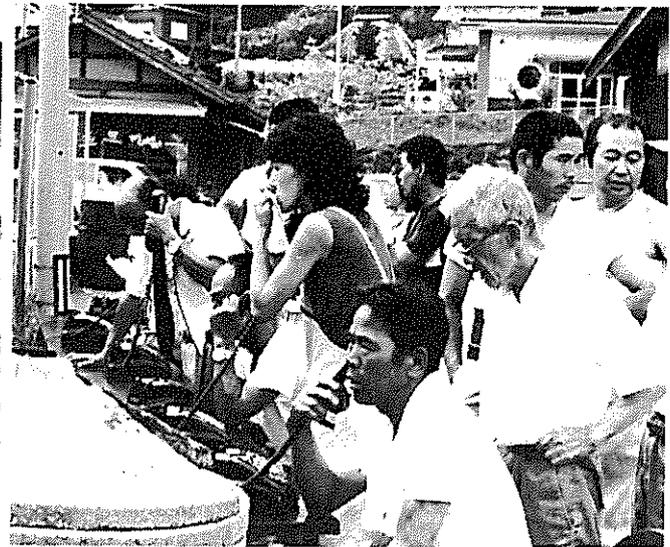


完全に孤立した美都町への救援の
ヘリコプターは被災後の一週間を中
心に延一三一回に及んだ
—美都中ゲランド—

通信網が破壊され陸の孤島となった
美都町へ災害復旧対策として、全国初
の通信衛星による電話通信の確保がは
かられました
—7月27日 山料—



全国各地から送られた救援の衣類の仕分け
—コミュニティセンター—

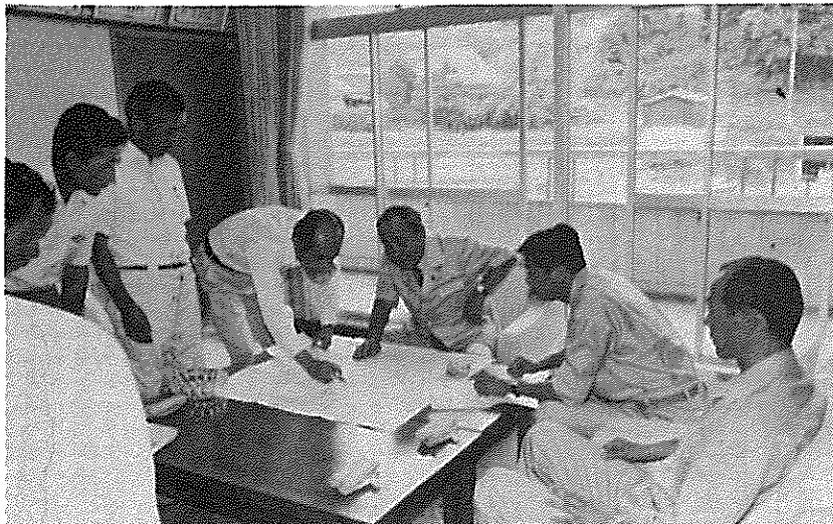


ようやく外部との通話が可能になり肉親へ
電話連絡する人たち —7月27日 山料—

救援物資の積み出し作業
—コミュニティセンター—



とみ報広



災害見舞に訪れた細田吉蔵自民党総務
会長に説明する弥重助役

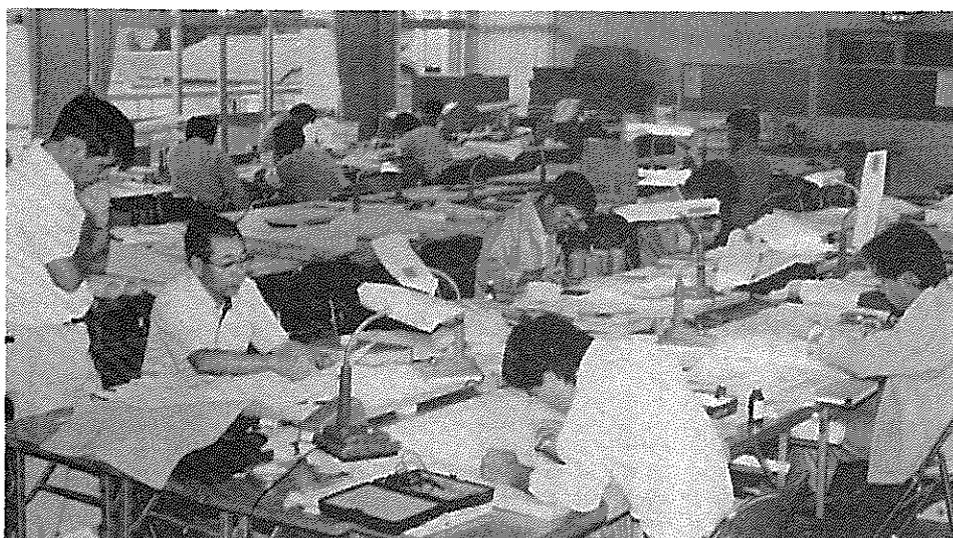
— 8月24日 —



被災者のため建設された応急仮設住宅
—老人福祉センター—



多数の町民が受診した島根医大島田教授らの災害地診療
— 8月24日 美都中体育館 —



県内外の自治体職員や土地改良連合会などの
応援を得て三階大ホールいっばいに始まった災
害復旧のための設計作業

—コミュニティセンター—

災害関連のおしらせ

被災者のみなさんに、災害から立ち直るための貸付制度等をお知らせしますのでご利用下さい

住宅関係資金

災害復興住宅資金

(住宅金融公庫)

◎建設の場合(建物の五割以上の被害を受けた場合)の貸付条件等

〔貸付限度額〕
 ・耐火構造または簡易耐火構造の住宅 九百十万円
 ・木造等の住宅 八百万円
 ・土地取得費 五百万円
 ・整地費 二百五十万円

〔償還期間〕

・耐火構造 三十五年以内
 ・簡易耐火構造 三十年以内
 ・木造等 二十五年以内

ただし、三年以内の据置期間を設け、その期間償還期間を延長することができます。

◎補修の場合(建物の五割未満の被害で、その復旧に十万円以上の費用を要する被害を受けた場合)〔貸付限度額〕

緊急住宅復旧資金

(県信連・県共済連資金)

・耐火構造または簡易耐火構造の住宅 四百五十万円以下
 ・木造等の住宅 四百万円以下
 ・移転費、整地費、いずれも二百五十万円

〔償還期間〕十年以内、ただしこの期間内で一年以内の据置期間を設けることができます。

〔利率〕建設、補修とも年五・〇五%

くわしいことは役場土木課、住宅金融公庫業務取扱金融機関、住宅金融公庫広島支店へお問い合わせ

民生関係資金

災害援護資金

〔貸付対象〕災害を受けたため、その世帯の世帯主が一月以上の負傷をした世帯や家財、住宅に損壊のあった世帯(所得制限あり)

〔資金の内容〕生活費、日常生活用具の購入、家屋の補修など生活の立て直しに要する経費

〔貸付限度額〕六十万円から百八十万円まで

〔利率〕年三%

〔償還期間〕十年、そのうち三年は据置期間

世帯更生資金

〔貸付対象世帯〕災害を受けたため一時的に生活が困難になった世帯が自立更生するのに要する経費

〔資金の内容・貸付限度額・償還期間(据置期間)〕

- 1、災害援護資金 六十万円以内(上記町民課扱いの災害援護資金との重複借入はできません) 七年内(一年以内)
- 2、住宅資金 百二十万円以内(同右) 六年以内(六ヶ月以内)
- 3、更生資金(生業費) 八十四万円以内(特に必要と認められた場合百六十八万円以内(七年内(一年以内))
- 4、福祉資金 十五万円以内(三年以内(六ヶ月以内))

〔利率〕年三%

〔借入申込先〕美都町社会福祉協議会

民生融金

農林業関係資金

農林漁業金融

公庫資金

主務大臣指定施設

災害復旧資金

〔対象事業〕農業用施設、林業用施設の復旧

〔貸付利率〕年六・〇五%(貸付後三年間は年三%)

〔貸付限度〕事業費の八十%または一施設あたり二百万円(二百

美都町社会福祉協議会ではみなさんから頂いた寄付金を財源として短期の貸付制度民生融金を設けています。借り入れを希望される方は、民生委員または町社会福祉協議会にご相談ください。

母子・寡婦福祉資金

〔貸付対象〕母子・寡婦世帯が災害により家財の破損、住宅の損壊、土砂崩れ等被害を受けた場合

〔資金の内容〕住宅資金

〔貸付限度額〕百二十万円以内

〔利率〕年三%

〔償還期間〕据置期間経過後六年以内(据置期間二年)

〔借入申込先〕役場町民課、母子・寡婦福祉資金には、このほか事業開始資金、事業継続資金、療養資金、生活資金、修学資金などがありますので、役場町民課にご相談ください

万円で復旧困難な場合は四百万円のいづれか低い額

〔償還期間〕十五年以内(うち据置期間三年以内)
〔受付窓口〕農業協同組合、森林組合

自作農維持資金

〔貸付対象〕被害農業者
〔対象事業〕農業経営の再建費及び翌期の農業収入を得るまでの間の農家経営の維持に必要な費用
〔貸付利率〕年四・六％
〔貸付限度〕百五十万円(ただし既に借り入れている場合は貸付残高通算となります)
〔償還期間〕二十年以内(うち据置期間三年以内)

〔受付窓口〕美都町農業委員会(県知事の貸付適格認定が必要です)

土地改良資金

〔貸付対象〕被害農業者
〔対象事業〕流出、埋没した農地及び牧野を災害前の状態に戻す事業
〔貸付利率〕年四・六％
〔貸付限度〕事業費自己負担相当額

〔償還期間〕二十五年以内(うち据置期間十年以内)
〔受付窓口〕農業協同組合

林道資金

〔貸付対象〕被害林業者

〔対象事業〕林道及びこれらの付帯施設の復旧
〔貸付利率〕年四・六％
〔貸付限度〕事業費の八十％
〔償還期間〕二十年以内(うち据置期間三年以内)

〔受付窓口〕森林組合
このほかに果樹植栽資金、樹苗養成資金、造林資金があります。くわしいことは役場産業課、農業協同組合、森林組合にお問い合わせください。

農業経営資金の災害資金(県単独資金)

税関係

このたびの集中豪雨により被災された方には、本人の申請に基づき負担を軽減するため、町税、県税、国税、それぞれについて「特例措置」が講じられます。

町税関係

被災日以降に納期限の到来する町税(町民税、固定資産税)及び国民健康保険料に対して、申請により次のとおり減免を行います。

町民税

◎災害により納税義務者または扶養親族の所有する住宅、家財の受けた損害額がその住宅、家財の価格の十分の三以上で、前年の所得が四百万円以下の方に對しては

〔対象者〕総所得の五十％以上を農業所得に依存しており、被害が平年収穫量の三十％以上で、農業収入が平年の十％以上減となる見込みの農業者。
〔貸付対象〕農作物等の再生産に必要な経営資金
〔貸付利率〕年六％
〔貸付限度〕事業費の八十％以内で、六百万円まで、一件当たり百六十万円まで。
〔償還期間〕五年以内(据置期間を含む)
〔受付窓口〕農業協同組合

所得及び損害の程度により十分の十・八分の一の範囲で減免されま

す。
◎前年の所得が四百万円以下で災害により農作物の減収による損失額が平年における農作物の収入の十分の三以上で、前年の農業所得以外の所得が百六十万円以下の方に對しては、農業所得にかかる町民税の所得割の額について、所得により十分の十・十分の二の範囲で減免します。

固定資産税

災害により納税義務者の所有する農地、宅地については一筆ごとまた家屋(償却資産含む)については一棟ごとに生じた損害額が、その農地、宅地、家屋の価値の十分の二以上の方に對して、それにかかる固定資産税について損害の

中小企業関係資金

58年7月豪雨災害復旧資金(県融資)

〔貸付対象〕事業所または営業所が所在する市町村長が、り災したことを証明した中小企業者及び組合。
〔貸付限度〕設備資金二千五百万円、ただし所要資金の八十％以内
〔貸付利率〕当初三年間六・〇

程度により十分の十・十分の一の範囲で減免されます。

(注) 損害額及び損失額には、保険金または共済金等から補てんされる額を控除します。

国民健康保険料

国民健康保険料については、町民税の減免基準に準じて行います。詳細については、役場総務課、町民課にお問い合わせください。

県税関係

県では、豪雨災害被災者に対する県税特例措置として、被災された方の申請に基づき、次の県税について減免を行います。

- 1、個人の事業税
- 2、不動産取得税
- 3、自動車税
- 4、自動車取得税

くわしいことは益田総務事務所にご相談ください。
電話 益田 三二一三五〇

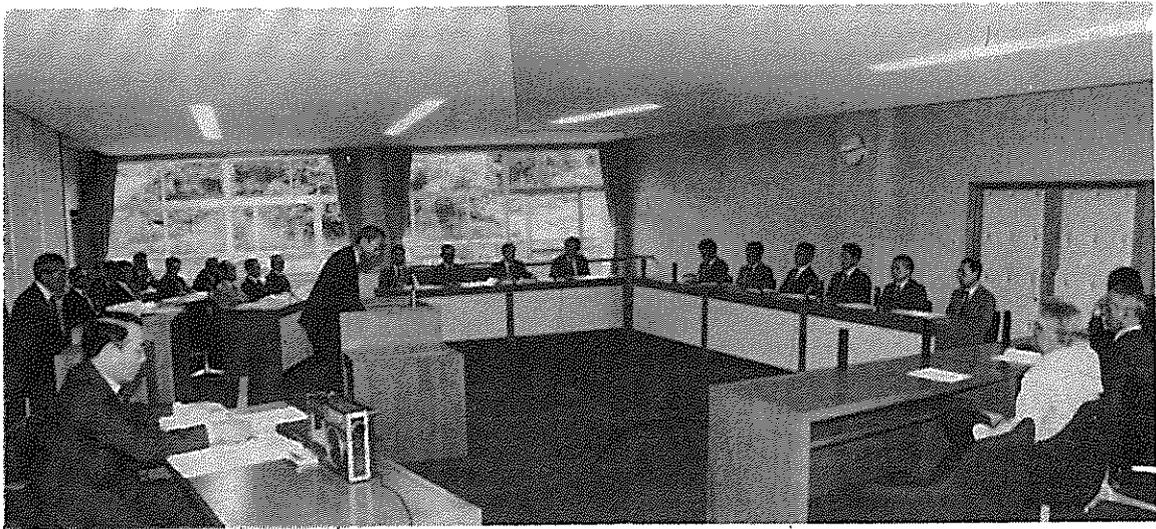
国税関係

今回の災害によって住宅や家財に大きな損害を受けた納税者は「災害減免法」によるものと、所得税法による「雑損控除」の二つの方法によって所得税が軽減または免除されます。この適用を受けるためには、来年の確定申告のとき(二月十六日～三月十五日)にこの二つの方法のうち、どちらか有利な方法を選んで申告する必要があります。
くわしいことは益田税務署におたずねください。
電話 益田 二一〇四四四

簡易水道使用料

復興への活動に期待

改選された美都町議会



初議会が開かれた町議会議場—7月11日—

任期満了にともなう美都町議会議員の選挙は、六月二十八日に告示され、定数十四人に対して現職十二、新人五、計十七人が立候補されました。わたしは、この最も身近な選挙であるだけに、関心も高く、梅雨晴れの猛暑の中で、激しい選挙戦がくりひろげられました。

投票日は七月五日で、当日の有権者数は二、七二〇人（男一、三〇二人、女一、四〇八人）で、その内二、六二四人（男一、二六〇人、女一、三六四人）の方が投票し、全体で九六・八％と前回を一％上回る高い投票率となりました。

新しい議員さんによる初議会は七月十一日に招集され、最年長の青木清市さんが臨時議長に就任、議席の決定や、正副議長、常任委員会委員等の選任が行われました。災害から復興し、元の生活を取り戻すために、町民の要求を十分にくみとり、論議をたかかわせ、できるだけ早く復旧をなすとげるため、十四人の議員さんへの期待は、大きく高まっています。

六、七、八月分の水道使用料については、次のとおり減免となります。

- 1、災害により居住する家屋が全壊もしくは流失した世帯は六月分の基本料金（六百五十円）のみ徴収します。
- 2、それ以外の世帯については

七、八月分の基本料金を五百円に減額します。なお、水道メーターが流失した世帯については、前回の使用量（四、五月分）から一ヶ月の平均使用量を算定し、その三ヶ月分とします。

建設常任委員会

- 委員 廣兼 重継 (4)
- 委員 大石 健司 (5)
- 委員 寺戸 定人 (6)
- 委員 福田 隆義 (10)

災害対策特別委員会

- 委員長 田中 純朗
- 副委員長 福田 隆義
- 委員 花本 義雄
- 委員 寺戸 和憲 (8)
- 委員 小郷 幸雄 (9)
- 委員 永本 幸義 (12)
- 監査委員 永本 幸義

益田地区広域市町村圏事務組合議会

- 三浦 弘

益田市外三町村清掃組合議会

- 青木 清市

益田市外四町環境衛生組合議会

- 青木 清市

新しい議会構成

- 投票日は七月五日で、当日の有権者数は二、七二〇人（男一、三〇二人、女一、四〇八人）で、その内二、六二四人（男一、二六〇人、女一、三六四人）の方が投票し、全体で九六・八％と前回を一％上回る高い投票率となりました。
- 新しい議員さんによる初議会は七月十一日に招集され、最年長の青木清市さんが臨時議長に就任、議席の決定や、正副議長、常任委員会委員等の選任が行われました。災害から復興し、元の生活を取り戻すために、町民の要求を十分にくみとり、論議をたかかわせ、できるだけ早く復旧をなすとげるため、十四人の議員さんへの期待は、大きく高まっています。
- | 役職 | 氏名 | 議席番号 |
|---------|-------|------|
| 議長 | 三浦 弘 | (14) |
| 副議長 | 田中 純朗 | (1) |
| 総務常任委員会 | | |
| 委員長 | 青木 清市 | (3) |
| 副委員長 | 寺戸 郁朗 | (13) |
| 委員 | 潮 寿人 | (2) |
| 委員 | 田中 純朗 | |
| 副委員長 | 福田 隆義 | |
| 委員 | 花本 義雄 | |
| 委員 | 寺戸 郁朗 | |
| 委員 | 寺戸 定人 | |
| 委員 | 小郷 幸雄 | |
| 委員 | 潮 寿人 | |

新選良の顔



花本義雄 (47歳)
農 業
丸茂 郷
(無所属・現)



田中純郎 (49歳)
農 業
仙道 下
(無所属・現)



寺戸郁朗 (53歳)
政 党 役 員
都 茂 郷
(其 節・現)



寺戸和憲 (35歳)
農 業
三 谷 中
(無所属・新)

今回の選挙で、議員に当選された14人のみなさんです。

経歴別では現議員11人、新人3人です。

平均年齢は、30歳代の新人3人が当選されたこともあり48.6歳と、前回に比べ1.4歳若返りました。

党派別では日本共産党が1人、ほかは全員無所属です。

掲載は、上段右から得票順。職業は立候補届によるものです。

氏名の敬称は省略させていただきました。



福田隆義 (55歳)
農 業
山 本 郷
(無所属・現)



寺戸定人 (43歳)
会 社 員
仙道 下
(無所属・現)



永本幸義 (56歳)
農 業
大 神 楽
(無所属・現)



三浦弘 (57歳)
農 業
都 茂 中 倉
(無所属・現)



潮 寿人 (54歳)
農 業
宇 津 川 本 郷
(無所属・現)



小郷幸雄 (50歳)
農 業
朝 倉 上
(無所属・現)



下山松夫 (55歳)
農 業
板 井 川
(無所属・現)



大石健司 (34歳)
設 計 士
久 保 坂
(無所属・新)



広兼重継 (32歳)
農 林 業
朝 日 団 地
(無所属・新)



青木清市 (60歳)
農 業
都 茂 上
(無所属・現)

田中収入役を再任



八月十八日に開催された第五回臨時町議会に、町長から任期満了にもなう収入役選任の議案が提出され、議会の同意を得て、田中晃収入役(49歳)に仙道への再任

が決まり、八月二十五日付で発令されました。田中収入役は、「七月豪雨災害を復旧しなければならぬ町として大試練の時に再任され、身の引き締る思いです。質素と勤勉を旨として、有史以来の大型復旧予算の執行に対処しなければ」と、抱負を話されています。

勉強家であり、誠実な人柄で職務に全力を尽くされる執務ぶりは、地方財政の危機と未曾有の大災害という、町政に立ちほだかる二重の重圧を、必ず乗り越えていけるものと期待されています。

提出した議案とその内容

臨時町議会

◎ 固定資産評価審査委員会委員の選任
山根元三氏(63歳)に宇津川を選任し、議会の同意を得ました。

◎ 昭和五十八年度一般会計補正予算
五十八年七月豪雨災害に対する緊急措置や災害救助法の発動に伴う経費等を、専決処分により補正していたものを今回承認したものです。

当初予算に歳入歳出それぞれ一億五千六百四十六万六千円を追

加し、総額十七億八千四十七万六千円とするものです。

◎ 国民健康保険条例の一部改正
広範囲にわたる災害やその他やむを得ない理由と認められる場合は、申請等の書類の提出や保険料の納付の期限の延長ができることになりました。



ありがとうございます
ございました

春日荘入居者へ届けられた善意
日本専売公社益田営業所

長屋久市さん (都茂)

野菜 たくさん

齊藤隆司さん (大神楽)

野菜 たくさん

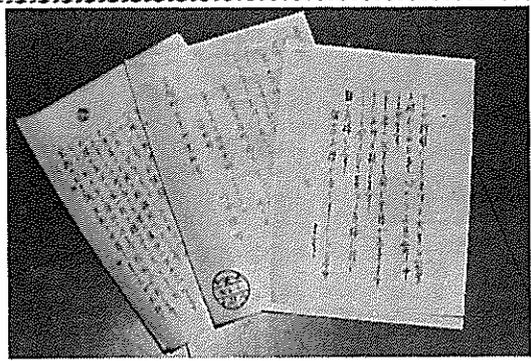
三浦登志子さん (都茂) 金一封

宇津川上老人クラブのみなさん

菓子 たくさん

匹見町月見演歌クラブのみなさん

歌の慰問 菓子 たくさん



匹見写経会のみなさん 各種徳芸

ジュース たくさん

浅野桂典さん (板井川)

カルピス たくさん

藤井幸雄さん (小野田市)

ジュース 九十本

大谷サヨさん (仙道)

金 三万五千円

桜井善さん (中倉) 野菜たたくさん

宇津川下老人クラブのみなさん

ジュース 六十本

世羅利隆さん (広島市)

上白米 六十キロ

三浦吉人さん (都茂)

ジュース 六十本

潮タヨさん (宇津川) タオル十枚

石けん 十個

若杉茂樹さん (都茂)

ビール 一打
佐々木定男さん (仙道)

ジュース 六十本

塩道東一さん (都茂)

ジュース 六十本

弥重昭司さん (丸茂)

ジュース 四打

齊藤元紹さん (都茂)

匿名希望

大賀猪佐夫さん (益田市)

ジュース たくさん

社会福祉協議会へ届けられた善意

香典返しにかえて

齊藤光代さん (大神楽)

大谷初男さん (朝日団地)

齊藤シズエさん (葛籠)

大前よしのさん (春日荘)

金一封

心から
ごめい福を
お祈りします

このたびの豪雨災害の犠牲
となられましたかたがたのご
めい福を心からお祈りいたし
ます。

(願不同、敬称略)

- 山本 山根 和子 (35)
- 山本 山根 有里 (4)
- 山本 山根 都 (1)
- 大神楽 澄川 真 (70)
- 大神楽 澄川 松代 (64)
- 小原郷 三浦 正人 (65)
- 小原郷 三浦 清子 (64)
- 三谷下 豊田 頼信 (58)



出産

- | 地区 | 子 | 親 | 逝去 |
|-----|-------|-----|----------------|
| 宇津川 | 青木 博志 | 佳寿枝 | 仙道 田原 健太 (70) |
| 山本 | 河上 和男 | 信男 | 大神楽 齊藤 栄 (51) |
| 山本 | 寺井 諒太 | 典子 | 以上六月届出 |
| 小田又 | 寺井 諒太 | 美和子 | 宇津川 河野角太郎 (91) |
| 仙道 | 織田 夏恵 | 正人 | 金谷 大谷 孝富 (73) |
| 仙道 | 齊藤 裕子 | 純子 | 山本 澄川 秀子 (69) |
| | | 美智子 | 葛籠 齊藤 忠夫 (64) |
| | | | 以上七月届出 |
| | | | 春日荘 大前 関太 (84) |
| | | | 以上八月届出 |

おわび
災害のため発行が遅れまし
たことをおわびします。



逝去



結婚

- 山根芳門さん (山料) 金一封
- 海老谷定雄さん (大神楽) 金一封
- 折山寛さん (丸茂) 金一封
- 安達将観さん (仙道) 金一封
- 大谷ハルコさん (金谷) 金一封
- 齊藤道太さん (宇津川) 金一封
- 藤原三郎さん (宇津川) 金一封
- 時光貞子さん (仙道) 金一封
- 海老谷経介さん (山料) 金一封
- 三浦龍夫さん (小原郷) 金一封
- 河野二美さん (宇津川) 金一封
- 身障者福祉協会へ届けられた善意
- 香典返しにかえて
- 齊藤ヒサヨさん (若杉) 金一封
- 西川 泰 (笹倉)
- 澄川 清美 (益田市から)
- 澄川 晋二 (大神楽)
- 中村 寿代 (萩市から)
- 山本 齊藤 英長 (則幸)
- 下都茂 小川 惇一 (悦子)
- 仙道 野地 孝史 (はるみ)
- 以上八月届出

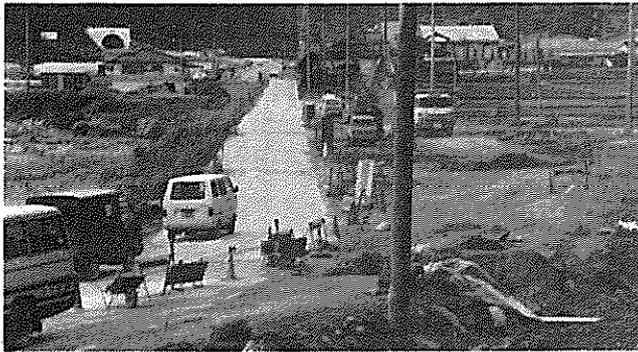
町の人口	(58.11.30 現在)		
世帯	1,142		
人口	3,599		
9月～11月中のうごき			
出生	8	死亡	15
転入	30	転出	23

編集・島根県美都町企画財政課

すすむ国道191改築工事

仙道・丸茂・宇津川地内

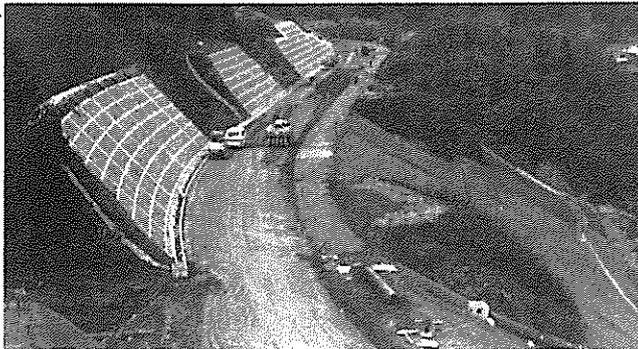
仙道新宮付近



丸茂郷の裏側



宇津川京良谷橋付近



美都町の立地条件を大きく変える事業として、町民の期待の集まる国道一九一号線改築工事が、仙道、丸茂、宇津川の三地区で本格化しています。

現在工事中の区間の延長を合計すると五千二百メートルになり、朝倉から宇津川観音滝までの建設省直轄工事区間十二・七キロメートルの四割強の区間で、工事が並行して行われていることとなります。

今年度の工事予算(国費)は、建設省浜田工事事務所の話では、三地区あわせておよそ十億円とい

うことです。

改築される道路は、車道幅員六・五メートル、二車線で益田に向かって右側に幅二・五メートルの歩道がついたものになります。

この内仙道地区の二・三キロメートルの区間は、既に舗装の行われている所もあり、最も工事が進んでおり、五十九年三月末には供用される予定です。

この区間が供用されると、既に供用されている区間四・五キロメートルと合わせ、六・八キロメートルとなり全線の五割を超える区

間が供用されることとなります。

正万寺上から町道田原線交差点までの丸茂地区千五百メートル、笹ヶ峠から町道京良谷線交差点までの宇津川地区千四百メートルについては、今年度は路体工事のみで、舗装工事等は翌年度となります。

未着手となっている残り三千メートルの区間とともに、全線の工事がいっそう促進され、陰陽連絡の大動脈として、また、私たちの生活に直結した幹線道路として、町の発展に大きく寄与する日の一日も早いことが強く望まれます。

暖かいご支援に 心よりお礼申し上げます

七月豪雨

このたびの豪雨災害に対して、県内はもとより全国各地の方々から数多くの義援金、義援物資をお送りいただきました。その総額は、十一月末現在で見舞金千六十二万八千円、義援金二千六百十五万四千円に達しています。町では、町に寄付された見舞金は災害復旧事業に使わせていただくとともに、義援金、義援物資については、社会福祉協議会を通じて被災者の皆さんにお配りいたしております。これら義援金、義援物資をお寄せいただきました方々に対し、心からお礼申し上げますとともに、町民の皆さんにお知らせいたします。

復旧に役立てて

御町は先般の未曾有の水害にまわれ、町長様をはじめ皆様方には大変な御心痛とお察し申し上げます。

実は私も御町の出身（旧姓三浦静子）で去る昭和二十九年以来伊東市にまいり、現在美容室を経営しております。

その間、御町出身者数人が従事し、現在も二人が長い間勤めていてくれます。

お蔭様で伊東では一応名の知れた店にまでなりました。これも元は御町並びに御町出身者のお蔭と感謝いたしております。

つきましてはこのたびの水害の復旧に万分の一なりともお役に立

てばと金一封を贈らせていただきました。

どうか一刻も早く復旧されますよう祈念いたします。

突然のお手紙失礼とは存じましたがお許し下さいませ。

まずはお見舞まで。

静岡県伊東市松原八一八一七 稲垣静子

頑張つて生きて下さい

このたびは、御地の皆様大きな災難にあわれ、まことにお気の毒に思います。また、亡くなったかたがたのご冥福をお祈りします。

私達老夫婦（七十五歳、七十歳）も主人は三度の招集、その留守戦災にあい、家も財産もなくになりました。

高松の主婦より

幸い、主人は戻ってきました。三人の子供も社会にそれぞれ巣立ちました。

今、主人は急な病気の身です。少しでも協力をと存じますが、厚生年金のわずかな収入では金銭のことはできません。

主人が勤めなくなり、また、病後寸法がありませんのが少しあります。

本当に失礼ですが、新しい衣類を買われるまでもう一度役立てていただければと思います。

みな洗濯してありますのでそれぞれ寸法のあう方に渡して役立てばと思います。

どうぞしっかりと頑張つて生きて下さい。

高松の主婦より

見舞金

(順不同、敬称略)

津和野町、日原町、柿木村、六日

市町、中国電力益田営業所、ロイ
ネット株式会社(大阪府箕面市)
西日本建設業保証(松江市)、
金光教(金城町)、寺戸立身(奈
良市)、小原静也(宇津川)、出
雲水機工業(出雲市)、浜田社
会保険事務所長、全国町村会長
(東京都千代田区)、島根県町村
会長(松江市)、寺戸一男(山口
県山陽町)、匹見町長出雲秀男、

海老谷章(埼玉県新座市)、山陰
合同銀行(松江市)、中外鋳業(松
江市)、勝間スポーツ少年団
(防府市)、澄川登一(徳山市)、
八幡建設測量(兵庫姫路市)、
日本配置家庭商業組合島根県支
部長(斐川町)、岡崎測量(益田
市)、岩田幸房(鳥取県)、益田競
馬振興会、自治労島根県本部
以上計 千六十二万八千円

義 援 金

日本赤十字社島根県支部、島根県
山陰中央新報社、山陰中央テレビ
ジョン放送株式会社、山陰中央新
報社会福祉事業団 千四百十三万円
NHK松江放送局、NHK厚生事
業団、島根県共同募金会 六百九十六万四千円
中国新聞社、中国新聞社会事業団 百九十九万円
大田市自治会連合会、大田市 十万円
北野芳野(小野田老人ホーム内) 五万円
石見ハムクラブ美都支部 一万円
美都町社会福祉協議会 三百万円
以上計 二千六百十五万四千円

義 援 物 資

(順不同、敬称略)

矢内勝己(東京都品川区)、千葉
玉枝(宮城県河南町)、松田知子
(熊本県植木町)、岩島幸千男
(東京都品川区)、高田吉子(大

阪市西成区)、日本テレビ二十四時間テレビチャリティ委員会、笹尾雪子(滋賀県草津市)、藤重和子(滋賀県大津市)、大阪市福島区となり組一同、愛知県春日井市長、中島喜久生(広島市南区)、浅木一郎(東京都目黒区)、柳生好子(鳥取県米子市)、渡部久美子(松江市)、西村栄一(北九州市門司区)、永田丑雄(大阪府松原市)、三浦茂人(長崎市)、五月女記四(栃木県宇都宮市)、松下とく恵(和歌山県田辺市)、梅庭あい(神奈川県川崎市)、クロダルマ津田工場(広島県世羅町)、小嶋綾子(大阪府堺市)、山本ヤスエ(大阪府柏原市)、長井セツ(千葉県市川市)、井上武治(東京都武蔵野市)、大阪府吹田市青空子供会、ボーイスカウト三鷹二団(東京都)、松原剛夫(兵庫県伊丹市)、橋沢キリエ(北九州市八幡西区)、ふれあい運動推進委員会・子供会育成連絡協議会(山口県宇部市)、茨城県真壁町商工会婦人部、権藤一栄(福岡市西区)後藤総男(愛知県東浦市)、安住たけ(鳥取県智頭町)、原口富美恵(兵庫県川西市)、中光義光(神奈川県大磯町)、長崎県千々町自治会、広島県府中市社会福祉協議会、野見山・白石・西谷・宮崎(鳥取県米子市)、稲田恵子(鳥取県境港市)、川崎キクエ(福井市)、杉谷健一(千葉県梶ケ浦町)、橋本隆蔵(兵庫県神戸市)、椿弘子(兵庫県福崎町)、和久井恵司(奈良県明日香村)、萩野貞子(東京都武蔵野市)、坂部ひさ(兵庫県宝塚市)、藤田清司(兵庫県伊丹市)、梅田シゲ子(大阪府吹田市)、佐藤あいの子(大阪府西成区)、

勇気をふるい起こして

このたびは突然の大きな災害のために、深い深い打撃をうけられました。心からお見舞いを申し上げます。

テレビ、新聞の悲しいつらい数多くの報道に胸をうずかせるばかりでした。

どんなにお困りのことだったでしょう。そして今も……。

御死者が島根県下で百名以上も。何という恐ろしい悲しい出来事でございます。

私の住む兵庫県赤松郡一宮町も数年前つらい試験にあいました。

九月十三日の午前でした。迷走台風がまいて戻ってきて激しい雨を降らせ、抜山という古来から災害にあつた山が流出。しも手の下方小学校は土砂に押し流されて崩壊しました。

さいわい死者は二名にすぎません。隣村の小学校や公民館

(東京都杉並区)、斐川町社会福祉協議会、三宅美子(大阪府吹田市)、神田知代子(大阪府豊中市)、奥田庸子(岐阜県大垣市)、今井美恵子(横浜市瀬谷区)、橋本若江(愛媛県宇和島市)、経堂駅前

郵便局(東京都世田谷区)、多島博(石川県小松市)、市川春子・高田房子(横田町)、高橋アサコ(広島県福山市)、竹村五百子(大阪府吹田市)、服部明子(名古屋市中天白区)、池田弘利(東京

が、被害にあわれた人々を受け入れて活動いたしました。私もその任にあつた一人でございます。色々のことを感慨深く思い出させて貧者の一灯を捧げねばとの気持ちこみあげました。

あの数年前より今は一層、国内に衣料品があふれるご時世になりました。しかし、つましくらしの私には申しわけありませんが、新品を買い整えて送るだけの経済力がありません。

夫は昨年の九月下旬に八十七歳の天寿を全うして、永眠いたしました。が、晩年まで心身共に健康に恵まれ、病褥につき看護いたしましたのはわずかに十三日間だけでした。

この元気にあやかっていただけけたらと存じまして、まだ役立ちそうな衣料品を洗濯して整理し、しまっております。

新品でなくてはもとに相すみませんが、夏は殊に数多い着替えの

郡大田区)、平井淑子(大阪府東大阪市)、寺川瑞恵(大阪府吹田市)、長野節子(神奈川県座間市)、黒川千代(神戸市中央区)、京都府亀岡市篠郵便局職員一同、神戸市中央区山本通郵便局長、高木芳

江(大阪府四條畷市)、紙谷ミサ栄(山口県岩国市)、中野節子(東京都杉並区)、大阪府枚方市光善寺保育園、篠川郡佐田町、岩倉研修センター(広島県佐伯町)津和野町、西本文雄(広島市南区)

必要な時期ですので、役立ちますことを願ってお送り申し上げます。どうぞ私の気持ちをお汲み下されまして、ご着用いただけましたらどんなに喜ぶことございませう。

心を強くお持ち下さいまして再起に頑張ってくださいませよう、兵庫県の播磨川姫路城のあるところの奥の山里から切にお祈り申し上げます。

けさのNHKニュースでも未だに飲料の水にご不自由され、電灯も復旧に至らぬ所があり、鉄道も寸断されたまま、未だ大困りの地もおありとのこと、その御不自由さを察して胸がしめつけられるように痛みました。まことにお願いいたします。

どうかお祈りください。勇気をふるい起こして下さいませ。

兵庫赤松郡一宮町三方 太田たき子拝

天界酒造株式会社(安来市)、六日市町社会福祉協議会、香川県観音寺市社会福祉協議会、中川実(茨城県水戸市)、高田権四郎(兵庫県尼崎市)、大阪赤十字病院修和寮(大阪府天王寺区)、白

崎俊子(千葉県四街道市)、滋賀県栗東町日の出婦人会、安来市社会福祉協議会、村上和子(大阪府大東市)、進藤ひろみ(兵庫県相生市)、西尾敏雄(兵庫県伊丹市)若林貴子(滋賀県草津市)、天ヶ瀬葉子(兵庫県枚方市)、乗川千寿江(大阪府住吉区)、名畑定次(三重県関町)、西広弘子(兵庫県尼崎市)、梅田繁雄(福岡県岡垣町)、木村昌夫(京都市南区)渡辺逸郎(兵庫県芦屋市)、美勢功(大阪府羽曳野市)、名古屋市天白区民、浦田満子(大阪府岸和田市)、二木佳子(東京都中野区)前田秀(福井県丸岡町)、井上三委子(大阪府高石市)、角谷善作(大阪府河内長野市)、平沢義子(京都市左京区)、梶谷久光(大原郡加茂町)、大野孝子(香川県坂出市)、黒田泰広(高知県土佐清水市)、藤本みえ子(熊本県大津町)、佐々間忠夫(北海道室蘭市)、越智タツ子(福岡県稲葉町)河野直己(大分市)、岡野豊子(大府府八尾市)、橋柴重孝(北九州市小倉北区)、横山正夫(山口県光市)、服部美津子(新潟県中里村)、村井信夫(京都市北区)松本功(兵庫県明石市)、日本農産物詰組合(東京都中央区)、佐藤勇(神戸市灘区)、胡桃沢加代子(長野県松本市)、金山民子(神戸市中央区)、戸沢邦子(東京都大田区)、堀江フジエ(兵庫県宝塚市)、河辺栄子(東京都目

黒区)、戸田勝也(大阪府池田市)、
米子市住吉体育館少年剣道同好
会、岩佐慶征(千葉県船橋市)、
麻生川マサ子(大阪府貝塚市)、
池田益代(大阪府都島区)、吉野
栄子(愛媛県松山市)、高木陽子
(埼玉県岩槻市)、岡幸夫(群馬
県水上町)、井上満夫(大阪府堺
市)、佐久間琴(福島県須賀川市)
坂上志津子(京都市伏見区)、桂
川武(京都府城陽市)、青木美恵
子(大阪府大正区)、日裏智恵子
(大阪府松原町)、前田隆治(三
重県関町)、コナカイサム(大阪
府能勢町)、小野豊子(大阪府箕
面市)、中野律子(埼玉県人間市)
泥谷脩二(和歌山市)、阿部竹一
(大阪府都島区)、吉松卯博(福
岡県瀬高町)、太田たき子(兵庫
県一宮町)、村上広道(東京都墨
田区)、棚橋みつ子(名古屋市千
種区)、木畑春江(大阪府堺市)、
村上徳三郎(東京都世田谷区)、
三興会青年部(邑智町)、原田清
一(東京都大田区)、甲斐保子
(愛知県大府町)、古川正子(千
葉県流山市)、有川清夫(大阪府
吹田市)、杉原静栄(斐川町)、
森務(横浜市磯子区)、石川久美
(神奈川県)、浅野和男(東京都
小平市)、上田田鶴子(鳥取県大
栄町)、村野貞男(大阪府旭区)、
佐藤良子(大阪府都島区)、広島
シヨウワ株式会社(広島市中区)、
広島県大竹聖書教会、池端幸子
(札幌市西区)、斎藤律子(千葉

市)、大分煙草販売組合、吉沢照
恵(埼玉県羽生市)、公家通孝
(東京都世田谷区)、青柳高(秋
田県能代市)、藤ノ木校下福寿会
連合会(富山市)、岡村政保(北
海道遠軽町)、菅沼浅子(埼玉県
海部郡川口市)、新小岩児童館(東京都
葛飾区)、兵庫県加古川市商店街
連合会、秋山尚之(東京都目黒区)

「厚情に感謝

拝復 七月豪雨による被災に際
して何かと御配慮に賜わり厚く御
礼申し上げます。
さて、昨日は全国各地からの見
舞金をわざわざお届け頂き、あり
がたく頂戴いたしました。改めて
皆様方の御厚情に感謝いたしま
す。このことは子や孫にも伝えに参
ります。
まだ落ち着きませんが、もう少
しでなんとか目鼻がつくと思いま
す。御休心下さい。
右御礼申し上げます。
敬具
美都町仙道
寺井正運

良泉桜井市)、松永玲子(京都市
左京区)、中山節子(山口県)、
高知県宿毛市福祉事務所、樋上平
太郎(大阪府門真市)、川野澄子
(東京都)、山口寿美江(大阪府
堺市)、竹村欣也(奈良県)、加
藤恭子(東京都)、山本キヨ(兵
庫県尼崎市)、植山良子(東京都、
渡辺和子(岡山市)、上田マサ
(大阪府)、信谷裕子(大阪府)、
前川三千(大阪府堺市)、吉川丈
秀(千葉県鎌ヶ谷市)、三浦睦江
(奈良県)、当重あかね(杉並区)
波多野春子(東京都豊島区)、足
立信二(横田町)、村岡幸介(北
九州市九幡東区)、香川県社会福
祉協議会、羽村克己(岩国市)、
菊池敬子(大阪府)、日赤八幡地
区長(北九州市八幡西区)、坂本
光枝(神奈川県相模原市)、川村
キミ子(東京都)、生長の家百合
ヶ丘支部(川崎市麻生区)、上田
美人(大分県玖珠町)、工藤常夫
(札幌市豊平区)、棚山健樹(神
戸市)、滋賀県高島町社会福祉協
議会、千葉陽子(京都市)、岡義
人(鳥取県倉吉市)、杉山葵(大
阪府枚方市)、今川良隆(広島県
福山市)、植山勝正(東京都)、
藤井保博(大阪府守口市)、久保
田一美(大阪府豊中市)、山村春
美(大阪府和泉市)、大槻基美代
(東大阪府)、墨河内たつ子(福
島県郡山市)、西中間彰子(奈良
県)、染谷幸延(千葉県船橋市)、
高佐和子(千葉県松戸市)、北川

羽村知恵(岩国市)、山内真弓(福岡県古賀町)、岩田近三郎(京都市東山区)、大野さだこ(松江市)、島田幸子(千葉県習志野市)、御津保育所(八東郡鹿島町)、小野崎榮子(川崎市多摩区)、松村光恵(大阪府泉南市)、難波知恵美(茨城県)、野口郭子(大阪府羽曳野市)、大阪府吹田市婦人会、山本恭子(沖繩県石垣市)、山田勇(大分県真玉町)、当重益郎(新潟県十日町市)、益田勤(岡山市)、大坪静雄(尼崎市)、長田貞男(北九州市八幡西区)、主婦の会(広島県尾道市)、藤沢診療所(千葉県習志野市)、池田郁子(神戸市須磨区)、河原敬一郎(奈良県大和高田市)、本間章子(千葉県船橋市)、日赤鳥取県支部、水本三枝子(尼崎市)、岡野洋子(山口県下松市)、久下和彦(京都市下京区)、町内会一同(京都府向日市)、真島スミヨ(大阪府住吉区)、片桐きりの(大阪市)、阿澄ヒロ(神戸市東灘区)、植村真雄(大阪府生野区)、日本赤十字社一宮市地区(愛知県豊山下美代子(神戸市)、宮内政一(尼崎市)、橋本キクエ(川崎市麻生区)、青木克子(滋賀県大津市)、仲栄商事(岡山市)、井戸本ミスエ(奈良県御所市)、奥本八重子(奈良県御所市)、竹内宏光(奈良市)、松江一中J.R.C、佐藤洋子(岡山市)、細川登美子(神戸市東灘区)、高橋一起(奈良市)、石川ふとん店(松江市)、池田美保子(松江市)、松浦豊(平田市)、邑智町三願会青年部、広島市戸坂くるめ木市民、神村いづみ(長野県松本市)、村上広道(東京都杉並区)、長野功(長野県諏訪市)、前川照子(埼玉県川口市)、百澄雄(大阪府西区)、秋山毅(兵庫県高砂市)、氏田映子(尼崎市)、丸井栄(千葉市)、進藤ひろみ(兵庫県相生市)、望月和雄(神奈川県横須賀市)、分藤隆司(大分市)、徳光教(兵庫県西宮市)、東恵子(川崎市多摩区)、直井睦子(神戸市須磨区)、高木秀子(西宮市)、平久仁子(大阪府堺市)、伊藤博(石川県金沢市)、並木トメ(横浜市旭区)、丹下知彦(川崎市麻生区)、松波富美(大阪府豊中市)、岩瀬ヨシ(愛知県岡崎市)、中村熊次郎(京都市伏見区)、金箱ヨシイ(埼玉県与野市)、三浦武(埼玉県所沢市)、清山静・ちえ子(安来市)、中越裕充(西宮市)、金沢美樹彦(札幌市豊平区)、小川喜三(京都市都島区)、玉田建蔵(岐阜県高山市)、佐原義一(大阪府住之江区)、若林貴子(滋賀県草津市)、田畑栄次郎(京都市東山区)、今井清二(新潟県柏崎)、橋本隆一(川崎市)、倉本聖子(徳島県日和佐町)、葉山勝治(長崎県琴海町)、高杉貞夫(栃木県足利市)、横川善吉(高知県越知町)、清泉女学院福祉委

員会(神奈川県鎌倉市)、須藤京(青森市)、魚田繁子(大阪市西淀川区)、松永君子(横浜市戸塚区)、小原玲子(和歌山市)、前田秀(福井県丸岡町)、青木美恵子(大阪府大正区)、浦地武夫(松江市)、須藤京(神奈川県鎌倉市)、須藤京(青森市)、魚田繁子(大阪市西淀川区)、松永君子(横浜市戸塚区)、小原玲子(和歌山市)、前田秀(福井県丸岡町)、青木美恵子(大阪府大正区)、浦地武夫(松江市)、須藤京(神奈川県鎌倉市)、須藤京(青森市)、魚田繁子(大阪市西淀川区)、松永君子(横浜市戸塚区)、小原玲子(和歌山市)、前田秀(福井県丸岡町)、青木美恵子(大阪府大正区)、浦地武夫(松江市)

懐かしい都茂の生活

朝夕めっきり寒くなって参りました。町長様をはじめ皆様御健で御活躍のこと存じお喜び申し上げます。私もお蔭様で元気に送日いたしております。本日は災害見舞金を頂戴いたしました。まして誠にありがとうございます。

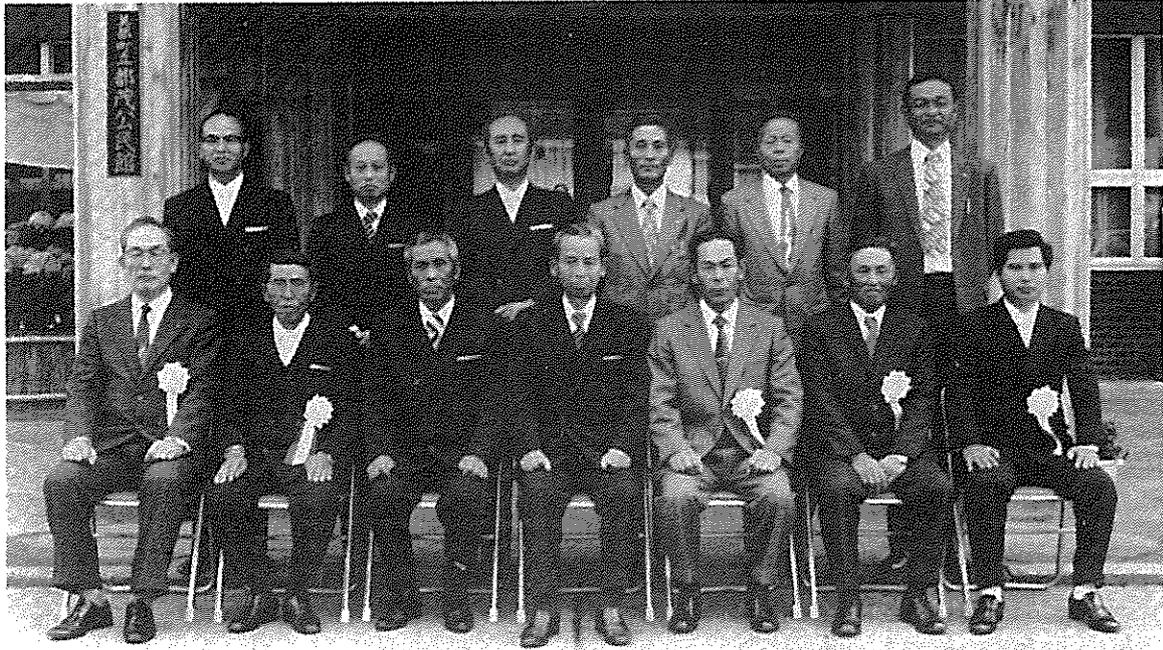
壊れた家を捨てて出て来ましたが、都茂の生活が懐かしくなりました。長い間本当にお世話様になりました。ありがたく重ねてお礼申し上げます。皆様の御健康と美都町の発展を心よりお祈り申し上げます。お礼の言葉といたします。本当にありがとうございます。

益田市元町六一一五
山根晃内 山根フジ

ンティア会津和野支部、山口県経済連(小郡町)、太田恵一(出雲田市)、藤田義隆(門司区)、島内スミ(佐賀市)、北川裕敏(下関市)、井上正(下関市)、亀山稔(奈良県橿原市)、渡辺市野(神奈川県大東町)、分藤隆司(大分市)、宮崎・山岡・渡辺・小山・白石・野見山(米子市)、日本共産党、金沢ヨシイ(埼玉県与野市)、駒居春子(奈良市)、山下政子(大阪府寝屋川市)、米田貢(下関市)、小田弘子(米子市)、雨宮義英(横浜市戸塚区)、満水モリ(大阪府交野市)、寺本仁(兵庫県宝塚市)、大谷建設株式会社(兵庫県高砂市)、へんこつ屋(浜田市)、島根県連合青年団(松江市)、山田良夫(都茂)、寺尾清(都茂)、沢江守男(都茂)、加治常実(宇津川)、朝日団地自治会(都茂)、大谷英幸(都茂)、横谷彦一(東京都練馬区)、佐々田英一郎(益田市)、島根県労働組合評議会(松江市)、自治労島根県本部(松江市)、津和野町、久保田鉄工株式会社(広島市中区)、日原営林署、米田工務店(山本)、匹見町議会、日本電池販売株式会社(広島市安佐南区)、岩田道雄(津和野町)、農林改良青年会議(都茂)、島根県市町村職員共済組合(松江市)、大成道路(益田市)、日本電気中国支社長(広島市中区)、共和通信工業(松江市)、篠原正博(益田市)、桜井蕃(三谷)、シンエキ商店(益田市)、自民党島根県支部連合会(松江市)、ワールド航空(松江市)、ハゼヤマエアコン(浜田市)、松江市連合青年団、文華堂(益田市)、キャンオン販売(広島市中区)、山口コピエ販売営業所(山口市)、川崎製鉄広島営業所(日本専売公社中国支社(広島市中区)、篠川郡佐田町、大賀建設(益田市)、双葉工業(益田市)、島根県測量設計業協会(松江市)、出雲グリーン(出雲市)、アイサワ工業(岡山市)、柏村印刷(益田市)、浜田統制無線中継所長、弥重武世(久原)、電気興業中国支店(福岡市中央区)、島根県連合青年団(松江市)、自治労島根県本部(松江市)、日本生命松江支社、益田タイプ、ホーチキ株式会社松江営業所、復興調査計(松江市)、社会福祉法人わかば会邑智園(邑智町)、鳳産業(日原事業所、島田宣浩(出雲市)、オリエンタル測量(益田市)、ぎょうせい中国支社(広島市中区)、昌和道路(日原町)、坂根強(広島市)、木村建設(大田市)、第一法規出版(東京都港区)、株式会社借行社(広島市)、寺戸百合子(大阪府堺市)、第一生命松江支社、湖南病院(安芸道町)、新日本法規出版広島支社、西井製作所(広島市)、このほかに二十九名の匿名の方がいました。

功績をたたえ表彰

美都町功勞者顕彰



<表彰を受けられた方々>

後列左から……教育長、収入役、助役、議会副議長、総務委員長、建設委員長
 前列左から……中外鋳業藤井さん、大谷さん、議長、町長、稲垣さん代理三浦さん、
 山本さん、自治労島根県本部山根さん

町は、十一月三日「文化の日」に、町政功勞者の表彰をおこないました。今回表彰を受けたのは、大谷為友さん、稲垣静子さん、山本郁郎さん、中外鋳業株式会社、自治労島根県本部の方々です。いずれも「美都町表彰条例」に基づくもので、町の表彰審議会に諮って、その功勞を顕彰いたしました。豪雨災害のため文化祭の中止という中で、関係者のみで取り行われた今回の武典の表彰者のみなさんは、いずれも大災害に対する見舞と復旧への願いを込めて、町に多額の浄財を寄付された方々で、その合計額は七百五十万円にのほりました。町民のみなさんへお知らせするとともに、ご厚情にお応えし、復旧への決意を新たにしたいと思います。

公益福祉功勞

おたためとも
大谷為友さん (50)
 〓兵庫県高砂市〓

大谷さんは、山本のご出身で、昭和三十七年以来高砂市にあって大谷建設株式会社を設立、土木業建設業を手広く営んでおられます。大谷さんは、豪雨災害による故郷の惨状に対して、その窮状を救わんといち早くたくさんの義援物資を送られるとともに、災害見舞として多額の浄財を寄付されました。

いながきしずこ
稲垣静子さん (49)
 〓静岡県伊東市〓

稲垣さんは、仙道のご出身(旧姓三浦)で、昭和二十九年以来伊東市にあって、現在「ジュン美容室」を経営、その間当町出身者数名を受け入れ、伊東市においても

名の知られた立派な店として切り盛りされています。

七月の豪雨災害による古里の荒廃に心を痛められ、復旧資金にと多額の浄財をお寄せ下さいました。

やまもといくろう
山本郁郎さん (50)
 〓兵庫県西宮市〓

山本さんは、葛籠のご出身で、西宮市に在住しておられます。昭和五十五年六月十九日に起きた実家の全壊という災難に際して町民のみなさんから寄せられた火災見舞や励ましに対して、お礼と深い感謝の意を込めて、災害復旧に多額の浄財を寄付されました。

ちゅうがいしゅうかおしがいしや
中外鋳業株式会社
 〓東京都下代田区〓

じちろうししまわけんほんぶ
自治労島根県本部
 〓松江市〓

16年間ご苦勞さまでした

吉永教育長退任

吉永利市教育長（60歳）は、九月三十日付で退任になりました。

美都中学校統合校舎及び、屋内運動場の建設、町内四校の学校給食共同調理場の建設、都茂小学校の校舎改築、屋内運動場、水泳プールの建設、東仙道小学校の校舎改築、校庭の拡張工事、二川小学校運動場の新設、さらに危険校舎となつてゐる二川小学校の改築工事の着手と、町内小中学校の校舎、屋内運動場、校庭、水泳プール等教育施設の整備充実に次々と取り組まれ、美都町を近隣町村でも有数の教育施設の整つた町にされました。

また、社会教育を重視され、旧村単位に公民館を建設し、常勤公民館主事を配置し、社会教育団体の育成強化を図るとともに、精神文化の高揚をはかるため各種教室を開設し、生きる喜びと、お互いに支え合い尊重しあう和の精神の醸成をはかられました。

退任にあつて、吉永さんは、「美都町振興計画に含まれてゐた学校整備統合事業が、在任期間中の様々なできごとの中で、最も印象に残つてゐる。地域の了承を得るまでの連夜の交渉、意見調整は極めて困難で、反対強行論者の説得には、辞表を懐にしてあつた。又、遠距離通学の解消をはかるため美都中寄宿舎を建設した際、水を採つて七メートルあまり掘つた所で大量の水につきあつたが、残念ながら飲用に適さず、ぬか喜びに終つたこともなつかしく思い出される。去るにあつた長年にわたつて支援をお寄せいただいた町民のみなさんと、教育委員会に配置された職員のみなさんに深く感謝してゐる。今後は一町民として町の発展を見守りたい」と話しておられました。



吉永さんは、本年七月には、長年地方教育行政の発展に尽くした功績に対して文部大臣表彰を受けられています。

退任された吉永さんの今後のご健康とご多幸をお祈りします。

新教育長に 河野さんを選任

新しい教育長に、河野二美さん（51歳）が宇津川が決まり、十月一日付で就任されました。

若杉町長は、九月の臨時町議会に河野さんを教育委員会委員に選任する議案を提出。議会の同意を得たのを受けて、教育委員会が開かれ、教育長に選任されたものであります。

河野さんは、昭和二十三年に二川村役場に入られ、老人ホーム所長、町民、総務の各課長などの要職を歴任され、三十五年間にわたる町づくりに努めてこられました。年々高度化する教育行政に対し、河野さんの豊富な行政経験に大きな期待が寄せられています。

浅学非才の私には身に余る大任でありますが、前教育長の救かれた路線をひき続き踏襲し、与えられた職務を誠実に果たすべく一生懸命努力したいと思ひます。

私は、昭和二十三年役場に奉職以来三十五年有余の間、一般行政事務に従事して参りました。

教育行政事務に関しましては始めての経験でありませんが、この職務の重大さを充分自覚し、今後より一層の勉強を積み重ね、精いっぱい教育行政に取り組んでいく覚悟であります。

みなさんの格別なるご指導とご協力をお願いいたします。



河野二美さん

就任のあいさつ

教育長の職務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第十七条に「教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどる」とあります。

この度、吉永前教育長のご退職に伴い、重責を命ぜられました。

人事往来

次のとおり発令がありました。

- 十月一日付
- 総務課長 屋敷靖征
 - (前町民課長) 児高房夫
 - 町民課長 二川へき地保育所長兼任
 - (前産業課長) 沢江久介
 - 産業課長 (前振興課長)
 - (前振興課長) 山崎善行
 - 振興課長 (前・振興課長補佐)

肉用牛管理共進会開催



個体審査を受ける出品牛(宇津川にて)

七月豪雨による畜産関係の被害は、死亡牛七頭をはじめ、畜舎の倒壊など大きなものがありました。その痛手をはね返すべく、十月二日、美都町宇津川、大橋政信さん宅横の広場において、昭和五十八年度肉用牛管理共進会が開催されました。

対象となる牛は、町有貸付牛、保留牛の十二頭で、当日は十頭が出場し、審査にのぞきました。審査は、板垣規義西部畜産事業所長を審査長として六人の審査員により、日ごろの飼養健康管理が十分に、しかも適正におこなわれているかどうかを基準

におこなわれました。審査の講評としては、肉質の向上と増体という島根県の改良目標に対して、全体に体の幅が不足しているという指摘がありました。審査の結果、最優秀賞は、西田正さん(60) 三谷に決まり受賞されました。

君よ未来を語れ

島根県青年問題研究集会



都茂小体育館での集会のようす

君よ未来を語れ」のテーマのもとに島根県青年問題研究会が、十二月三日、四日の二日間、わたって都茂小学校体育館を主会場として開催されました。これは、島根県連合青年団が昭和三十三年から毎年、県下各地で開催しているもので、今年で二十六回目に なります。

当日は、横田町三成輝夫氏の、地域における青年団の役割」と題した記念講演のあと、八十名の参加者が三会場に分散し、班毎に夜遅くまで熱心な討議が行われ、翌四日、全体集会以友情と連帯を確認しながら再会を約して散会しました。

七月の豪雨災害により町での開催が危ぶまれましたが、町内外の青年団員のみなさんの努力と協力により、当初の予定どおり開催されたものです。

美都町で県連合青年団の行事が開催されるのは、五十一年の青年大会文化部門、五十五年の民泊交流集会に次いで三度目のことです。

二川小学校

夜間照明施設が完成



完成した二川小学校運動場夜間照明施設

二川小学校運動場に夜間照明施設が完成しました。学校施設の開放によるスポーツ振興、町民の体力増強には、夜間照明施設の設置が不可欠なところから、今春新設された運動場に、この程設置されたものです。

施設の概要

は、六基のコンクリート照明柱の高さ十四・四基のところに各六台全部で三十六台の七百ワットメタルハライドランプが設置され、運動場面積六千四百二十五平方メートルの七十％強に当たる四千六百五十一平方メートルを、平均照度百十ルクスで照らすことができます。

事業経費は、九百八十九万円で、内訳は、国庫補助金三百五十九万四千四百七十七万円、残り二百四十四万一千四百円です。

今後の地域の社会体育の場として、スポーツにレクリエーションに大きな役割を果たすことでしょう。

町 議 会

提出した議案と、その内容

9月・10月の町議会へ次の議案を提出、可決になりました。

◎教育委員会委員の選任

河野二美氏(51歳)＝宇津川＝を選任し、議会の同意を得ました。

◎昭和58年度一般会計補正予算

すでに定まっている額に、歳入歳出それぞれ23億1,552万6千円を追加し、総額40億9,593万2千円にするものです。

災害復旧費及び災害関連事業費を中心に、町財政史上異例の子算規模となりました。

主な補正は次のとおりです。

〔歳入〕

地方交付税	8,545万円
公共土木施設災害復旧費国庫負担金	8億1,658万円
農林水産業施設災害復旧費県補助金	9億3,145万円
財政調整基金繰入金	3,200万円
災害復旧債	4億7,870万円

〔歳出〕

災害援護資金	7,000万円
第三期山振対策費	△3,548万円
定住促進対策費	△2,684万円
林地崩壊防止事業費	3,102万円
道路新設改良費	△1億4,537万円
住宅建設費	9,745万円
簡易水道施設災害復旧費	2,644万円
農地災害復旧費	3億1,770万円
農業用施設災害復旧費	6億3,570万円
林業施設災害復旧費	8,350万円
河川等災害復旧費	12億3,713万円
学校施設災害復旧費	2,021万円

◎昭和58年度国民健康保険特別会計補正予算

〔事業勘定〕

すでに定まっている額に、歳入歳出それぞれ100万8千円を追加し、総額1億7,937万4千円にするものです。

◎昭和58年度老人保健特別会計補正予算

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ295万円を追加し、総額1億5,955万8千円にするものです。

◎昭和58年7月豪雨災害の被災者に対する町民税等の減免に関する条例の制定

被災日以降に納期限の到来する町民税、固定資産税に対して納税義務者の申請により減免をするものです。

◎昭和58年7月豪雨災害の被災者に対する国民健康保険料の減免に関する条例

国民健康保険料の減免を町民税等の減免に準じて行うものです。

◎二川小学校屋外運動場照明施設管理条例の制定

運動場使用については二川小学校で許可を受けること、及び使用料等について定めたものです。

〔町民が利用する場合〕

1時間まで	600円
1時間を超え30分ごとに	300円

〔町外者が利用する場合〕

1時間まで	1,200円
1時間を超え30分ごとに	600円

◎林地崩壊防止事業並びに林地小規模崩壊対策事業費分担金徴収条例の制定

当該事業費の一割以内の範囲で受益者から分担金を徴収するものです。

◎昭和58年度簡易水道特別会計補正予算

すでに定まっている額に、歳入歳出それぞれ736万6千円を追加し、総額1億3,541万8千円とするものです。

補正の主なものは、都茂地区簡水拡張工事費の追加と人件費の調整です。

◎職員定数条例の一部改正

災害復旧業務の円滑な遂行を図るため、昭和62年3月末までに限って町長事務部局職員定数を5人増員し、47人とするものです。

◎島根県市町村退職手当組合加入団体の増減及び規約の一部改正

退職手当組合への加入、脱退及びそれにとまう規約の改正です。

◎工事請負契約の締結

都茂地区簡易水道拡張工事契約を請負金額9,080万円で大河建設株式会社と結ぶものです。

◎工事請負変更契約の締結

二川小学校改築工事の請負額を400万円増額し1億4,400万円にする契約を、宮田建設工業株式会社益田支店と結ぶものです。

◎工事請負変更契約の締結

町道丸茂三隅線道路改良工事の請負額を130万3千円増額し、3,880万3千円にする契約を、有限会社上田工務店と結ぶものです。



ありがとうございます
ございました

春日荘入居者へ届けられた善意
三浦吉人さん(都茂) 梨 一箱
アオキ美容院(益田市) 理容奉仕
日本専売公社益田営業所
たばこ 百二十五個

大智寺(丸茂) 洗剤 一箱
塩道東一さん(都茂) 金一封
亀山栄さん(境港市) 金一封
梅田薫さん(弥栄村) 金一封
増本寛市さん(都茂) 金一封
仁浦君代さん(益田市) 金一封
篠原良夫さん(都茂) 金一封
春日荘職員OB会 金一封
フラワー湖月(益田市) 菊 六鉢
澄川ますみさん(大阪府) 金一封
福田隆義さん(山本) さといも たくさん
鈴木宏子さん(名古屋屋市) 菓子 たくさん
洗剤 四箱 うどん 三箱
永田又雄さん(都茂) 甘柿 たくさん

障害者の日

十二月九日は、一九七五年に国際連合で「障害者の権利宣言」が採択された日です。
「障害者の権利宣言」は、障害者の基本的人権と障害者問題を示したものです。
国連は、設立当初から障害者問

題に関心を持ち、さまざまな決議や宣言を行っていました。

その集大成が「障害者の権利宣言」です。

この日を機会に、わたしたち一人ひとりが障害者問題を改めて考え直し、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社会をつくっていききたいものです。

山根フジさん(久原) 金一封
宮川要助さん(三谷) 金一封
野上四郎さん(東京都) 金三万円
身障者福祉協会へ届けられた善意
見舞返しにかえて
市金勉さん(都茂上) 金一封
東仙道公民館へ
豊田富士紀さん(松江市) 金五万円

出産



地区 子 親

仙道 宮川 博行 (康雅 加寿美)
朝倉 中島 愛 (哲治 清子)
山本 大河 永 (広則 末子)
丸茂下 千振 舞子 (和弘 弘子)
朝日団地 大木里美 (進 妙子)
山本 土佐 香織 (玲子 学)

木川 春美 (宇津川)
大井 順子 (北九州市から)
李原 邦政 (山本)
金海 明子 (仁多町から)
佐々木恵二 (朝倉)
中島美也子 (益田市から)
沢田 直弘 (丸茂西郷)
佐野 悦子 (丸茂西郷から)
柳井 良子 (山本から)

逝去



(逝去月日)

春日荘 城市ハツコ 9・13(78)
朝倉 佐々木英雄 9・14(62)
丸茂下 右田 慶市 9・17(81)
金谷 大江 亀市 9・20(84)
春日荘 仲山重太郎 9・23(83)
春日荘 亀山 静代 9・25(60)
宇津川中 長尾 勉 9・29(52)
春日荘 寺戸 ユキ 10・6(78)
春日荘 野上 トメ 10・10(83)
板井川 齊藤シズマ 10・18(82)
屋敷平 今井キミヨ 11・4(82)
板井川 土佐源三郎 11・9(90)
仙道 永岡 マチ 11・17(85)
三谷下 宮川 房市 11・18(72)
春日荘 佐藤 トメ 11・28(93)

結婚



都茂上 坂田 利彦 (美保 志)
以上十一月届出

句会

「どんぐり」

小春日へ力みて出でし哀れかな 正人

つづれさせ老いたる後も母恋ふか 百日紅

冬立ちぬ一番バスの通る首 わさ子

糸通す妻たち上がる冬灯 盛

苗木買ひすこしうれしく手紙書く 幸子

境内の裏一面に木の突降る ひでお

更け行くや荒田の上の天の川 関治

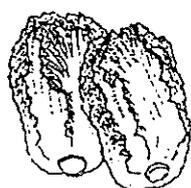
水害を免がれし庭松手入れ 二葉

看板のうどん太文字りんご園 てる子

山芋の蔓をたどりて無欲なり 幸枝

売出しの街よこぎりて秋遍路 芳江

沈黙の双眼鏡あり鴨来る 博之

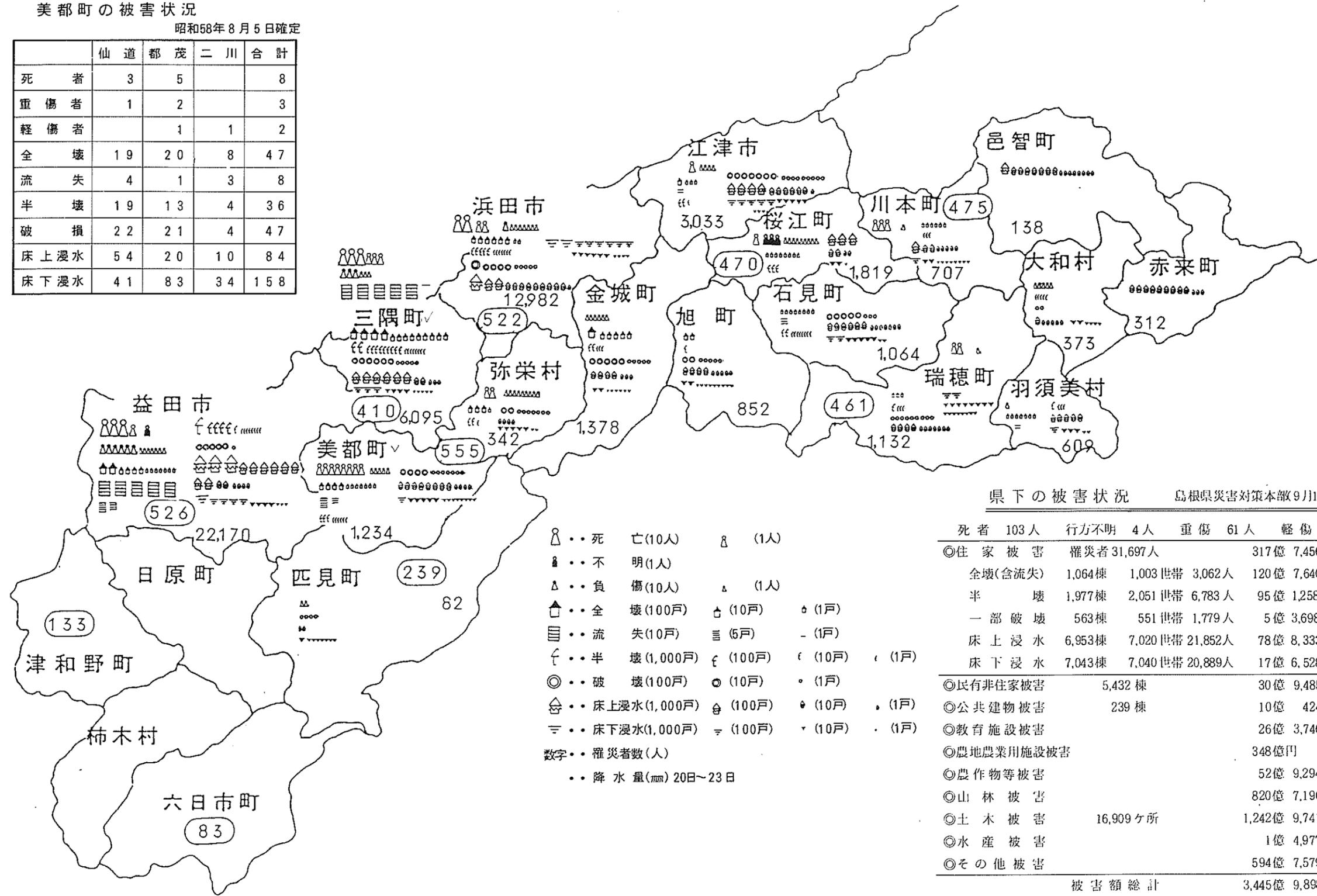


大被害をだした集中豪雨

美都町の被害状況

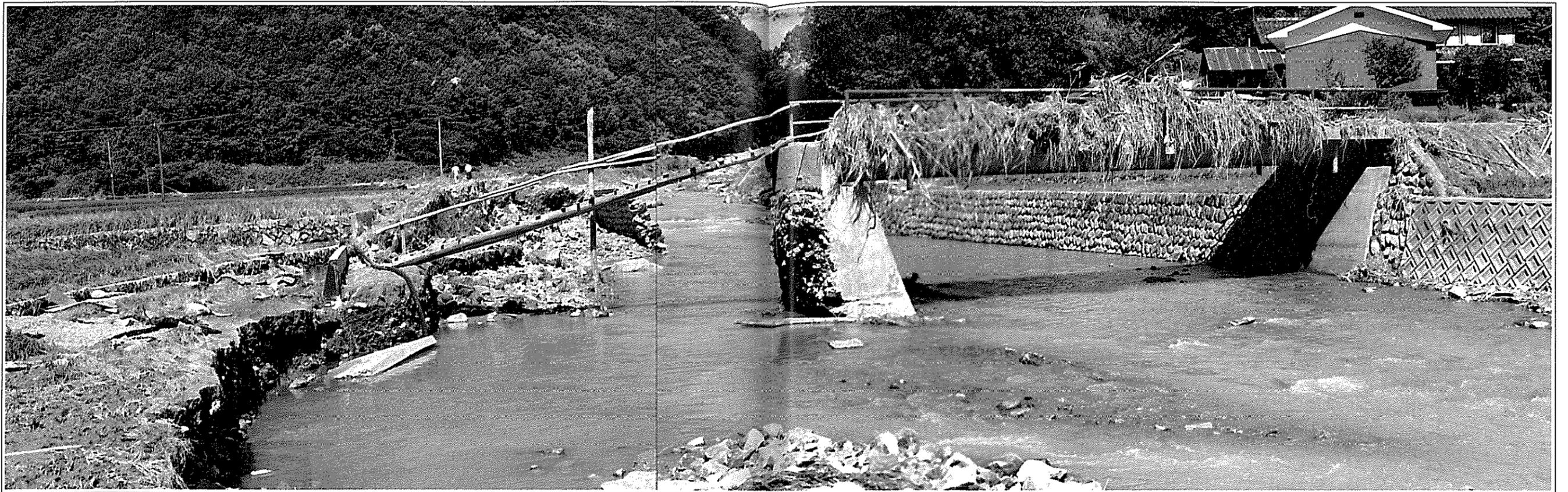
昭和58年8月5日確定

	仙道	都茂	二川	合計
死者	3	5		8
重傷者	1	2		3
軽傷者		1	1	2
全壊	19	20	8	47
流失	4	1	3	8
半壊	19	13	4	36
破損	22	21	4	47
床上浸水	54	20	10	84
床下浸水	41	83	34	158

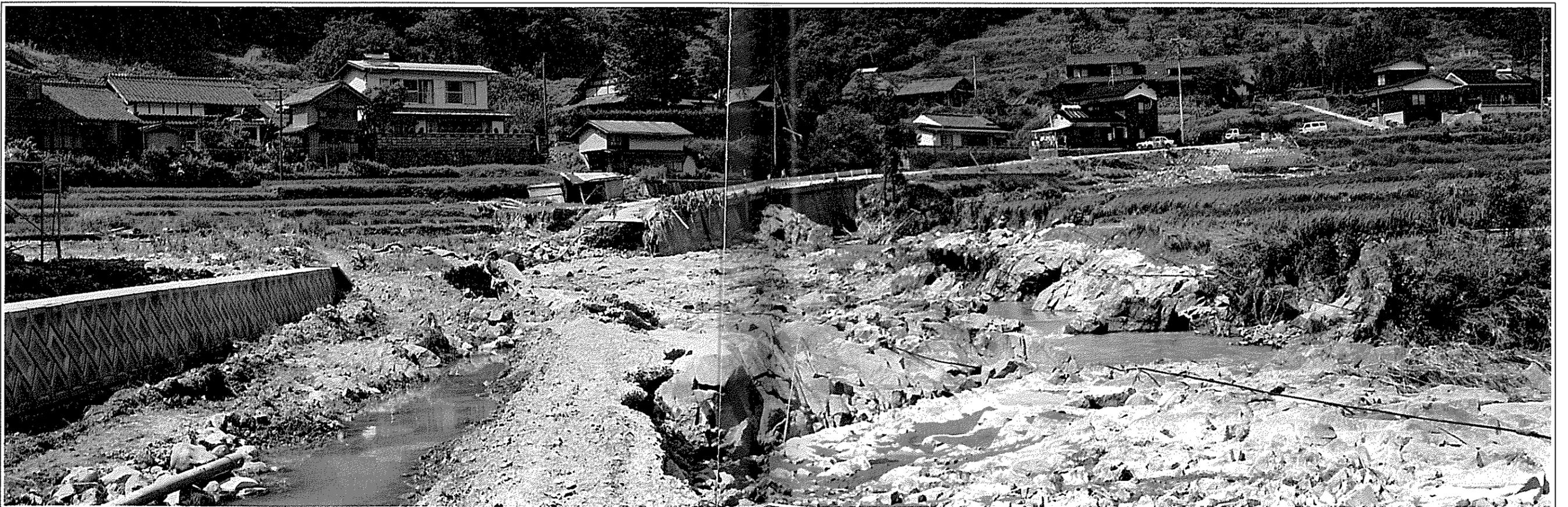


県下の被害状況 島根県災害対策本部9月1日確定)

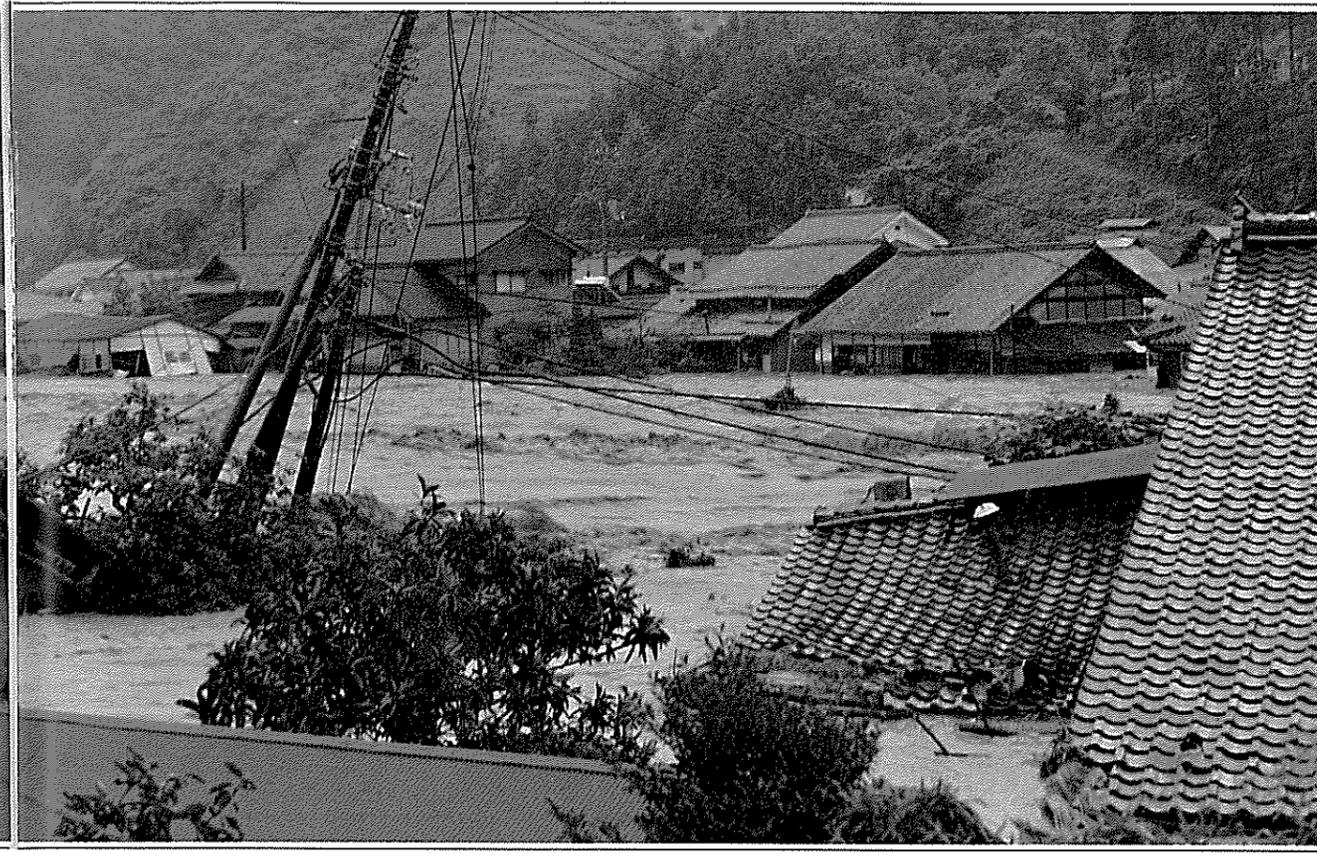
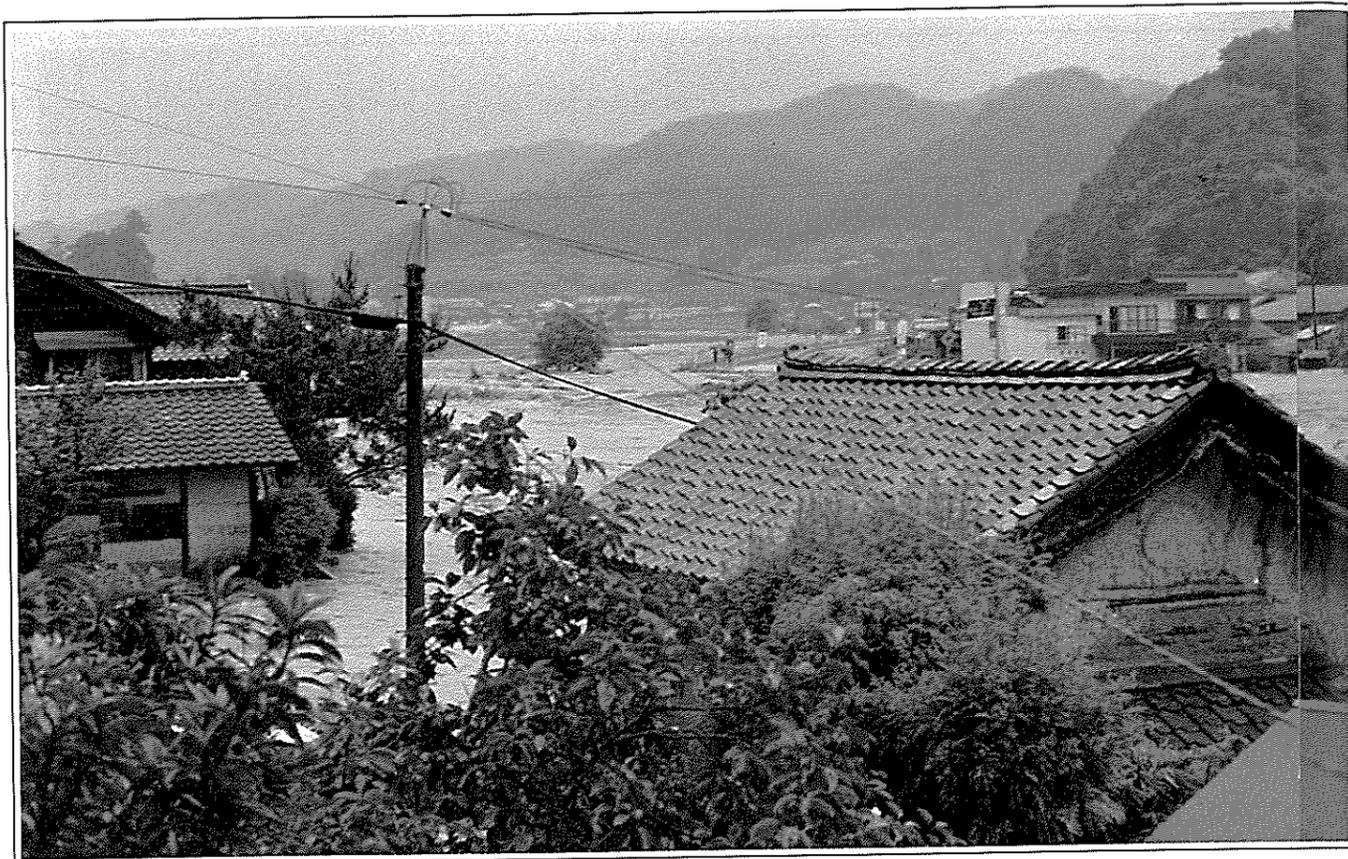
死者	103人	行方不明	4人	重傷	61人	軽傷	98人
◎住家被害	罹災者 31,697人		317億 7,456万円				
全壊(含流失)	1,064棟	1,003世帯	3,062人	120億 7,640万6千円			
半壊	1,977棟	2,051世帯	6,783人	95億 1,258万5千円			
一部破壊	563棟	551世帯	1,779人	5億 3,698万2千円			
床上浸水	6,953棟	7,020世帯	21,852人	78億 8,333万7千円			
床下浸水	7,043棟	7,040世帯	20,889人	17億 6,528万円			
◎民有非住家被害	5,432棟		30億 9,485万4千円				
◎公共建物被害	239棟		10億 424万1千円				
◎教育施設被害			26億 3,746万9千円				
◎農地農業用施設被害			348億円				
◎農作物等被害			52億 9,294万4千円				
◎山林被害			820億 7,190万3千円				
◎土木被害	16,909ヶ所		1,242億 9,741万1千円				
◎水産被害			1億 4,977万6千円				
◎その他被害			594億 7,579万4千円				
被害額総計				3,445億 9,898万2千円			



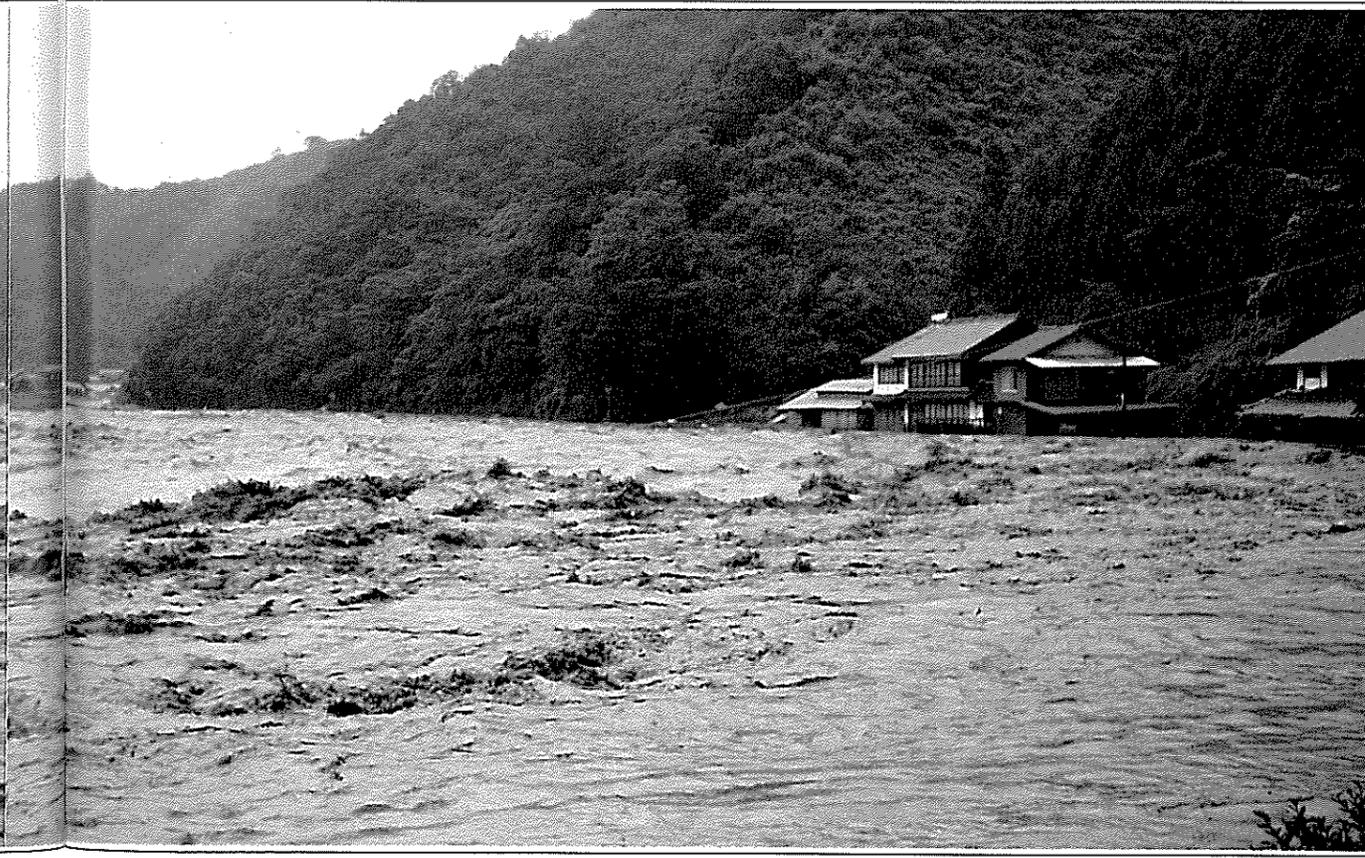
橋に渡たる橋 青木栄宅前（三谷下）



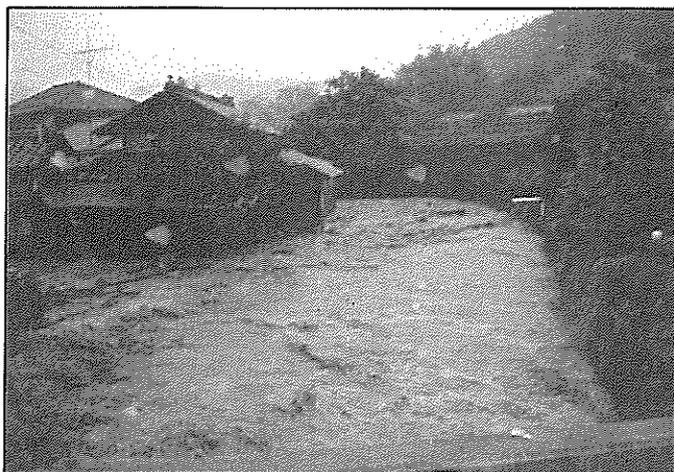
水に洗われた三谷川（小原郷）



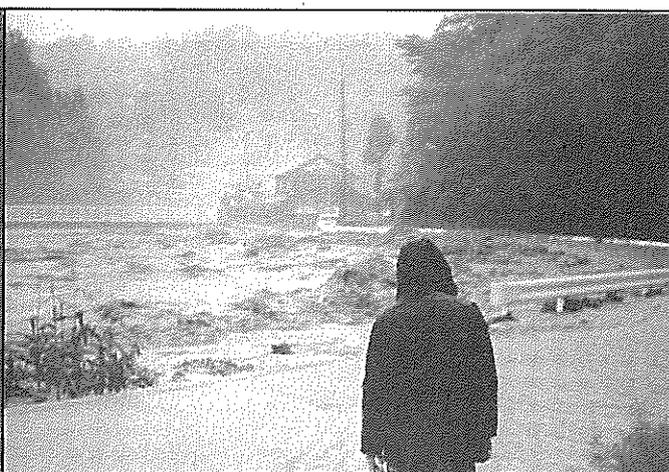
仙道郷を洗う濁流



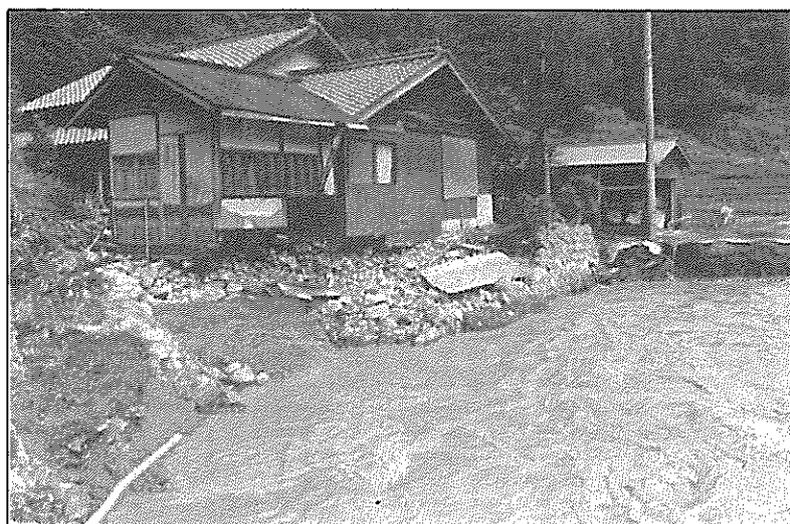
増水した益田川（朝倉）



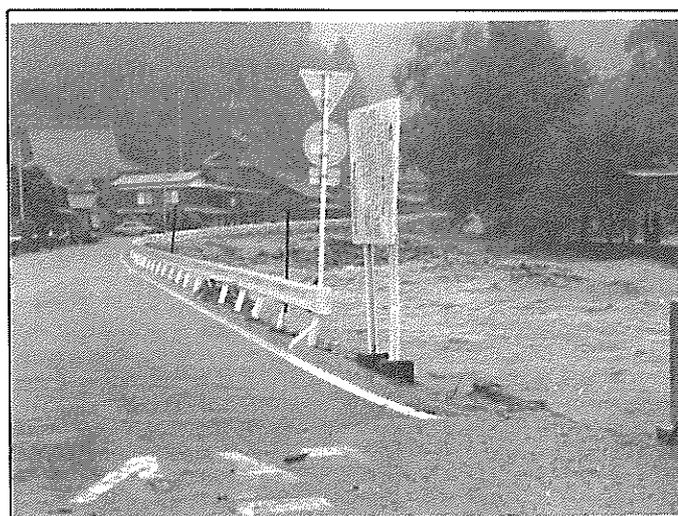
増水した都茂川（都茂郷地内）



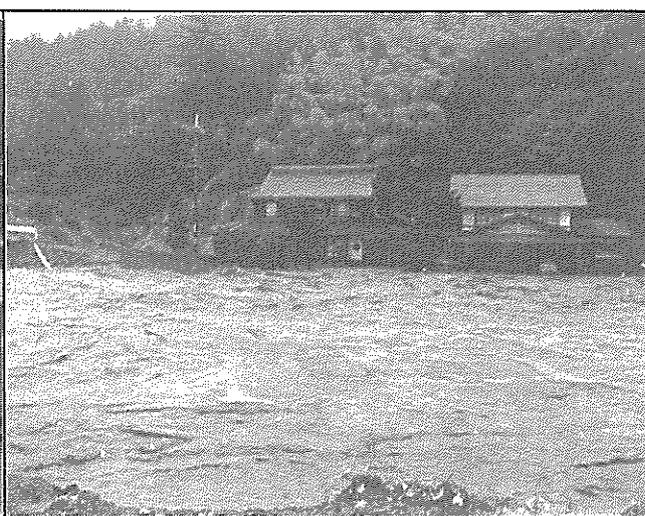
矢原川（宇津川地内）



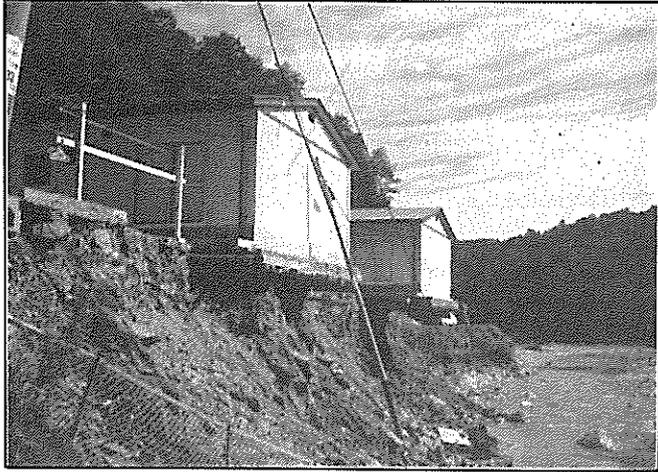
屋敷茂夫宅（宇津川堀河地内）



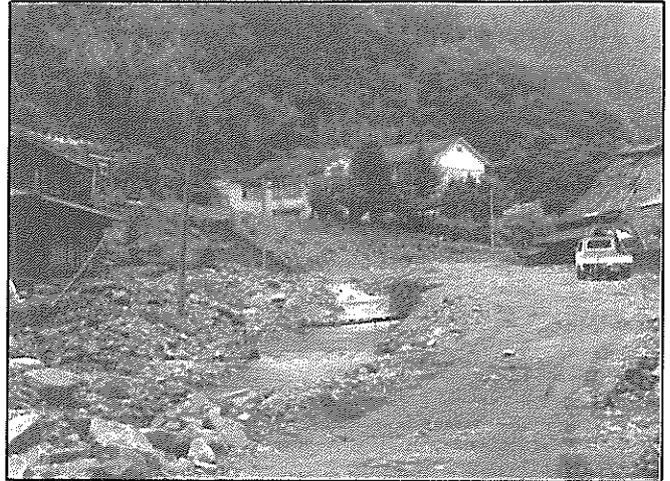
増水する益田川（山料地内）



堤防が切れた矢原川（河野哲宅前）



下がない！町営宇津川住宅（宇津川）



仮復旧した道路（つづら地内）



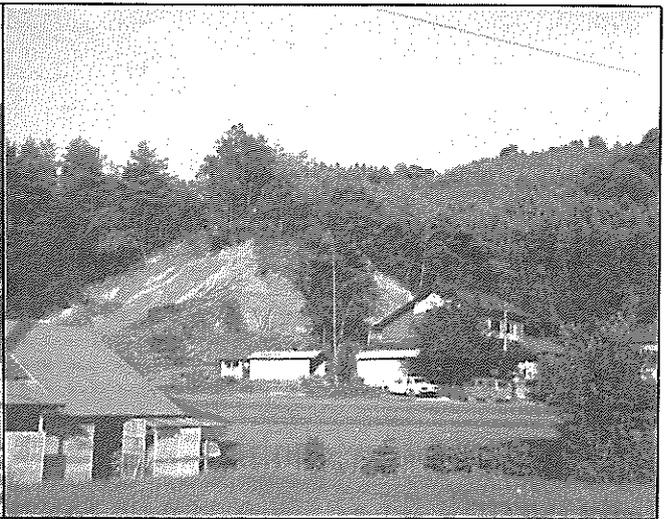
土砂に押し流された家
（馬ノ谷、山根逸人宅）



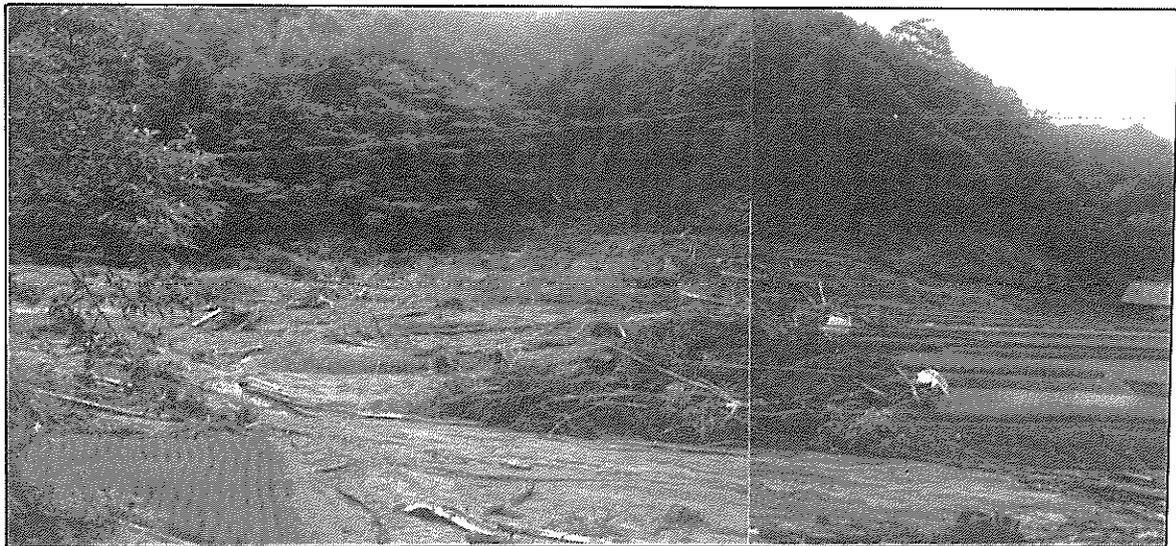
土砂に埋れた新宮神社の復旧作業



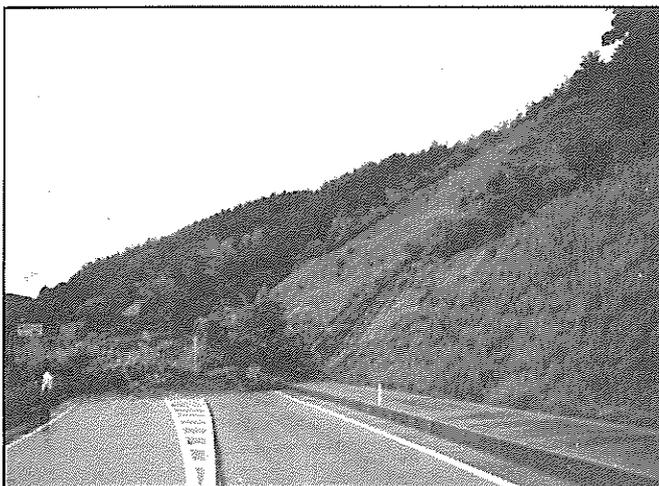
河野庄司宅裏山（つづら）



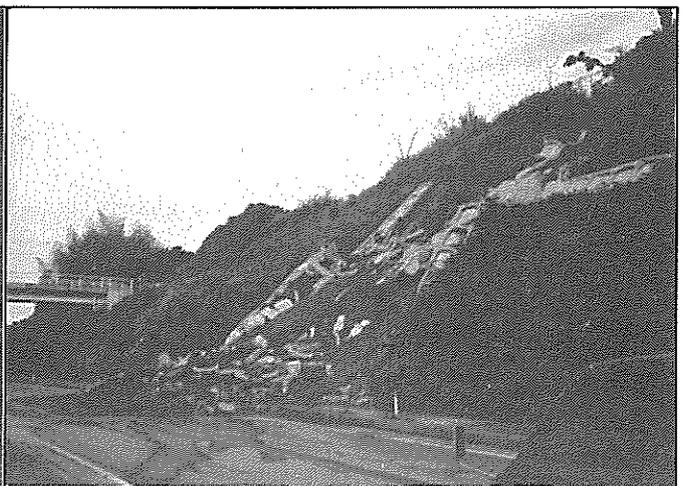
山崩れ 都茂正万寺裏（都茂）



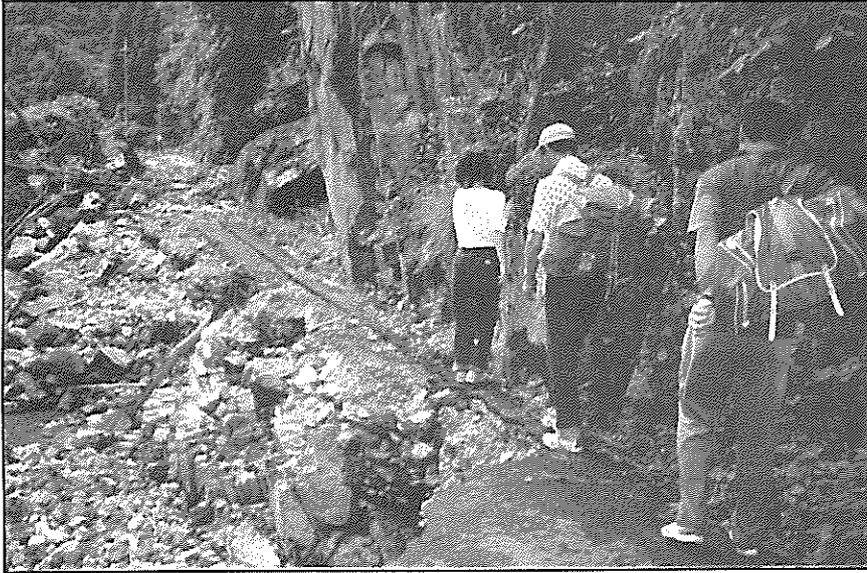
山地崩壊（丸茂地内）



寸断された国道191号線（都茂地内）



国道191号線忠魂碑裏



道なき道を帰る（板井川地内）

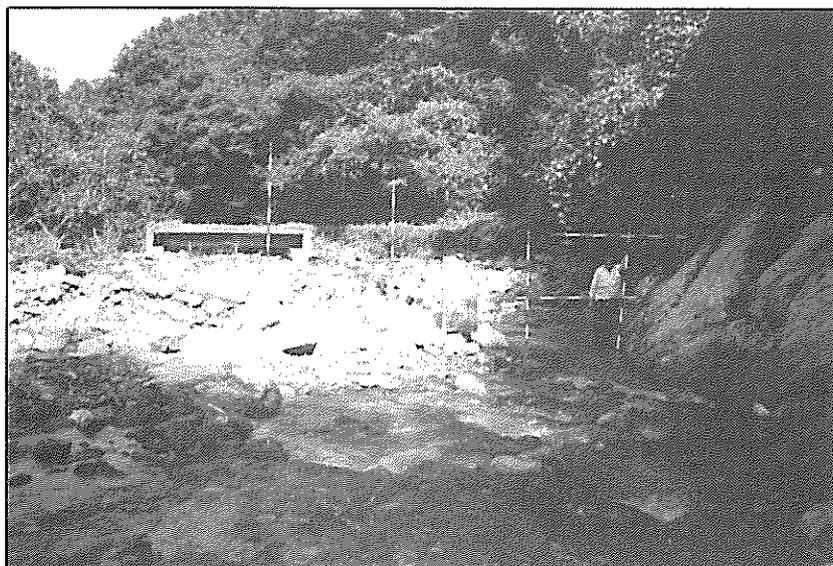


応援 宇津川岡養鶏場の復旧をする
松江市連合青年団員

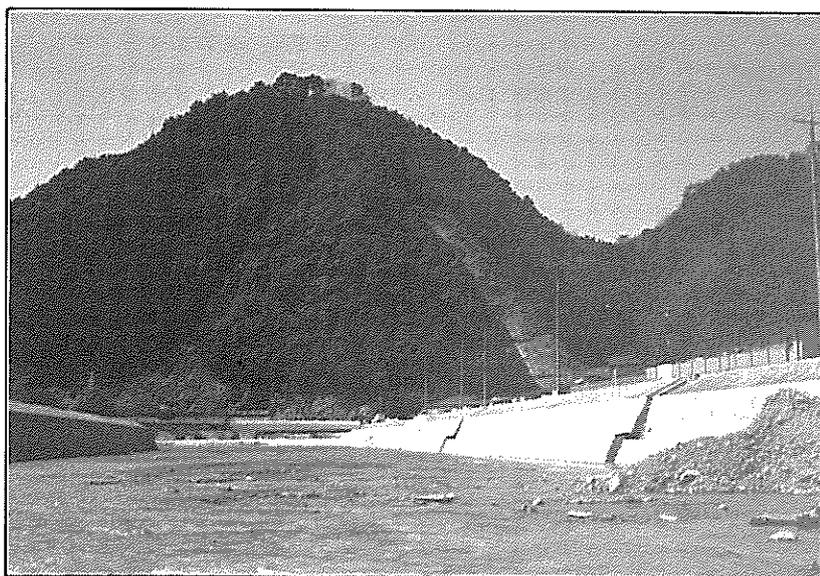
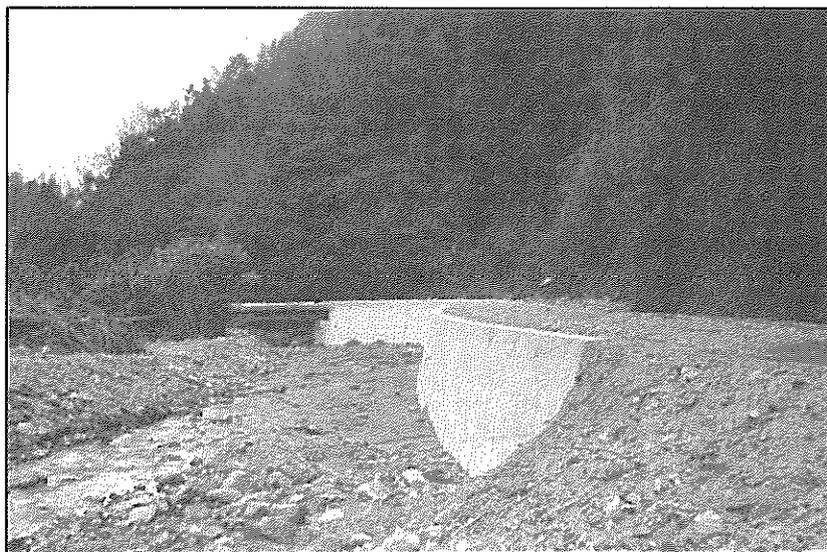


さあ跡かたづけ！ 仙道郷

跡形もなくなった道路
(林道清水線)



復旧した道路
(同上箇所)



復旧した護岸
(益田川仙道地内)

編集後記

「災害は忘れたころにやってくる」という諺があるが、まさにそのとおりであります。この度の災害は、昭和18年に当町を襲った大水害にもまして大きな被害となりました。「災害に強い町づくり」をして行くために、この大災害を記録として後世に伝えることは、災害を体験した者の使命であると思います、ここにその記録集を作製した次第であります。

この災害記録を編集するにあたり、色々と資料・写真を集めてみて、この災害がいかに大災害であったのか、改めて思い知らされました。あまりの大災害のため資料も不十分ではありますが、町民の皆様方からの写真・体験記などの提供をいただき、ここに完成を見ることができましたことを、厚くお礼申し上げます。

この記録集は、当時の様子をリアルに伝えることを目的に、町災害対策本部、美部分遣所の資料をもとにして編集してありますので、町内各地区での状況等につきましては触れてありません。

このような大災害が二度と起らないように、また、亡くなられた方々の御冥福を祈りつつ編集後記といたします。

昭和六十年三月

【編集委員】

寺井 昭介	広永 浩二	寺戸 和憲
増野 久見	吉村 和人	寺戸 美泰
河野 哲	山崎 勉	石川 一男
田原 敏明	斎藤 清一	

災害記録集

昭和60年3月30日 発行

発行 美都町

編集 災害記録集編集委員会

印刷 益田タイプ株式会社

